

【3P1S203】ピアノ		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	横井 香織・三ツ橋 義晴						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	横井 : 音楽教室講師・10年 三ツ橋: 音楽教室講師・9年						
授業方法	演習を中心とした個人レッスンをを行います。音楽的知識や技術・表現力修得の確認のため、中間発表(中間試験)も含めて授業を展開していきます。質問等は授業時やメール等で受け付けます。						
到達目標	知識・理解	音楽的知識を身に付けて楽譜の理解に努め、作曲家や作品についての知識も修得し、楽曲理解に繋げることができる。					
	思考・判断・表現	音色や響きを追求し、楽曲にふさわしい演奏表現をすることができる。					
	技能	より高度な演奏技術の向上に努めることができる。					
	関心・意欲・態度	音楽的感性を養う努力をし、指導者と円滑なコミュニケーションを図りながら、積極的な取り組みができる					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	1年次に修得した演奏テクニックを発展させ、近現代の作品を中心に、テクニックと表現力が調和した高度な音楽作りを目指します。 音楽関連の知識を豊富にし、表現力豊かで魅力的な演奏ができるようにしていきます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		-	30	30	-	60
	中間発表(中間試験)		-	5	5	-	10
	受講態度		15	-	-	15	30
合計(点)		15	35	35	15	100	
評価の特記事項	実技試験は近現代曲の演奏を最終試験(前期定期試験)で行います。中間発表(中間試験)はスケール・アルペジオ、エチュードの演奏です。フィードバックとして中間発表(中間試験)、実技試験実施後に講評を行います。受講態度は学修への取組状況で評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験(実技試験)の受験資格はありません。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特になし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。						
テキスト	『全訳ハノンピアノ教本』全音楽譜出版社(または手持ちのもの)(1,430円)ISBN:978-4-11-104010-0 『ツェルニー30番以上の練習曲』指定なし 『J.S.バッハ:インヴェンション・シンフォニア』指定なし 前年度購入済						
参考書・教材	個々に合わせて選択します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1~7	ハノン、練習曲、バッハ、近現代の作品 ~ 中間発表(中間試験)曲を中心に~ ・譜読みの確認 ・テクニックの向上 ・音楽用語の確認 ・曲想 ・音色研究 ・音楽表現 など 課題の確認 [課題(準備・復習)] 毎回のレッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(各2~3h)						
8	中間発表(中間試験): 調号4つ・5つのスケール・アルペジオ、練習曲 ハノン、練習曲、バッハ、近現代の作品 ~ 試験曲を中心に~ [課題(準備・確認)] 中間発表(中間試験)に向けて弾き込む レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(2~3h)						
9~15	ハノン、練習曲、バッハ、近現代の作品 ~ 試験曲を中心に~ ・正確な譜読み ・テクニックの向上 ・音楽用語の理解 ・曲想 ・音色研究 ・豊かな表現力 など 課題の確認 [課題(準備・復習)] 毎回のレッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(各2~3h)						
時間外での学修	各々の課題について、授業外で細かく深く練習しましょう。また、練習時間以外にも、演奏会に積極的に出掛けて様々な音楽を聴く、作曲家や作品について調べる、西洋の風景や歴史・文化を知るなど、幅広く音楽的素養を身に付け、感性を磨いてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間: 30~45時間】						
受講生へのメッセージ	音楽を頭で考え、心で感じて演奏しましょう。 オフィスアワーは各レッスン室で授業前後の休み時間です。						

【3P1A204】ピアノ		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	横井 香織・三ツ橋 義晴						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	横井 : 音楽教室講師・10年 三ツ橋 : 音楽教室講師・9年						
授業方法	演習を中心とした個人レッスンをを行います。音楽的知識や技術・表現力修得の確認のため、中間発表(中間試験)も含めて授業を展開していきます。質問等は授業時やメール等で受け付けます。						
到達目標	知識・理解	音楽的知識を身に付けて楽譜の理解に努め、作曲家や作品についての知識も修得し、楽曲理解に繋げることができる。					
	思考・判断・表現	音色や響きを追求し、楽曲にふさわしい演奏表現をすることができる。					
	技能	より高度な演奏技術を身に付けることができる。					
	関心・意欲・態度	音楽的感性を磨き努力をし、指導者と円滑なコミュニケーションを図りながら、積極的な取り組みができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	より高度な音楽作りを心掛け、個々の希望する曲などは可能な限り取り入れ、最大限の成長を目指します。幅広く音楽関連の素養を身に付け、音楽表現もより豊かにし、魅力的で感動的な演奏ができるようにしていきます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		-	30	30	-	60
	中間発表(中間試験)		-	5	5	-	10
	受講態度		15	-	-	15	30
合計(点)		15	35	35	15	100	
評価の特記事項	実技試験は任意の曲の演奏を最終試験(後定期試験)で行います。中間発表(中間試験)はスケール・アルペジオ、バッハの演奏です。フィードバックとして、中間発表(中間試験)、実技試験実施後に講評を行います。受講態度は学修への取組状況で評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験(実技試験)の受験資格はありません。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特になし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。						
テキスト	『全訳ハノンピアノ教本』全音楽譜出版社(または手持ちのもの)(1,430円)ISBN:978-4-11-104010-0 『ツェルニー30番以上の練習曲』指定なし 『J.S.バッハ:インヴェンション・シンフォニア』指定なし 前年度購入済						
参考書・教材	個々に合わせて選択します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1~7	ハノン、練習曲、バッハ、自由曲 ~ 中間発表(中間試験)曲を中心に~ ・譜読みの確認 ・テクニックの向上 ・音楽用語の確認 ・曲想 ・音色研究 ・音楽表現 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 毎回のレッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(各2~3h)						
8	中間発表(中間試験): 調号6つのスケール・アルペジオ、バッハ インヴェンション・シンフォニア・平均律のいずれか1曲 ハノン、練習曲、バッハ、試験曲 ~ 試験曲を中心に~ 【課題(準備・復習)】 中間発表(中間試験)に向けて弾き込む レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(2~3h)						
9~15	ハノン、練習曲、バッハ、自由曲 ~ 試験曲を中心に~ ・正確な譜読み ・テクニックの向上 ・音楽用語の理解 ・曲想 ・音色研究 ・豊かな表現力 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 毎回のレッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(各2~3h)						
時間外での学修	各々の課題について、授業外で細かく深く練習しましょう。また、練習時間以外にも、演奏会に積極的に出掛けて様々な音楽を聴く、作曲家や作品について調べる、西洋の風景や歴史・文化を知るなど、幅広く音楽的素養を身に付け、感性を磨きましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間: 30~45時間】						
受講学生へのメッセージ	音楽を頭で考え、心で感じて演奏しましょう。 オフィスアワーは各レッスン室で授業前後の休み時間です。						

【3P1S2071】ピアノキャリア実践		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	三ツ橋 義晴						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	三ツ橋 義晴 音楽講師・9年						
授業方法	演習を中心とした個人レッスンです。音楽的知識の理解や技術習得に向けて授業を行います						
到達目標	知識・理解	音階、音程、和音、コード進行、コードネーム、調性、楽語など基本知識を理解することができる					
	思考・判断・表現	伴奏付けにおいて、適切な演奏を判断することができる					
	技能	初見演奏、伴奏付けなど、音楽を楽譜から適切にとらえ、演奏することができる					
	関心・意欲・態度	継続的な取り組みができる					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	カワイピアノ演奏グレード、カワイピアノ指導グレード習得に向けて取り組みます						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		30	30	30	-	90
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		30	30	30	10	100
評価の特記事項	実技試験は最終授業で行います。試験後に講評をします。授業の1/3以上欠席の場合、試験の受験資格はありません						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	なし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に生かします						
テキスト	『キーボードトレーニング集A』カワイ出版						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	音名、和音記号、コードネームを再度理解する						
2	音名、和音記号、コードネームを再度理解する(固有和音、)						
3	学習した内容を復習し、伴奏付けをする(固有和音、)						
4	コード進行を理解する(固有和音、)						
5	コード進行を理解する(固有和音、)						
6	音楽用語、楽語を理解してコード進行を勉強する(固有和音、)						
7	音楽用語、楽語を理解してコード進行を勉強する(固有和音、)						
8	今までの復習として小テストをする						
9	学習した内容を復習し、実技科目について理解する						
10	学習した内容を復習し、実技科目について理解する						
11	学習した内容を復習し、実技科目について理解する						
12	学習した内容を復習し、実技科目について理解する						
13	学習した内容を復習し、実技科目について理解する						
14	学習した内容を復習し、実技科目について理解する						
15	前期の復習並びに実技試験						
時間外での学修	知識、技術の習得のためには日ごろの努力が大切です。必ず復習をしましょう【この科目で求める望ましい総学習時間・30~45時間】						
受講学生へのメッセージ	分からないことはどんなことでも質問してください						

【3P1S2072・3P1S2073】ピアノキャリア実践		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	横井 香織						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員							
授業方法	演習を中心とした個人指導を行います。知識の理解と技術修得に向け、小グループでの活動や発表も含めて授業を展開していきます。質問等は授業時やメール等で受け付けます。						
到達目標	知識・理解	基礎的知識を理解し、応用することができる。 聴音において、コード進行の知識のもと、正確な音楽聴取と記譜法を理解することができる。					
	思考・判断・表現	即興演奏や伴奏づけにおいて、適切な演奏法を判断し演奏することができる。					
	技能	初見演奏、メロディ視唱、ひきうたい、伴奏づけ、移調奏などにおいて、音楽を楽譜からの確にとらえ、演奏することができる。					
	関心・意欲・態度	積極的な取り組みが継続できる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	ヤマハピアノ演奏グレード、ヤマハ指導グレード、カワイピアノ演奏グレードの学修を中心に、個々の希望進路に合わせた内容を学修します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験/受講態度		30	10	10	10	60
	実技試験		-	20	20	-	40
	合計(点)		30	30	30	10	100
評価の特記事項	筆記試験・実技試験は最終試験（前期定期試験）で行います。フィードバックとして実技試験実施後に講評を行います。受講態度は学修への取組状況で評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験（筆記試験・実技試験）の受験資格はありません。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特になし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。						
テキスト							
参考書・教材	個々に合わせて提示します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1～15	<p>ヤマハピアノ演奏グレード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・即興演奏（変奏課題・モチーフ課題） ・初見演奏 <p>ヤマハ指導グレード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メロディー視唱 ・ひきうたい ・伴奏づけ・移調奏 ・楽典 ・コード進行法 ・聴音 <p>課題の確認 【課題(復習)】 学修した内容を復習し、各課題について理解する（各2～3h）</p>						
1～15	<p>カワイピアノ演奏グレード：伴奏づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固有和音 ・借用和音：ドッペルドミナント ・その他の借用和音：副属七の和音 ・T-D-Tの4小節トレーニング ・の第2転回形を含む4小節トレーニング ・T-S-Tを含む4小節トレーニング ・8小節トレーニング ・ドッペルドミナントを含むパターン ・初見奏 <p>課題の確認 【課題(復習)】 学修した内容を復習し、伴奏づけについて理解し、初見奏ができるようにする（各2～3h）</p>						
時間外での学修	毎回課題を提示しますので、授業外で必ず練習を行い、授業時に演奏できるようにしましょう。学修した内容を授業外で復習し、知識修得に努めましょう。初見奏も授業外で自主的にトレーニングしましょう。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30～45時間】						
受講学生へのメッセージ	自己学修を怠らず、上級グレード取得に向けて取り組みましょう。分からないことは質問するなどし、必ず解決しましょう。オフィスアワーはB206で月曜日3・4限目です。						

【3P1A2081】ピアノキャリア実践		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	三ツ橋 義晴						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	三ツ橋 義晴 音楽教室講師9年						
授業方法	演習を中心とした個人レッスンです						
到達目標	知識・理解	基礎的知識をはじめ、音楽用語、和音記号、コードネーム、調判定などを理解することができる					
	技能	練習することで、演奏力を向上することができる					
	関心・意欲・態度	理解が深まれば、積極的な取り組みができる					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	カワイピアノ演奏グレード、並びに指導グレードの取得を目指します						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		20	-	20	-	40
	筆記試験		50	-	-	-	50
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		70	-	20	10	100
評価の特記事項	ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	なし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします						
テキスト							
参考書・教材	個々に合わせて提示します						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	休み中の課題の復習						
2	伴奏付け(転回形) 筆記試験に向けての対策(楽語、調判定等)						
3	伴奏付け(転回形) 筆記試験に向けての対策(楽語、調判定等)						
4	伴奏付け(転回形) 筆記試験に向けての対策(楽語、調判定等)						
5	伴奏付け(転回形) 筆記試験に向けての対策(楽語、調判定等)						
6	伴奏付け(転回形) 筆記試験に向けての対策(楽語、調判定等)						
7	伴奏付け(転回形) 筆記試験に向けての対策(楽語、調判定等)						
8	今までの復習並びに小テスト						
9	伴奏付け(属七の和音) 筆記試験に向けての対策(楽語、調判定等)						
10	伴奏付け(属七の和音) 筆記試験に向けての対策(楽語、調判定等)						
11	伴奏付け(属七の和音) 筆記試験に向けての対策(楽語、調判定等)						
12	伴奏付け(属七の和音) 筆記試験に向けての対策(楽語、調判定等)						
13	伴奏付け(属七の和音) 筆記試験に向けての対策(楽語、調判定等)						
14	まとめ 受験対策						
15	まとめ 受験対策						
時間外での学修	普段の積み重ねが大事です。必ず復習しましょう 【この科目で求める望ましい授業外での総学習時間・30～45時間】						
受講学生へのメッセージ	分からないことはいつでも質問してください						

【3P1A2082・3P1A2083】ピアノキャリア実践		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	横井 香織						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員							
授業方法	演習を中心とした個人指導を行います。知識の理解と技術修得に向け、小グループでの活動や発表も含めて授業を展開していきます。質問等は授業時やメール等で受け付けます。						
到達目標	知識・理解	基礎的知識を理解し、応用することができる。 聴音において、コード進行の知識のもと、正確な音楽聴取と記譜法を理解することができる。					
	思考・判断・表現	即興演奏や伴奏づけにおいて、適切な演奏法を判断し演奏することができる。					
	技能	初見演奏、メロディ視唱、ひきうたい、伴奏づけ、移調奏などにおいて、音楽を楽譜からの確にとらえ、演奏することができる。					
	関心・意欲・態度	積極的な取り組みが継続できる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	ヤマハピアノ演奏グレード、ヤマハ指導グレード、カワイピアノ演奏グレードの学修を中心に、個々の希望進路に合わせた内容を学修します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験/受講態度		30	10	10	10	60
	実技試験		-	20	20	-	40
	合計(点)		30	30	30	10	100
評価の特記事項	筆記試験・実技試験は最終試験(後期定期試験)で行います。フィードバックとして実技試験実施後に講評を行います。受講態度は学修への取組状況で評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験(筆記試験・実技試験)の受験資格はありません。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特になし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。						
テキスト							
参考書・教材	個々に合わせて提示します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1~15	ヤマハピアノ演奏グレード ・即興演奏(変奏課題・モチーフ課題) ・初見演奏 ヤマハ指導グレード ・メロディー視唱 ・ひきうたい ・伴奏づけ・移調奏 ・楽典 ・コード進行法 ・聴音 課題の確認 【課題(復習)】 学修した内容を復習し、各課題について理解する(各2~3h)						
1~15	カワイピアノ演奏グレード ・T-D-Tの4小節トレーニング ・ の第2転回形を含む4小節トレーニング ・ T-S-Tを含む4小節トレーニング ・ 8小節トレーニング ・ ドッペルドミナントを含むパターン ・ 初見奏 課題の確認 【課題(復習)】 学修した内容を復習し、伴奏づけについて理解し、初見奏ができるようにする(各2~3h)						
時間外での学修	毎回課題を提示しますので、授業外で必ず練習を行い、授業時に演奏できるようにしましょう。学修した内容を授業外で復習し、知識修得に努めましょう。初見演奏も授業外で自主的にトレーニングしましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30~45時間】						
受講学生へのメッセージ	自己学修を怠らず、上級グレード取得に向けて取り組みましょう。分からないことは質問するなどし、必ず解決しましょう。 オフィスアワーはB206で火曜日3・4限目です。						

【3P1S2111】ピアノ応用実践		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	三ツ橋 義晴						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	三ツ橋 義晴 音楽教室講師9年						
授業方法	個人レッスンで行います						
到達目標	知識・理解	幅広く音楽知識を習得し、理解することができる					
	思考・判断・表現	適切な演奏法を判断し演奏することができる					
	技能	基礎テクニックを磨き、演奏技術の向上に努めることができる					
	関心・意欲・態度	分からないことは質問して、積極的に取り組むことができる					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	各人の技量を判断し、演奏力の向上を目指します						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	課題		30	20	30	-	80
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		30	20	30	20	100
評価の特記事項	課題は個々に提示し、レッスン終了時に講評を行います。全授業の3/1以上欠席すると最終評価を受ける資格がなくなります						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	なし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします						
テキスト							
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	休暇中の課題に取り組む						
2	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
3	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
4	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
5	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
6	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
7	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
8	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
9	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
10	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
11	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
12	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
13	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
14	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
15	音楽用語、楽語、音楽史、楽曲分析、アーティキュレーション等理解しながら、技術向上、演奏表現向上を目指します						
時間外での学修	毎日の復習が、演奏力向上に繋がります。日々努力してください 【この科目で求める望ましい総学習時間・30～45時間】						
受講学生へのメッセージ	分からないことはいつでも質問して下さい						

【3P1S2112・3P1S2113】ピアノ応用実践		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	横井 香織						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	音楽教室講師・10年						
授業方法	演習を中心とした個人指導を行います。知識の理解と技術修得に向け、小グループでの活動や発表も含めて授業を展開していきます。質問等は授業時やメール等で受け付けます。						
到達目標	知識・理解	・スコアリーディングにおいて、スコアに用いられている記号、ジャンル、楽器などについての知識を修得することができる。 ・幅広く音楽的知識を修得し、楽曲理解に繋げることができる。					
	思考・判断・表現	・ピアノ譜作成において、和音記号・コードネーム・和声進行の正しい知識のもと、適切な和音、内声部、和音連結、伴奏形を導き出すことができる。 ・適切な演奏法を判断し、音色や響きを追求した演奏表現をすることができる。					
	技能	・音楽聴取能力と楽譜を正確に記述する能力を身に付けることができる。 ・より高度な演奏技術の向上に努めることができる。					
	関心・意欲・態度	・積極的な取り組みが継続できる。 ・音楽的感性を養う努力をすることができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	カワイピアノ指導グレードの内容であるオーケストラや室内楽のスコアに関する知識に基づいたスコアリーディング、和声進行についての正しい理解に基づいたピアノ譜作成などの学修や、ピアノ演奏の更なる追求等、個々の希望に合わせた内容を学修します。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験/課題		20	20	20	-	60
	受講態度		10	10	10	10	40
	合計(点)		30	30	30	10	100
評価の特記事項	筆記試験は最終試験（前期定期試験）で行います。課題は個々に提示します。フィードバックとして評価後に講評を行います。受講態度は学修への取組状況で評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験（筆記試験）の受験資格はありません。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特になし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。						
テキスト							
参考書・教材	個々に合わせて提示します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング（1）オーケストラの編成 ピアノ譜作成（1）ラインと音域・和音の転回 ピアノ演奏：テクニックの向上 [課題(準備・復習)] 学修した内容を復習し、オーケストラの編成、ラインと音域、転回形について理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）						
2	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング（2）移調楽器 ピアノ譜作成（2）ベースの転回位置・コードの連結とポジション ピアノ演奏：テクニックの向上 課題の確認 [課題(準備・復習)] 学修した内容を復習し、移調楽器、ベースの転回位置、コードの連結とポジションについて理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）						
3	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング（3）木管楽器 ピアノ譜作成（3）連続5度・連続8度 ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想 など 課題の確認 [課題(準備・復習)] 学修した内容を復習し、木管楽器、連続5度・連続8度について理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）						
4	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング（4）木管楽器 ピアノ譜作成（4）解決 ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想 など 課題の確認 [課題(準備・復習)] 学修した内容を復習し木管楽器、解決について理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）						
5	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング（5）金管楽器 ピアノ譜作成（5）分散和音の伴奏形 ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり など 課題の確認 [課題(準備・復習)] 学修した内容を復習し、金管楽器、分散和音の伴奏形について理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）						

内容	
実施回	授業内容・目標
6	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング(6) 金管楽器 ピアノ譜作成(6) 4和音の配置と連結 / 初見奏 / 課題の確認 ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 学修した内容を復習し、金管楽器、4和音の配置と連結について理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(2~3h)
7	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング(7) 打楽器 ピアノ譜作成(7) 分散和音の伴奏形 ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 学修した内容を復習し、打楽器、分散和音の伴奏形について理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(2~3h)
8	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング(8) 弦楽器 ピアノ譜作成(8) 分散和音の伴奏形 ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 学修した内容を復習し、弦楽器、分散和音の伴奏形について理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(2~3h)
9	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング(9) 弦楽器 ピアノ譜作成(9) コードの機能とカデンツ・ドミナントモーションと限定 進行 ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 学修した内容を復習し、弦楽器、コードの機能とカデンツ、ドミナントモーション、限定進行について理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(2~3h)
10	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング(10) その他の楽器 ピアノ譜作成(10) ドミナントモーションの連結 ・右手のメロディ+コード ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 学修した内容を復習し、その他の楽器、ドミナントモーションの連結、右手のメロディ+コードについて理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(2~3h)
11	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング(11) 舞台配置とスコアの関係 ピアノ譜作成(11) ドミナントモーションの連結 ・3度、6度の重音 ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求・豊かな表現 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 学修した内容を復習し、舞台配置とスコアの関係、ドミナントモーションの連結について理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(h2~3)
12	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング(12) 舞台配置とスコアの関係 ピアノ譜作成(12) カウンターライン ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求・豊かな表現 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 学修した内容を復習し、舞台配置とスコアの関係、カウンターラインについて理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(2~3h)
13	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング(13) 実際のスコアを読む ピアノ譜作成(13) 連続8度とピアノのオクターヴ奏法・単音、密集配置の 伴奏形 ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求・豊かな表現 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 学修した内容を復習し、実際のスコア、連続8度とピアノのオクターヴ奏法、単音・密集配置の伴奏形について理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(2~3h)
14	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング(14) 実際のスコアを読む ピアノ譜作成(14) 密集伴奏形 ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求・豊かな表現 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 学修した内容を復習し、実際のスコア、密集伴奏形について理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(2~3h)
15	カワイピアノ指導グレード：スコアリーディング(15) 実際のスコアを読む ピアノ譜作成(15) 実例を見ながら まとめ・受験対策 ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求・豊かな表現 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 学修した内容を復習し、実際のスコア、ピアノ譜について理解し、受験に向けて準備をする(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(2~3h)
時間外での学修	学修した内容を授業外で復習し、知識修得に努めましょう。授業時に次回までの課題が提示されますので、授業外で毎日怠らずに学修・練習し、レベルアップできるよう取り組みましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30~45時間】
受講学生へのメッセージ	上級グレード取得に向けて積極的に取り組みましょう。分からないことは質問するなど、必ず解決してください。 音楽的素養を更に身に付け、感性を磨き、自分の技術や音楽性を十分に表現できるよう幅広い学修を行いましょう。 オフィスアワーはB206で月曜日3・4限目です。

【3P1A2121】ピアノ応用実践		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	三ツ橋 義晴						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	三ツ橋 義晴 音楽教室講師9年						
授業方法	個人レッスンで行います						
到達目標	知識・理解	幅広く音楽的知識を習得し、理解することができる					
	思考・判断・表現	適切な演奏法を判断し、音楽的に演奏することができる					
	技能	基礎テクニックを発展して演奏力の向上をすることができる					
	関心・意欲・態度	分からないことは質問して、積極的な取り組みができる					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	各人の必要とする希望を取り入れ、演奏力の向上を目指します						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	課題		30	20	30	-	80
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		30	20	30	20	100
評価の特記事項	課題は個々に提示し、レッスン終了後に講評します。全授業の3/1以上の欠席で最終評価を受ける資格がなくなります						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	なし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします						
テキスト							
参考書・教材	個々に合わせて提示します						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	休み中の課題の勉強。自分の希望する内容の提示、考査。						
2	音楽用語、楽語、楽曲分析、アーティキュレーション等考え、演奏力の向上を目指します						
3	音楽用語、楽語、楽曲分析、アーティキュレーション等考え、演奏力の向上を目指します						
4	音楽用語、楽語、楽曲分析、アーティキュレーション等考え、演奏力の向上を目指します						
5	音楽用語、楽語、楽曲分析、アーティキュレーション等考え、演奏力の向上を目指します						
6	音楽用語、楽語、楽曲分析、アーティキュレーション等考え、演奏力の向上を目指します						
7	音楽用語、楽語、楽曲分析、アーティキュレーション等考え、演奏力の向上を目指します						
8	他人の演奏を聴いて、評価をする。そのことで自分に不足しているものが発見できる						
9	音楽用語、楽語、楽曲分析、アーティキュレーション等考え、演奏力の向上を目指します						
10	音楽用語、楽語、楽曲分析、アーティキュレーション等考え、演奏力の向上を目指します						
11	音楽用語、楽語、楽曲分析、アーティキュレーション等考え、演奏力の向上を目指します						
12	音楽用語、楽語、楽曲分析、アーティキュレーション等考え、演奏力の向上を目指します						
13	音楽用語、楽語、楽曲分析、アーティキュレーション等考え、演奏力の向上を目指します						
14	卒業に向けての総復習及び最終確認						
15	卒業に向けての総復習及び最終確認						
時間外での学修	毎日怠らずレベルアップできるよう努力しましょう 【この科目で求める総学習時間・30～45時間】						
受講学生へのメッセージ	分からないことはいつでも聞きに来てください						

【3P1A2122・3P1A2123】ピアノ応用実践		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	横井 香織						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	音楽教室講師・10年						
授業方法	演習を中心とした個人指導を行います。知識の理解と技術修得に向け、小グループでの活動や発表も含めて授業を展開していきます。質問等は授業時やメール等で受け付けます。						
到達目標	知識・理解	・ 楽曲分析において、調性および関係調、カデンツ、非和声音、モチーフの使われ方などの知識を理解することができる。 ・ 幅広く音楽的知識を修得し、楽曲理解に繋げることができる。					
	思考・判断・表現	・ ピアノ譜作成において、和音記号・コードネーム・和声進行の正しい知識のもと、適切な和音、内声部、和音連結、伴奏形を導き出すことができる。 ・ 適切な演奏法を判断し、音色や響きを追求した演奏表現をすることができる。					
	技能	・ 音楽聴取能力と楽譜を正確に記述する能力を身に付けることができる。 ・ より高度な演奏技術の向上に努めることができる。					
	関心・意欲・態度	・ 積極的な取り組みが継続できる。 ・ 音楽的感性を養う努力をすることができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	カワイピアノ指導グレードの内容であるピアノ曲における楽曲分析、和声進行の知識に基づいたピアノ譜作成などの学修や、ピアノ演奏の更なる追求等、個々の希望に合わせた内容を学修します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験/課題		20	20	20	-	60
	受講態度		10	10	10	10	40
	合計(点)		30	30	30	10	100
評価の特記事項	筆記試験は最終試験(後期定期試験)で行います。課題は個々に提示します。フィードバックとして評価後に講評を行います。受講態度は学修への取組状況で評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験(筆記試験)の受験資格はありません。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特になし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。						
テキスト							
参考書・教材	個々に合わせて提示します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析(1) 旋律と和声・和音・和音の組み立て・和音の分析・分散和音・非和声音 ピアノ譜作成(1) 課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上 [課題(復習)] 前期に学修した内容を復習し、総合課題が演奏できるようにし、旋律と和音について理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組む、準備・復習をする(2~3h)						
2	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析(2) カデンツの第1型・カデンツの第3型・2部形式の曲・3部形式の曲・2部形式と3部形式との違い・コーダ ピアノ譜作成(2) 課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上 課題の確認 [課題(準備・復習)] 学修した内容を復習し、カデンツ、形式について理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組む、準備・復習をする(2~3h)						
3	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析(3) カデンツの第2型・低音位・Dとしての2転・Sとしての ピアノ譜作成(3) 課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想 など 課題の確認 [課題(準備・復習)] 学修した内容を復習し、カデンツ、和音の機能について理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組む、準備・復習をする(2~3h)						
4	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析(4) 主音の保続音・非和声音のつづき・近親調・同主調・転調 ピアノ譜作成(4) 課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想 など 課題の確認 [課題(準備・復習)] 学修した内容を復習し、保続音、非和声音、関係調について理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組む、準備・復習をする(2~3h)						
5	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析(5) 複合3部形式 ピアノ譜作成(5) 課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり など 課題の確認 [課題(準備・復習)] 学修した内容を復習し、複合3部形式について理解する(2~3h) レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組む、準備・復習をする(2~3h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
6	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析（6）Tとしての ・ 各種のD和音・各種のS和音 ピアノ譜作成（6）課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり など 課題の確認 【課題（準備・復習）】 学修した内容を復習し、和音の機能について理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）
7	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析（7）終止・非和声音のおぎない・ロンド形式 ピアノ譜作成（7）課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究 など 課題の確認 【課題（準備・復習）】 学修した内容を復習し、終止、非和声音、ロンド形式について理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）
8	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析（8）ソナタ形式・ソナタ形式分析の要領 ピアノ譜作成（8）課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究 など 課題の確認 【課題（準備・復習）】 学修した内容を復習し、ソナタ形式について理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）
9	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析（9）借用和音・Sとしてのドッペルドミナント ピアノ譜作成（9）課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求 など 課題の確認 【課題（準備・復習）】 学修した内容を復習し、借用和音、ドッペルドミナントについて理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）
10	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析（10）ドッペルドミナントの下方変位 ピアノ譜作成（10）課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求 など 課題の確認 【課題（準備・復習）】 学修した内容を復習し、ドッペルドミナントの下方変位について理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）
11	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析（11）ナポリの ・ ドリアの ・ の和音の上方変位 ピアノ譜作成（11）課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求・豊かな表現 など 課題の確認 【課題（準備・復習）】 学修した内容を復習し、ナポリの 、 ドリアの 、 の和音の上方変位について理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）
12	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析（12）各音度の5度関連・偶成和音・主音上の ・ 属音の保続音 ピアノ譜作成（12）課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求・豊かな表現 など 課題の確認 【課題（準備・復習）】 学修した内容を復習し、各音度の5度関連、偶成和音、主音上の 、 属音の保続音について理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）
13	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析（13）変奏曲 ピアノ譜作成（13）課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求・豊かな表現 など 課題の確認 【課題（準備・復習）】 学修した内容を復習し、変奏曲について理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）
14	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析（14）ソナタ形式のまとめ・楽曲としてのソナタ・各種演奏形態におけるソナタ ピアノ譜作成（14）課題に取り組む ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求・豊かな表現 など 課題の確認 【課題（準備・復習）】 学修した内容を復習し、ソナタ形式について理解する（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）
15	カワイピアノ指導グレード：楽曲分析（15）ロンド形式のまとめ ピアノ譜作成（15）課題に取り組む まとめ・受験対策 ピアノ演奏：テクニックの向上・曲想・バランスづくり・音色研究・響きの追求・豊かな表現 など 課題の確認 【課題（準備・復習）】 学修した内容を復習し、ロンド形式について理解し、受験に向けて準備をする（2～3h） レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）
時間外での学修	学修した内容を授業外で復習し、知識修得に努めましょう。授業時に次回までの課題が提示されますので、授業外で毎日怠らずに学修・練習し、レベルアップできるよう取り組みましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30～45時間】
受講学生へのメッセージ	上級グレード取得に向けて積極的に取り組みましょう。分からないことは質問するなど、必ず解決してください。 音楽的素養を更に身に付け、感性を磨き、自分の技術や音楽性を十分に表現できるよう幅広い学修を行いましょう。 オフィスアワーはB206で火曜日3・4限目です。

【302S203】電子オルガン		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	演習	30時間		
教員	上園 弥生						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	音楽講師・34年						
授業方法	個人レッスン						
到達目標	知識・理解	取り組む楽曲において、その曲の構成や、用いられている表現手法を理解できる。					
	思考・判断・表現	取り組む楽曲において、楽譜から読み取れる情報をもとに、適切に演奏に取り入れて表現することができる。					
	技能	取り組む楽曲に対して、自らのこだわりを持って演奏することができる。					
	関心・意欲・態度	各曲を演奏する上で生じる疑問点を、自ら発見し、質問できる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	電子オルガンにおける様々な音楽ジャンルの演奏を経験・追究し、トータルで安定した演奏基盤を身につけます。具体的には、前半で得意な音楽ジャンルのレパートリー演奏を追究し、後半では その他様々なジャンルの演奏を広く経験し、多様なジャンルへの演奏対応力を身につけ、新たな得意ジャンルを探索します。個人の演奏力や知識に応じて、その場で必要な楽器の操作/レジストレーション等の制作力もカバーしていきます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		20	25	25	-	70
	準備・課題		5	5	5	-	15
	受講態度		-	-	-	15	15
	合計(点)		25	30	30	15	100
評価の特記事項	実技試験は、授業で取り組んだうちの2曲(得意ジャンル1曲/その他ジャンル1曲)の演奏発表で評価します。また、準備・課題は、毎週の練習の結果で評価します。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特にありません						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、試験後に、講評を行います。						
テキスト	これまで自身で取り組んだことのある得意ジャンルのレパートリーから2曲程度ピックアップし、第1週授業の際に 楽譜・レジストデータなどを準備してきてください。(この授業のために、新たに選曲し取り組んだ曲でも構いません。)その他に、個人の必要に応じて授業開始後テキストを案内する場合があります。						
参考書・教材	授業開始後、必要に応じて参考書・楽譜などを案内します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	これまでの演奏経験や現在の演奏レパートリーの確認/今後のレッスン内容の方向性を検討~決定 [準備・課題]決定した得意ジャンルの演奏曲を練習し、まず自身の力の範囲内で仕上げてくる(2~3h)						
2	得意ジャンルのレパートリーにおける演奏追究(1) 例.演奏全体へのアドバイス(リズムの感じ方など) [準備・課題]全体的にアドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する(2~3h)						
3	得意ジャンルのレパートリーにおける演奏追究(2) 例.鍵盤タッチ奏法 [準備・課題]アドバイスされた箇所(例.鍵盤タッチ奏法)を練習し、演奏に反映する(2~3h)						
4	得意ジャンルのレパートリーにおける演奏追究(3) 例.エクスペッションペダル奏法 [準備・課題]アドバイスされた箇所(例.Exp.ペダル奏法)を練習し、演奏に反映する(2~3h)						
5	得意ジャンルのレパートリーにおける演奏追究(4) 例.まとめのアドバイス [準備・課題]アドバイスされた箇所を全体を復習し、演奏に反映する(2~3h)						
6	その他ジャンルへの演奏取り組み[1曲目](1) 例.クラシック [準備・課題]アドバイスされた箇所(例.タッチ奏法)を練習し、演奏に反映する(2~3h)						
7	その他ジャンルへの演奏取り組み[1曲目](2) [準備・課題]アドバイスされた箇所(例.Exp.ペダル奏法)を練習し、演奏に反映する(2~3h)						
8	その他ジャンルへの演奏取り組み[2曲目](1) 例. Jazz [準備・課題]アドバイスされた箇所(例.リズム感)を練習し、演奏に反映する(2~3h)						
9	その他ジャンルへの演奏取り組み[2曲目](2) [準備・課題]アドバイスされた箇所(例.タッチ奏法)を練習し、演奏に反映する(2~3h)						
10	その他ジャンルへの演奏取り組み[3曲目](1) 例. ラテン [準備・課題]アドバイスされた箇所(例.リズム感)を練習し、演奏に反映する(2~3h)						
11	その他ジャンルへの演奏取り組み[3曲目](2) [準備・課題]アドバイスされた箇所(例.タッチ奏法)を練習し、演奏に反映する(2~3h)						
12	その他ジャンルへの演奏取り組み[4曲目](1) 例.フュージョン/ニューエイジミュージック [準備・課題]アドバイスされた箇所(例.2nd Exp.ペダル奏法)を練習し、演奏に反映する(2~3h)						
13	その他ジャンルへの演奏取り組み[4曲目](2) [準備・課題]アドバイスされた箇所(例.ホリゾンタルタッチ奏法)を練習し、演奏に反映する(2~3h)						
14	得意ジャンルのレパートリー曲 演奏の仕上がりの確認と最終アドバイス [準備・課題]得意ジャンルのレパートリー曲について、演奏全体を仕上げる(2~3h)						
15	その他ジャンルからの選択曲 演奏の仕上がりの確認と最終アドバイス [準備・課題]その他ジャンルからの選択曲について、演奏全体を仕上げる(2~3h)						

時間外での学修	<ul style="list-style-type: none"> ・各回における[準備・課題]への取り組み状況を、その次の回にて確認します。 ・第6週～第13週の間も、第14週授業に向けて、前半で取り組んだ曲の練習を継続しましょう。 ・第15週授業では、第6週～第13週で取り組んだその他ジャンルの演奏曲の中から、実技試験で演奏したい1曲を選曲して取り組みます。第13週授業を終えた段階で、取り組む曲を決定して練習しましょう。 <p>【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30～45時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>皆さんが既に演奏しているレパートリーも、実はまだまだ奥の深いものかも知れません。この授業前半では、その奥深さを知り、一歩踏み込んだ演奏に取り組んでみましょう。また後半で、新たな得意ジャンルを開拓しましょう。</p> <p>[オフィスアワー]当授業の教室にて 授業時間の前後5分程度</p>

【302A204】電子オルガン		音楽総合学科		2年後期		
		2単位	選択	演習	30時間	
教員	上園 弥生					
資格・制限等	特になし					
資格等						
実務家教員	上園：音楽講師・34年					
授業方法	個人レッスン					
到達目標	知識・理解	取り組む楽曲において、その曲の構成や、用いられている表現手法を理解できる。				
	思考・判断・表現	取り組む楽曲において、楽譜から読み取れる情報をもとに、適切に演奏に取り入れて表現することができる。				
	技能	取り組む楽曲に対して、自らのこだわりを持って演奏することができる。				
	関心・意欲・態度	各曲を演奏する上で生じる疑問点を、自ら発見し、質問できる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	電子オルガンの演奏力向上とともに、レパートリーの拡充に取り組みます。具体的には、前半で自身で選曲した新規レパートリーの演奏に取り組み、後半では与えられた課題曲の演奏に取り組みます。どちらの曲においても、細部にまでこだわった演奏を目指します。個人の演奏力や知識に応じて、その場で必要な楽器の操作/レジストレーション等の制作力もカバーしていきます。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	20	25	25	-	70
	準備・課題	5	5	5	-	15
	受講態度	-	-	-	15	15
	合計(点)	25	30	30	15	100
評価の特記事項	実技試験は、授業で取り組んだ自由曲1曲/課題曲1曲の演奏発表で、準備・課題は、毎週の練習の成果で評価します。					
ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	特にありません					
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、試験後に、講評を行います。					
テキスト	第1週授業の際に、前半で取り組む自由曲の候補曲(2曲程度)の楽譜・レジストデータなどを準備してきてください。その他に、個人の必要に応じて授業開始後 テキストを案内する場合があります。					
参考書・教材	授業開始後、必要に応じて参考書・楽譜などを案内します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	前半で取り組む自由曲の候補曲を確認/今後のレッスン内容の方向性を検討～決定 [準備・課題]決定した自由曲の練習を開始し、まず自身の力の範囲内で曲の冒頭から1/3程度まで仕上げてくる(2～3h)					
2	自由曲における演奏追究(1) 曲の冒頭から1/3程度まで [準備・課題]曲の冒頭から1/3程度までアドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する(2～3h)					
3	自由曲における演奏追究(2) 前回と同範囲 [準備・課題]曲のつづき～2/3程度まで 仕上げてくる(2～3h)					
4	自由曲における演奏追究(3) 曲のつづき～2/3程度まで [準備・課題]曲の2/3程度までアドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する(2～3h)					
5	自由曲における演奏追究(4) 前回と同範囲 [準備・課題]曲のつづき～最後まで 仕上げてくる(2～3h)					
6	自由曲における演奏追究(5) 曲全体 [準備・課題]曲全体のアドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する(2～3h)					
7	自由曲における演奏追究(6) 前回と同範囲 [準備・課題]後半で取り組む課題曲の練習を開始し、まず自身の力の範囲内で曲の冒頭から1/3程度まで仕上げてくる(2～3h)					
8	課題曲における演奏追究(1) 曲の冒頭から1/3程度まで [準備・課題]曲の冒頭から1/3程度までアドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する(2～3h)					
9	課題曲における演奏追究(2) 前回と同範囲 [準備・課題]曲のつづき～2/3程度まで 仕上げてくる(2～3h)					
10	課題曲における演奏追究(3) 曲のつづき～2/3程度まで [準備・課題]曲の2/3程度までアドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する(2～3h)					
11	課題曲における演奏追究(4) 前回と同範囲 [準備・課題]曲のつづき～最後まで 仕上げてくる(2～3h)					
12	課題曲における演奏追究(5) 曲全体 [準備・課題]曲全体のアドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する(2～3h)					
13	課題曲における演奏追究(6) 前回と同範囲 [準備・課題]前半で取り組んだ自由曲を再度仕上げてくる(2～3h)					
14	自由曲演奏の仕上がりの確認と最終アドバイス [準備・課題]自由曲の演奏全体を仕上げ、課題曲も仕上げてくる。(2～3h)					
15	課題曲演奏の仕上がりの確認と最終アドバイス [準備・課題]課題曲のアドバイスされた箇所を練習し、演奏全体を仕上げる(2～3h)					

時間外での学修	<ul style="list-style-type: none"> ・各回における[準備・課題]への取り組み状況を、その次の回にて確認します。 ・授業開始前に、この授業前半で取り組む自由曲の候補曲を2曲用意し、簡単に譜読みを済ませておいてください。 ・第8週～第13週の間も、第14週授業に向けて、前半で取り組んだ自由曲を練習しましょう。 <p>【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30～45時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>自分で選んだ曲と、与えられた課題曲という2つの対照的な演奏を、平等に取り組んでみましょう。いずれの楽曲においても深くこだわった練習をしていきます。魅力的な演奏に仕上げると同時に、皆さんのレパートリーを増強していきましょう。</p> <p>[オフィスアワー]当授業の教室にて 授業時間の前後5分程度</p>

【302S207】電子オルガンキャリア実践		音楽総合学科		2年前期		
		2単位	選択	演習	60時間	
教員	上園 弥生					
資格・制限等	特になし					
資格等						
実務家教員	指導グレード、エレクトーン演奏グレード5～3級試験官29年 音楽講師34年					
授業方法	個人レッスンです					
到達目標	知識・理解	様々なジャンルの音楽の特徴を理解できる				
	思考・判断・表現	聴いている人に伝わる演奏ができる				
	技能	演奏するジャンルにふさわしい編曲が出来、表現を伴って演奏できる				
	関心・意欲・態度	わからない事に対して、質問、研究する事ができる				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	引き続き、ヤマハの演奏グレードの項目である、即興演奏A、即興演奏B、初見演奏について学びます。色々なジャンルの演奏スタイルを理解し、変奏の方法、伴奏形など、まとめ方を実習しながら勉強していきます。初見演奏のポイントを、理解し練習します。即興演奏を通じて、アレンジの技法などを学び、様々な場面において、対応できる力をつけます。 指導グレードの勉強もしていきます。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	15	25	25	-	65
	筆記試験	5	5	5	-	15
	準備、課題	5	-	-	-	5
	受講態度	-	-	-	15	15
合計(点)	25	30	30	15	100	
評価の特記事項	実技試験は、授業で取り組んだ課題の実習、筆記試験は、授業で取り組んだ内容で出題されます。準備、課題は、毎週の練習の成果で評価します。					
ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	特にありません					
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、試験後に、講評を行います。					
テキスト	授業で提示します。資料を配布します。					
参考書・教材	授業開始後、必要に応じて紹介します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス。今までに学習したジャンルについて再確認、B即興を深く追求する 「準備・課題」学んだ内容を復習する (3～6h)					
2	オルターネイティングベース確認、B即興を深く追求する(美しいメロディー) 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(5～7h)					
3	課題実習、コード進行について(指導グレード) 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)					
4	カウンターメロディについて(指導グレード) 「準備・課題」学んだ内容を復習し、実習する(5～7h)					
5	課題実習、前回までの復習、色々な問題にチャレンジする 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)					
6	課題実習、前回までの復習、色々な問題にチャレンジする 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)					
7	課題実習、前回までの復習、色々な問題にチャレンジする 「準備・課題」学んだ内容を復習し、実習する(5～7h)					
8	課題実習、前回までの復習、色々な問題にチャレンジする 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)					
9	メロディ変奏(フェイク)について 「準備・課題」学んだ内容を復習し、実習する(5～7h)					
10	ブロック奏について 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)					
11	全体のまとめ方、(構成、クライマックス、イントロ、エンディングについて) 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)					
12	即興A課題実習 試験に向けて、(演奏表現) 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)					
13	即興A課題実習 試験に向けて(演奏表現) 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)					
14	初見課題実習 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)					
15	予見について 試験に向けて 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)					
時間外での学修	学習した事を毎日トレーニングしましょう。積極的に課題に取り組みましょう。(問題をたくさんやりましょう) 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：73～104時間】					
受講学生へのメッセージ	わからない事を、放置しないようにしましょう。(いつでもよいのできて下さい) オフィスアワーは授業教室で授業前後の休み時間です。					

【302A208】電子オルガンキャリア実践		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	上園 弥生						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	指導グレード、エレクトーン演奏グレード5～3級試験官29年 音楽講師34年						
授業方法	個別レッスンです						
到達目標	知識・理解	様々なジャンルの音楽の特徴を理解している					
	思考・判断・表現	聴いている人に伝わる演奏ができる					
	技能	課題に対し、ふさわしいジャンルが選択できる。表情豊かな編曲演奏ができる。					
	関心・意欲・態度	わからない事に対して。質問、研究することができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	音楽の総合的能力が要求される即興演奏の勉強をします。 フィーリング、演奏テクニック、正しい音の使い方の三つの要素が三位一体となり、良い演奏ができるように導きます。 要素の積み重ねだけでなく、音楽の流れの中でとらえられるように、努力しましょう。 指導グレードの勉強もしていきます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		15	25	25	-	65
	筆記試験		5	5	5	-	15
	準備、課題		5	-	-	-	5
	受講態度		-	-	-	15	15
合計(点)		25	30	30	15	100	
評価の特記事項	I C T活用						
アクティブ・ラーニングの活用	特になし						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、試験後に、講評を行います。						
テキスト	授業で提示します。資料を配布します。						
参考書・教材	必要に応じて紹介します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	夏休みの課題発表 前期に学んだ項目の確認 「準備・課題」学んだ内容を復習する (3～6h)						
2	モチーフ即興について、(テーマを活かしたメロディー) 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)						
3	モチーフ即興について、(形式) 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)						
4	モチーフ即興について、(形式) 「準備・課題」学んだ内容を復習し、実習する(5～7h)						
5	モチーフ即興について、(形式)中間部の作り方について 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)						
6	モチーフ即興実習、モチーフの発展について 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)						
7	クライマックスをどこにおくか 「準備・課題」学んだ内容を復習し、実習する(5～7h)						
8	指導グレードのコード進行について復習 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)						
9	指導グレードの移調奏について 「準備・課題」学んだ内容を復習し、実習する(5～7h)						
10	指導グレードの弾き歌い、伴奏付け、 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)						
11	即興B課題実習(色々な課題に挑戦) 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)						
12	即興A課題実習 即興B課題実習 試験に向けて(表情豊かな演奏) 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)						
13	即興A課題実習 即興B課題実習 試験に向けて(表情豊かな演奏) 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)						
14	即興A課題実習 即興B課題実習 試験に向けて(表情豊かな演奏)初見課題実習 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)						
15	即興A課題実習 即興B課題実習 試験に向けて(表情豊かな演奏)弾き込み 「準備・課題」学んだ内容を理解し、実習する(5～7h)						
時間外での学修	学習した事を毎日トレーニングしましょう。積極的に課題に取り組みましょう。(問題をたくさんやりましょう) スケールとカデンツは、確実に弾けるようにしましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：73～104時間】						
受講学生へのメッセージ	わからない事を、放置しないようにしましょう。(いつでもよいのできて下さい) オフィスアワーは授業教室で授業前後の休み時間です。						

【302S211】電子オルガン応用実践		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	上園 弥生						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	音楽講師34年						
授業方法	<p>< 演習 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・種々の表現手法について知識を学習しそれらを電子オルガン上で再現していきます。 ・電子オルガンを活用し、詳細な操作、再現手法をマスターしていきます。 ・学んだ知識や操作を活かし、総合的な応用制作に取り組みます。 						
到達目標	知識・理解	様々な表現手法を知り、世の中に溢れる音楽において、それらの存在を理解できる。					
	思考・判断・表現	与えられた情報をもとに、適切な表現手法を選択し、ふさわしいサウンドを構成できる。					
	技能	種々の表現手法において、こだわりをもって望める。					
	関心・意欲・態度	表現手法を研究する上で生じる疑問を、自ら発見し、質問できる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	電子オルガンを用いた演奏や編曲に必要な応用的知識を習得していきます。具体的には、電子オルガンの操作、電子音の仕組み、エフェクトの知識、リズムの打ち込み制作等の知識を深め、繰り返し学習していくことで、操作手順や表現手法を身につけていきます。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	課題制作		30	30	20	-	80
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		30	30	20	20	100
評価の特記事項	授業で制作した楽曲データ、又は、レポートを、を、課題として提出する。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特にありません						
課題に対するフィードバック	授業時間外の取り組みについては、次回以降の授業で確認しコメントします。						
テキスト							
参考書・教材	ステージア パーフェクト・ガイド基礎編・応用編等						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	授業の概要紹介、電子オルガンを演奏するにあたって、レジストレーションとは。 【課題、復習】演奏するに曲に対する、ふさわしいレジストレーションについて理解し、復習する。(2h)						
2	音質と音の表情について考える。 【課題、復習】音質と音の表情を読み取り、判断して、レジスト作りを始める。(2h)						
3	設定。タッチトーン、フィート、パンなど 【課題、復習】設定の内容を理解し、復習する。(2h)						
4	音色について知識を深める：木管楽器 【課題、復習】木管楽器について理解し、復習する。(2h)						
5	音色について知識を深める：金管楽器 1 【課題、復習】金管楽器について理解し、復習する。(2h)						
6	音色について知識を深める：金管楽器 2 【課題、復習】金管楽器について理解し、復習する。(2h)						
7	音色について知識を深める：弦楽器 1 【課題、復習】弦楽器について理解し、復習する。(2h)						
8	音色について知識を深める：弦楽器 2 【課題、復習】弦楽器について理解し、復習する。(2h)						
9	音色について知識を深める：打楽器 【課題、復習】打楽器について理解し、復習する。(2h)						
10	音色について知識を深める：トゥッティ 【課題、復習】トゥッティについて理解し、復習する。(2h)						
11	異なる楽器(音色)の組み合わせと音群の考え方。組み合わせのポイントを知る。 【課題、復習】組み合わせのポイントを理解し、復習する。(2h)						
12	異なる楽器(音色)の組み合わせと音群の考え方。音群の使い方 【課題、復習】音群の使い方について理解し、復習する。(2h)						
13	異なる楽器(音色)の組み合わせと音群の考え方。色々な楽器の組み合わせについて 【課題、復習】色々な楽器の組み合わせについて、理解し、復習する(2h)						
14	設定。ビブラート、トランスポーズ、チューンなど。 より良く聴かせるためのボイスコンディションの設定 【課題、復習】授業で習得した事を復習する。(2h)						
15	ボイスエディットの考え方 【課題、復習】授業で学習した事を復習する。(2h)						

時間外での学修	<p>各回の授業で学ぶ電子オルガンの操作は、繰り返し経験していく事で身につけていきます。授業で取り扱った内容は、日頃から積極的に操作してみるようにしましょう。また、演習で得た知識は、電子オルガンに限らず、現代の様々な音楽の表現手法につながります。身の回りの音楽では、どの様に活用されているか、常に意識して音楽と接すると良いでしょう。</p> <p><この科目で求める望ましい授業外での総学習時間：30時間></p>
受講学生へのメッセージ	<p>細かい操作や耳慣れない用語が沢山できますが、どれも身近にある音楽に深く関わっているものです。電子音楽の視点から、様々な音楽のサウンドを多角的に探究してみましょう。</p> <p><オフィスアワー> 授業時間の前後5分程度</p>

【302A212】電子オルガン応用実践		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	上園 弥生						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	音楽講師34年						
授業方法	<演習> ・種々の表現手法について知識を学習しそれらを電子オルガン上で再現していきます。 ・電子オルガンを活用し、詳細な操作、再現手法をマスターしていきます。 ・学んだ知識や操作を活かし、総合的な応用制作に取り組みます。						
到達目標	知識・理解	様々な表現手法を知り、世の中に溢れる音楽において、それらの存在を理解できる。					
	思考・判断・表現	与えられた情報をもとに、適切な表現手法を選択し、ふさわしいサウンドを構成できる。					
	技能	種々の表現手法において、こだわりをもって望める。					
	関心・意欲・態度	表現手法を研究する上で生じる疑問を、自ら発見し、質問できる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	電子オルガンを用いた演奏や編曲に必要な応用的知識を習得していきます。具体的には、電子オルガンの操作、電子音の仕組み、エフェクトの知識、リズムの打ち込み制作等の知識を深め、繰り返し学習していくことで、操作手順や表現手法を身につけていきます。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	課題制作		30	30	20	-	80
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		30	30	20	20	100
評価の特記事項	授業で制作した楽曲データ、又は、レポートを、課題として提出する。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特にありません						
課題に対するフィードバック	授業時間外の取り組みについては、次回以降の授業で確認しコメントします。						
テキスト							
参考書・教材	ステージア パーフェクト・ガイド基礎編・応用編等						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	授業の概要紹介：電子オルガンを演奏するにあたって、様々な楽器の音の出る仕組み、音楽の中での役割について理解する。 楽器編成、スタイルを学ぶ(クラシック：弦楽四重奏、室内オーケストラ) 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)						
2	電子オルガンを演奏するにあたって、様々な楽器の音の出る仕組み、音楽の中での役割について理解する。 楽器編成、スタイルを学ぶ(クラシック：吹奏楽) 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)						
3	電子オルガンを演奏するにあたって、様々な楽器の音の出る仕組み、音楽の中での役割について理解する。 楽器編成、スタイルを学ぶ(クラシック：オーケストラ) 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)						
4	電子オルガンを演奏するにあたって、様々な楽器の音の出る仕組み、音楽の中での役割について理解する。 楽器編成、スタイルを学ぶ(ポピュラー：コンポスタイル) 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)						
5	電子オルガンを演奏するにあたって、様々な楽器の音の出る仕組み、音楽の中での役割について理解する。 楽器編成、スタイルを学ぶ(ポピュラー：ロック・バンド・スタイル) 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)						
6	電子オルガンを演奏するにあたって、様々な楽器の音の出る仕組み、音楽の中での役割について理解する。 楽器編成、スタイルを学ぶ(ポピュラー：カントリー・バンド・スタイル) 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)						
7	電子オルガンを演奏するにあたって、様々な楽器の音の出る仕組み、音楽の中での役割について理解する。 楽器編成、スタイルを学ぶ(ポピュラー：タンゴ・オーケストラ・スタイル) 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)						
8	電子オルガンを演奏するにあたって、様々な楽器の音の出る仕組み、音楽の中での役割について理解する。 楽器編成、スタイルを学ぶ(ポピュラー：ラテン・ビッグバンド・スタイル) 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)						
9	電子オルガンを演奏するにあたって、様々な楽器の音の出る仕組み、音楽の中での役割について理解する。 楽器編成、スタイルを学ぶ(ポピュラー：ポップス・オーケストラ・スタイル) 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)						
10	音楽の根源をなす、リズムについて<リズムと音色・拍と拍子(ビート)> 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
11	音楽の根源をなす、リズムについて<リズムパターンのいろいろ(8ビート・8ビートシャッフル)> 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)
12	音楽の根源をなす、リズムについて<リズムパターンのいろいろ(16ビート・16ビートシャッフル)> 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)
13	音楽の根源をなす、リズムについて<リズムパターンのいろいろ(4ビート・ジャズワルツ)> 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)
14	音楽の根源をなす、リズムについて<ラテンミュージック(サンバ・ルンバ・ビギン)> 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)
15	音楽の根源をなす、リズムについて<ラテンミュージック(マンボ・ボサノバ・サルサ・タンゴ)> 「準備・課題」学んだ内容を理解、復習し、実習する(2~3h)
時間外での学修	各回の授業で学ぶ電子オルガンの操作は、繰り返し経験していく事で身につけていきます。 授業で取り扱った内容は、日頃から積極的に操作してみるようにしましょう。 また、演習で得た知識は、電子オルガンに限らず、現代の様々な音楽の表現手法につながります。 身の回りの音楽では、どの様に活用されているか、常に意識して音楽と接すると良いでしょう。 <この科目で求める望ましい授業外での総学習時間：30~45時間>
受講学生へのメッセージ	細かい操作や耳慣れない用語が沢山ありますが、どれも身近にある音楽に深く関わっているものです。 電子音楽の視点から、様々な音楽のサウンドを多角的に探究してみましょう。 <オフィスアワー> 授業時間の前後5分程度

【3P1S213】ピアノ演習		音楽総合学科		2年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	横井 香織						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	音楽教室講師・10年						
授業方法	演習を中心とした個人レッスンを行います。音楽的知識や技術修得に向け、学修成果の発表も含めて授業を展開していきます。質問等は授業時やメール等で受け付けます。						
到達目標	知識・理解	幅広い音楽的知識を身に付け、ピアノ演奏法を理解することができる。					
	思考・判断・表現	楽曲に対する思考力を働かせ、ふさわしい演奏表現をすることができる。					
	技能	演奏技術を向上することができる。					
	関心・意欲・態度	指導者と円滑なコミュニケーションを図りながら、常にピアノに関心を持って積極的な取り組みができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	個々の目標に合わせた教材・楽曲に取り組みながら、ピアノ演奏に必要とされる強く独立性のある指作り、自らの体で強弱や音色を創り出し表現する演奏技術を修得します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		-	30	30	-	60
	受講態度		20	-	-	20	40
	合計(点)		20	30	30	20	100
評価の特記事項	実技試験は任意の曲の演奏を最終試験（前期定期試験）で行います。フィードバックとして実技試験実施後に講評を行います。受講態度は学修への取組状況で評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験（実技試験）の受験資格はありません。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特になし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。						
テキスト	『全訳ハノンピアノ教本』全音楽譜出版社(1,430円) ISBN:978-4-11-104010-0 『ツェルニー30番以上の練習曲』指定なし 『J.S.バッハ：インヴェンション・シンフォニア』指定なし 『ソナチネアルバム またはソナタアルバム』指定なし						
参考書・教材	個々に合わせて選択します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	授業説明：今後の進め方 曲決め 【課題(準備)】 楽譜を持っている学生は楽譜を持参する(1~2h)						
2~15	ハノン、練習曲、バッハ、ソナチネ・ソナタ など ・ 正確な譜読み ・ テクニックの修得 ・ 音楽用語の理解 ・ 曲想 ・ 音色づくり ・ 表現 など ヤマハピアノ演奏グレード対策 ・ 変奏課題 ・ モティーフ課題 ・ 課題曲、自由曲 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 毎回のレッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(各1~2h)						
時間外での学修	授業外で毎日ピアノを練習する習慣を身に付け、毎回のレッスンでレベルアップするように取り組みましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15~30時間】						
受講学生へのメッセージ	レッスン内容を自ら楽譜やノート等にも書き留めるなど、自ら学ぶ姿勢で積極的に受講してください。オフィスアワーはB206で月曜日3・4限目です。						

【3P1A214】ピアノ演習		音楽総合学科		2年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	横井 香織						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	音楽教室講師・10年						
授業方法	演習を中心とした個人レッスンをを行います。音楽的知識や技術修得に向け、学修成果の発表も含めて授業を展開していきます。質問等は授業時やメール等で受け付けます。						
到達目標	知識・理解	幅広い音楽的知識を身に付け、ピアノ演奏法を理解することができる。					
	思考・判断・表現	楽曲に対する思考力を働かせ、ふさわしい演奏表現をすることができる。					
	技能	演奏技術を向上することができる。					
	関心・意欲・態度	指導者と円滑なコミュニケーションを図りながら、常にピアノに関心を持って積極的な取り組みができる。					
備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。						
授業内容	前期に修得した基礎を土台とし、ピアノの演奏技術を高め、表現力を身に付けていきます。個々の目標に合わせて学修します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		-	30	30	-	60
	受講態度		20	-	-	20	40
	合計(点)		20	30	30	20	100
評価の特記事項	実技試験は任意の曲の演奏を最終試験で行います。フィードバックとして実技試験実施後に講評を行います。受講態度は学修への取組状況で評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験(実技試験)の受験資格はありません。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特になし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。						
テキスト	『全訳ハノンピアノ教本』全音楽譜出版社(1,430円) ISBN:978-4-11-104010-0 『ツェルニー30番以上の練習曲』指定なし 『J.S.バッハ：インヴェンション・シンフォニア』指定なし 『ソナチネアルバム またはソナタアルバム』指定なし						
参考書・教材	個々に合わせて選択します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1~15	<p>ハノン、練習曲、バッハ、ソナチネ・ソナタ など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正確な譜読み ・ テクニックの修得 ・ 音楽用語の理解 ・ 曲想 ・ 音色づくり ・ 音楽表現 など <p>ヤマハピアノ演奏グレード対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 変奏課題 ・ モティーフ課題 ・ 課題曲、自由曲 など <p>課題の確認 [課題(準備・復習)] 毎回のレッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(各1~2h)</p>						
時間外での学修	授業外での毎日の練習を怠らず、毎回のレッスンでレベルアップするように取り組みましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15~30時間】						
受講学生へのメッセージ	自らの指や体で音色を創り出して、自然な演奏ができるよう、積極的に演奏法を修得しましょう。 オフィスアワーはB206で火曜日3・4限目です。						

【302S213】電子オルガン演習		音楽総合学科		2年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	相原 里美					
資格・制限等	特になし					
資格等						
実務家教員	音楽教室講師・29年					
授業方法	毎週1回の個人レッスンです。個々に適した指導を行います。 質問・要望等授業時に受け付けます。					
到達目標	知識・理解	色々なジャンルの音楽を体験し理解する。				
	思考・判断・表現	楽譜からアレンジの意図を読み取ることができる。 表現豊かな演奏ができる。				
	技能	データをいかした演奏力の向上。				
	関心・意欲・態度	関心を持ち自ら意欲的に取り組むことができる。				
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	電子オルガンの奏法を学びながら電子オルガンの楽しさを知ってもらい、色々なジャンルの音楽を体験します。市販曲の構成、編曲を理解しながらデータを分析、参考にして、入力技術を学び、アレンジに挑戦します。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	-	30	30	-	60
	発表	-	5	5	-	10
	授業態度	10	-	-	20	30
	合計(点)	10	35	35	20	100
評価の特記事項	実技試験は、授業で取り組んだ自由曲の演奏発表で、評価します。 フィードバックとして発表と定期試験実施後に講評を行います。 受講態度は学修への取組状況で評価します。					
ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	特になし					
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。					
テキスト	個々に合わせて選択します。					
参考書・教材	個々に合わせて選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	授業説明(今後の授業の進め方等) [課題(準備)]電子オルガン演奏の視聴をしてみる(1h)					
2	電子オルガンの操作、機能について、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、電子オルガンに慣れる(1h)					
3	電子オルガンの奏法、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、電子オルガンの奏法を理解し、ピアノ譜を電子オルガンで弾いてみる(1h)					
4	レジストについて、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、レジストについて理解する(1h)					
5	強弱(Exp.p)、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、Exp.pを使用し、強弱をつけられるようにする(1h)					
6	レパートリーを増やす(譜読みの確認)、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、正確な譜読みをする(1h)					
7	レパートリー増やす(タッチ奏法)、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、タッチを活かして弾けるようにする(1h)					
8	レパートリー増やす(強弱)、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、強弱をつけて弾けるようにする(1h)					
9	アレンジに向けて(説明・選曲)、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、アレンジ方法を理解する(1h)					
10	アレンジに挑戦: 取り組み(1)課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、アレンジを進める(1h)					
11	アレンジに挑戦: 取り組み(2)課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、さらにアレンジを進める(1h)					
12	アレンジに挑戦: 取り組み(3)仕上げ、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、アレンジを完成させる(1h)					
13	試験に向けての取り組み(1)譜読みの確認、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、見落としの無いように正確な譜読みを行う(1h)					
14	試験に向けての取り組み(2)全体の流れとバランスの確認、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、暗譜で全体の流れを考えながら弾けるようにする(1h)					
15	試験に向けての取り組み(3)発表、仕上げ、課題の確認 [課題(復習)]レッスンの復習をし、発表後に得たコメントを復習し、試験に向けて弾き込んで仕上げる(1h)					
時間外での学修	色々なジャンルの音楽をたくさん聴きましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】					
受講学生へのメッセージ	空き時間を利用して、電子オルガンに向いましょう。 [オフィスアワー]当授業の教室にて、授業時間前後の休み時間です。					

【302A214】電子オルガン演習		音楽総合学科		2年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	相原 里美						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	音楽教室講師・29年						
授業方法	毎週1回の個人レッスンです。個々に適した指導を行います。 質問・要望等授業時に受け付けます。						
到達目標	知識・理解	色々なジャンルの音楽を体験し、電子オルガンの操作、奏法を理解する。					
	思考・判断・表現	楽譜からアレンジの意図を読み取ることができる。 表現豊かな演奏ができる。					
	技能	データをいかした演奏力の向上。					
	関心・意欲・態度	関心を持ち自ら意欲的に取り組むことができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	電子オルガンの演奏法を学びながら、電子オルガンの楽しさを知ってもらい、色々なジャンルの音楽を体験します。市販曲の構成、編曲を理解しながらデータを分析、参考にして、入力技術を学び、アレンジに挑戦します。前期と同様、演奏法を研究し修得します。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		-	30	30	-	60
	発表		-	5	5	-	10
	受講態度		10	-	-	20	30
	合計(点)		10	35	35	20	100
評価の特記事項	実技試験は、授業で取り組んだ自由曲の演奏発表で、評価します。 フィードバックとして発表と定期試験実施後に講評を行います。 受講態度は学修への取組状況で評価します。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特になし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。						
テキスト	個々に合わせて選択します。						
参考書・教材	個々に合わせて選択します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	休暇中の宿題を発表する、選曲 [課題(復習)]発表後に得られたコメントを復習する(1h)						
2	前期の復習、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、次の曲の練習にとりかかる(1h)						
3	電子オルガンの操作、奏法など 電子オルガンの機能について、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、電子オルガンの操作などを理解する(1h)						
4	レジストについて、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、レジストについて理解する(1h)						
5	レジスト分析、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、入力技術を理解する。(1h)						
6	レパートリーを増やす(譜読みの確認)、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、正確な譜読みをする(1h)						
7	レパートリー増やす(タッチ奏法)、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、タッチを活かして弾けるようにする(1h)						
8	レパートリー増やす(全体の流れ・バランス)、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、全体の流れ、バランスを考えながら弾けるようにする(1h)						
9	アレンジに向けて(説明・選曲)、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、アレンジ方法を理解する(1h)						
10	アレンジに挑戦：取り組み(1)課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、アレンジを進める(1h)						
11	アレンジに挑戦：取り組み(2)課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、さらにアレンジを進める(1h)						
12	アレンジに挑戦：取り組み(3)仕上げ、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、アレンジを完成させる(1h)						
13	試験に向けての取り組み(1)譜読みの確認、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、見落としの無いように正確な譜読みを行う(1h)						
14	試験に向けての取り組み(2)全体の流れとバランスの確認、課題の確認 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、暗譜で全体の流れを考えながら弾けるようにする(1h)						
15	試験に向けての取り組み(3)発表、仕上げ、課題の確認 [課題(復習)]レッスンの復習をし、発表後に得たコメントを復習し、試験に向けて弾き込んで仕上げる(1h)						
時間外での学修	色々なジャンルの音楽をたくさん聴きましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】						
受講学生へのメッセージ	空き時間を利用して、電子オルガンに向いましょう。 [オフィスアワー]当授業の教室にて、授業時間前後の休み時間です。						

【3S3A202】P・O r アンサンブル		音楽総合学科		2年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	横井 香織・相原 里美						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	横井：音楽教室講師・10年 相原：音楽教室講師・29年						
授業方法	演習を中心とした1組ずつの演奏・指導を行います。アンサンブル演奏の知識・技術修得の確認のため、発表も含めて授業を展開していきます。質問等は授業時やメール等で受け付けます。						
到達目標	知識・理解	各アンサンブル形態における演奏法についての知識を身に付け、理解することができる。					
	思考・判断・表現	楽曲についてパートナーと研究し、楽曲にふさわしい演奏表現をすることができる。					
	技能	アンサンブル演奏の技術を身に付け、各パートを把握・理解しながら、バランスの良いハーモニーで息の合った演奏をすることができる。					
	関心・意欲・態度	パートナーと十分なコミュニケーションを図りながら積極的に取り組み、協調性・責任感を養うことができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	1年次に引き続き、アンサンブルの魅力や難しさ、協調性などを学びます。アンサンブル演奏を楽しみながら、アンサンブルにおける演奏技術、表現力を共に高めていきます。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		-	30	30	-	60
	発表		-	5	5	-	10
	受講態度		10	-	-	20	30
		合計(点)	10	35	35	20	100
評価の特記事項	実技試験は最終試験（前期定期試験）で行います。発表はピアノと電子オルガンのアンサンブル演奏です。フィードバックとして発表と実技試験実施後に講評を行います。受講態度は学修への取組状況で評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験（実技試験）の受験資格はありません。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特になし						
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。						
テキスト							
参考書・教材	個々に合わせて選択します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス ピアノ・電子オルガンアンサンブル ・パートナー決め ・選曲 【課題(準備)】 選曲後、各自譜読みに取り組む(1~2h)						
2~8	ピアノ・電子オルガンアンサンブル ・譜読みの確認 ・テクニックの向上 ・各パートの理解 ・曲想 ・呼吸 ・バランス ・音楽表現 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 毎回の授業でのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(各1~2h)						
8	試験曲決め(自由編成。ただしピアノ、電子オルガン両方とも演奏すること) 【課題(準備)】 試験曲選曲後、各自譜読みに取り組む(1~2h)						
9	発表 試験曲 ・譜読みの確認 ・テクニックの向上 ・各パートの理解 ・曲想 ・呼吸 ・バランス ・豊かな表現 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 発表に向けて弾き込む 毎回の授業でのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(各1~2h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
9～15	<p>試験曲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・譜読みの確認 ・テクニックの向上 ・各パートの理解 ・呼吸 ・曲想 ・バランス ・豊かな表現 など <p>課題の確認 【課題(準備・復習)】 毎回の授業でのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(各1～2h)</p>
時間外での学修	<p>アンサンブル演奏の前提として、個々のパートの演奏力が必要です。責任を持って授業外で個々の練習を行い、授業までにパートナーと合わせ、毎回の授業でアンサンブル演奏が成立してより質の高い音楽が求められるように準備しましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15～30時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>授業を欠席するとアンサンブルとしてのレッスンができませんので、欠席をしないようにしてください。オフィスアワーは授業教室で授業前後の休み時間です。</p>

【3S3S203】音楽指導研究		音楽総合学科		2年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	横井 香織					
資格・制限等	特になし					
資格等	音楽選択（音楽）					
実務家教員	音楽教室講師・10年					
授業方法	演習を中心として、実際に身体を動かして学修します。豊かな表現力を養うために、発表なども含めて授業を展開していきます。質問等は授業時に受け付けます。					
到達目標	知識・理解	リトミックや子どもの発達についての知識を修得し、理解することができる。				
	思考・判断・表現	リトミック体験を通して豊かな想像力、表現力を養うことができる。				
	技能	音楽に合わせた動きをすることができる。				
	関心・意欲・態度	他者とコミュニケーションを図りながら、積極的に取り組むことができる。				
備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	音楽教育法の一つであるリトミックを体験し、身体を使った音楽表現を通して自分自身の音楽感覚を磨きます。また子どもの発達についても学修し、各発達に沿ったリトミックの方法や子どもへの指導法について研究します。					
観点別評価	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	筆記試験	15	-	-	-	15
	レポート	-	20	-	-	20
	受講態度	-	10	25	30	65
	合計(点)	15	30	25	30	100
評価の特記事項	筆記試験・レポート提出は最終試験（前期定期試験）で行います。フィードバックとしてレポートにコメントを返します。受講態度は学修への取組状況で評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、筆記試験・レポートの受験資格はありません。					
ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	グループワーク					
課題に対するフィードバック	毎回の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。					
テキスト						
参考書・教材	その都度提示します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	リトミックを知ろう、基礎リズム [課題(準備・復習)] 身体を動かすことに慣れ、基本的なリズムを体験をする(1h)					
2	拍と拍子(1)、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、音楽の流れに感じられる一定の刻みである拍を体験し、各拍子を体験する(1h)					
3	拍と拍子(2)、アクセント、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、各拍子の比較をしながら拍子感を養う。アクセントの体験をする(1h)					
4	子どもの発達とリトミック(1)、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、子どもの発達とリトミックについて考える(1h)					
5	子どもの発達とリトミック(2)、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、子どもの発達とリトミックについて考える(1h)					
6	リズムパターン、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、リズム感を養う(1h)					
7	複リズム・補足リズム、リズム即興、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、2グループ・個人による2種類のリズムの同時体験をし、様々なリズムを考える(1h)					
8	ダイナミック・テンポ・スペース(1)、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、身体を使って強弱を表現できるようにする(1h)					
9	ダイナミック・テンポ・スペース(2)、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、身体を使って強弱の比較を表現できるようにする(1h)					
10	子どもの発達とリトミック(3)、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、子どもの発達とリトミックについて考える(1h)					
11	ダイナミック・テンポ・スペース(3)、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、テンポ感を養う(1h)					
12	ダイナミック・テンポ・スペース(4)、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、ダイナミック・テンポ・スペースの関係を考える(1h)					
13	フレーズ、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、フレーズ感を養う(1h)					
14	創造的な動き、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、音楽を聴いて想像力・創造力を働かせ、身体で表現することに繋げる(1h)					
15	ピアノによるイメージ即興、課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、自由な発想で自由にピアノで表現できるようにする(1h)					
時間外での学修	リトミックは豊かな人間性を育成することを目的とした音楽教育です。授業外でも学修した内容を復習するとともに、日頃から日常の小さなことにも感じる心を持ち、豊かな想像力、表現力を養うように心掛けましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】					

受講学生への
メッセージ

リトミックでは身体を動かしますので、運動のできる服装・履物で出席してください。
オフィスアワーはB206で月曜日3・4限目です。

【3S3A208】鍵盤楽器研究		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	横井 香織						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員							
授業方法	基本的には講義形式ですが、グループワークなど、能動的な学び（アクティブラーニング）を前提とした方法も取り入れて授業を行います。可能な限り各楽器について実際に音を出し、各楽器の特性の理解を深めます。質問は授業時やメール等で受け付けます。						
到達目標	知識・理解	鍵盤楽器に関する様々な知識を理解することができる。					
	思考・判断・表現	各種鍵盤楽器の特性を理論立てて伝えることができる。					
	技能	音楽の専門家としての情報収集能力を持ち、総合楽器店職としてのコミュニケーション能力を身に付けることができる。					
	関心・意欲・態度	幅広く関心を持って積極的に取り組むことができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	鍵盤楽器の歴史、種類、構造、メーカー、仕様など、総合楽器店職として必要な知識を修得します。各楽器の特性を理解し、説明できるようになることを目指します。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	課題提出		25	-	-	-	25
	発表		-	30	25	-	55
	受講態度		-	-	5	15	20
	合計(点)		25	30	30	15	100
評価の特記事項	課題は学修したことや調べたことをまとめ、その都度提出してもらいます。フィードバックとして課題や発表にコメントを返します。受講態度は学修への取組状況で評価します。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	グループワーク						
課題に対するフィードバック	授業時間外課題については、次回の授業で活用します。						
テキスト	適宜配布します。						
参考書・教材	適宜配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス 鍵盤楽器の種類 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、鍵盤楽器の種類について理解する(4h)						
2	鍵盤楽器の歴史：クラヴィコード・ハーブシコード(チェンバロ)、オルガンなど、ピアノの前身楽器といわれる鍵盤楽器について [課題(復習)] 学修した内容を復習し、鍵盤楽器の歴史について理解する(4h)						
3	グランドピアノ(1)現在の構造になるまでの発達、国内外のメーカー、構造、機種・仕様・価格、関連商品 グループワーク 課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、グランドピアノについて理解する(4h)						
4	グランドピアノ(2)国内外のメーカー、構造、機種・仕様・価格、関連商品 発表 課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、グランドピアノについて理解する(4h)						
5	アップライトピアノ(1)国内外のメーカー、構造、機種・仕様・価格、関連商品 グループワーク [課題(復習)] 学修した内容を復習し、アップライトピアノについて理解する(4h)						
6	アップライトピアノ(2)国内外のメーカー、構造、機種・仕様・価格、関連商品 発表 課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、アップライトピアノについて理解する(4h)						
7	電子ピアノ(1)メーカー、構造、機種・仕様・価格、関連商品 グループワーク [課題(復習)] 学修した内容を復習し、電子ピアノについて理解する(4h)						
8	電子ピアノ(2)メーカー、構造、機種・仕様・価格、関連商品 発表 課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、電子ピアノについて理解する(4h)						
9	電子オルガン(1)メーカー、構造、機種・仕様・価格、関連商品 グループワーク [課題(復習)] 学修した内容を復習し、電子オルガンについて理解する(4h)						
10	電子オルガン(2)メーカー、構造、機種・仕様・価格、関連商品 発表 課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、電子オルガンについて理解する(4h)						
11	キーボード(1)メーカー、構造、機種・仕様・価格、関連商品 グループワーク [課題(復習)] 学修した内容を復習し、キーボードについて理解する(4h)						
12	キーボード(2)メーカー、構造、機種・仕様・価格、関連商品 発表 課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、キーボードについて理解する(4h)						
13	その他の鍵盤楽器 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、その他の鍵盤楽器について理解する(4h)						
14	鍵盤楽器販売ロールプレイング、デモンストレーション演奏(1) 課題の確認 [課題(復習)] 学修した内容を復習し、鍵盤楽器販売について理解する(4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
15	鍵盤楽器販売ロールプレイング、デモンストレーション演奏(2) 課題の確認 【課題(復習)】 学修した内容を復習し、鍵盤楽器販売について理解する(4h)
時間外での学修	授業で学修した内容を復習し、知識の修得に努めましょう。授業内で調べられなかったことは、次回の授業までに調べてまとめておいてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	知識の修得とともに、各楽器で簡単な曲で良いですので、デモンストレーション演奏ができるように準備しておきましょう。 オフィスアワーはB206で火曜日3・4限目です。

【3S8S220】和声法		音楽総合学科		2年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	三輪 泰子						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	音楽教室講師・17年						
授業方法	講義形式ですが、課題理解のための個人指導にも力を入れていきます。						
到達目標	知識・理解	和声と楽典の基礎的な知識を身に付け、更に、応用し、問題演習する。					
	思考・判断・表現	西洋音楽の土台となっている和声感を感じられるようにしたい。楽典を習熟することで、演奏者としての表現力を高めたい。					
	技能	グレード取得により、社会的評価を得て、就職活動へと繋げていく。					
	関心・意欲・態度	和声と楽典の知識を、演奏、創作、音楽指導活動に活かせるようにする。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	指導グレードに必要な和声学,音楽知識を身に付け、各自、希望するグレード取得を目指します。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	試験		50	20	20	-	90
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		50	20	20	10	100
評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生は期末試験の受験資格がありません。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	課題以外にも、自主的に勉強する姿勢を奨励し、質問を受け付け、指導します。						
課題に対するフィードバック	毎回、宿題プリントの添削と解答の説明を、授業内で個別指導していきます。						
テキスト	『和声 理論と実習』島岡 謙 他 音楽之友社(3,024円) ISBN:978-4276102057						
参考書・教材	授業中に配布するプリントを、教材としますので、必ず保管して下さい。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	属7の和音 [課題(復習)]課題25,26,27を解いてみましょう。(2h)						
2	属7の和音 [課題(復習)]課題28(1~4)を解いてみましょう。(2h)						
3	属7の和音 [課題(復習)]課題28(5~8)を解いてみましょう。(2h)						
4	属7の和音 [課題(復習)]課題28(9~12)を解いてみましょう。(2h)						
5	属7の和音 [課題(復習)]課題30(1~3)を解いてみましょう。(2h)						
6	属7の和音 [課題(復習)]課題30(4~6)を解いてみましょう。(2h)						
7	補充課題の実習(3和音の第1転回位置) [課題(復習)]課題(6~10)を解いてみましょう。(2h)						
8	属7の和音の根音省略形、第2転回位置 [課題(復習)]課題31,32,33を解いてみましょう。(2h)						
9	属7の和音の根音省略形、第2転回位置 [課題(復習)]課題34(1~3)を解いてみましょう。(2h)						
10	属7の和音の根音省略形、第2転回位置 [課題(復習)]課題34(4~6)を解いてみましょう。(2h)						
11	補充課題の実習 属7の和音の根音省略形、第2転回位置 [課題(復習)]課題(1~3)を解いてみましょう。(2h)						
12	補充課題の実習 属7の和音の根音省略形、第2転回位置 [課題(復習)]課題(4~6)を解いてみましょう。(2h)						
13	指導グレードの過去問題を使用し、実践力を身に付ける。 [課題(復習)]課題(1~3)を解いてみましょう。(2h)						
14	指導グレードの過去問題を使用し、実践力を身に付ける。 [課題(復習)]課題(4~6)を解いてみましょう。(2h)						
15	期末テストに向けて質疑応答 [課題(復習)]わからない所を質問できるようにまとめておきましょう。(2h)						

時間外での学修	理解のためには、授業内の演習だけでなく、予習復習が必要不可欠です。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	和声学は、西洋音楽の基本です。演奏力、アレンジ力向上のためにも、積極的に受講してください。 オフィスアワーは、教室で授業前後です。

【3S8A221】和声法		音楽総合学科		2年後期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	三輪 泰子					
資格・制限等	特になし					
資格等						
実務家教員	音楽教室講師・17年					
授業方法	講義形式ですが、課題理解のための個人指導にも力を入れていきます。					
到達目標	知識・理解	和声と楽典の基礎的な知識を身に付け、更に、応用し、問題演習する。				
	思考・判断・表現	西洋音楽の土台となっている和声感を感じられるようにしたい。楽典を習熟することで、演奏者としての表現力を高めたい。				
	技能	グレード取得により、社会的評価を得て、就職活動へと繋げていく。				
	関心・意欲・態度	和声と楽典の知識を、演奏、創作、音楽指導活動に活かせるようにする。				
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	指導グレードに必要な和声学、音楽知識を身に付け、各自、希望するグレード取得を目指します。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	試験	50	20	20	-	90
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	50	20	20	10	100
評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生は期末試験の受験資格がありません。					
ICT活用						
アクティブラーニングの活用	課題以外にも、自主的に勉強する姿勢を奨励し、質問を受け付け、指導します。					
課題に対するフィードバック	毎回、宿題プリントの添削と解答の説明を、授業内で個別指導していきます。					
テキスト	『和声理論と実習』島岡 譲 他 音楽之友社(3,024円) ISBN:978-4276102057 「グレード対策応用」履修者は購入済					
参考書・教材	授業中に配布するプリントを、教材としますので、必ず保管して下さい。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	属9の和音(長調) [課題(復習)]課題35,36,37,38,39を解いてみましょう。(2h)					
2	属9の和音(長調) [課題(復習)]課題40(1~6)を解いてみましょう。(2h)					
3	属9の和音(長調) [課題(復習)]課題40(7~12)を解いてみましょう。(2h)					
4	属9の和音(短調) [課題(復習)]課題41,42を解いてみましょう。(2h)					
5	属9の和音(短調) [課題(復習)]課題43(1~4)を解いてみましょう。(2h)					
6	属9の和音(短調) [課題(復習)]課題43(5~8)を解いてみましょう。(2h)					
7	属9の和音(短調) [課題(復習)]課題43(9~12)を解いてみましょう。(2h)					
8	D諸和音の総括 [課題(復習)]課題44(1~3)を解いてみましょう。(2h)					
9	D諸和音の総括 [課題(復習)]課題44(4~6)を解いてみましょう。(2h)					
10	D諸和音の総括 [課題(復習)]課題44(7~8)を解いてみましょう。(2h)					
11	補充課題の実習 [課題(復習)]属9の和音(長調)課題を解いてみましょう。(2h)					
12	補充課題の実習 [課題(復習)]属9の和音(短調)課題を解いてみましょう。(2h)					
13	補充課題の実習 [課題(復習)]D諸和音の総括(長調)課題を解いてみましょう。(2h)					
14	補充課題の実習 [課題(復習)]D諸和音の総括(短調)課題を解いてみましょう。(2h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
15	<p>期末テストに向けて質疑応答 【課題（復習）】わからない所を質問できるようにまとめておきましょう。(2h)</p>
時間外での学修	<p>理解のためには、授業内の演習だけでなく、予習復習が必要不可欠です。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>和声学は、西洋音楽の基本です。演奏力、アレンジ力向上のためにも、積極的に受講してください。 オフィスアワーは、教室で授業前後です。</p>

【3W5S205】吹奏楽実践演習		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	鈴木 孝育・野々垣 行恵						
資格・制限等	Wコース必修						
資格等							
実務家教員	鈴木：吹奏楽指導者（含 高等学校教員）37年						
授業方法	吹奏楽の合奏が中心で、そのほかにセクション別演習やパート別演習などの集団活動を行います。最後に、筆記試験と実技試験を実施します。楽曲に対する個々の解釈や意見については、授業での発信・発言に応えます。						
到達目標	知識・理解	吹奏楽合奏に必要な楽語・用語を学び、オリジナル、クラシック、ジャズ&ポップス等、それぞれのジャンルの様式や特徴、歴史や背景等を理解し、聞く人の心を動かす演奏ができる。					
	思考・判断・表現	吹奏楽という多様な楽器編成や、様々なジャンルの楽曲に取り組むことで、楽器を演奏する上での多角的な視野と判断能力を身につける。					
	技能	楽譜通りに演奏できることはもちろん指揮者の音楽性を理解し、要求に合った演奏ができる。また、パートや合奏隊の一員としてお互いのコミュニケーションを取ることができる。					
	関心・意欲・態度	個人練習のみならず、パート練習、セクション練習等を、積極的に学生同士で円滑に進めることができる。豊かな感性と表現力を養い、地域の音楽活動に貢献できる演奏者にむかって、研鑽に努める事ができる。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、音楽総合学科のDP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	吹奏楽オリジナル作品の他、クラシックアレンジ作品、ジャズ&ポップスに至るまで、様々なジャンルの曲を取り上げ、それぞれの様式や特徴、演奏方法を理解し、演奏表現力の向上を目指します。授業以外に、地域での依頼演奏や定期演奏会で実践力を磨きます。なお、依頼演奏の関係で授業内容は、変更になることがあります。また、客員教授による特別講義や定期演奏会前に数日間の集中練習を実施する予定です。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		-	10	50	-	60
	筆記試験・受講態度		10	10	-	20	40
	合計(点)		10	20	50	20	100
評価の特記事項	受講態度は、受講姿勢や出席状況を含めて総合的に評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験の受験資格はありません。						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援（Googleフォーム、学生ポータル）						
アクティブラーニングの活用	セクション演習、パート演習などのグループワーク、グループディスカッション						
課題に対するフィードバック	毎回の授業後、個々の課題を整理し、解決します。また、全員に共通の課題と判断されるものについては、次回の授業で発表し、全員で共有し取り組みます。						
テキスト	その都度配布						
参考書・教材	楽譜等その都度配布						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス 授業の進め方、注意事項、授業の目標や学ぶ内容の概要を理解する。音楽鑑賞用（学外演奏用）楽曲配布・全体で譜読み、合奏。パート内集団活動。パート別演習の打ち合わせ、配布した音楽鑑賞（学外演奏）用楽曲をパートで譜読み。[課題（準備・予習）]シラバスの熟読、音楽鑑賞用楽曲の譜読み、各自、楽器、衣装・譜面台・ファイル等配布物の整理。（2h～4h）						
2	音楽鑑賞用（学外演奏用）楽曲配布・全体で譜読み、合奏。パート別、セクション別演習。楽譜通り正確に演奏できるように学修。[課題（復習・予習）] 音楽鑑賞用楽曲のパート別演習の復習、個人練習（特に音や、リズムを正確に楽譜通り吹けるように）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						
3	音楽鑑賞用（学外演奏用）楽曲配布・全体で譜読み、合奏。パート別、セクション別演習。楽譜通り正確に演奏できるように学修。[課題（復習・予習）]音楽鑑賞用楽曲のパート別演習の復習、個人練習（特に音や、リズムを正確に楽譜通り吹けるように）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						
4	音楽鑑賞用（学外演奏用）楽曲配布・全体で譜読み、合奏。パート別、セクション別演習。楽譜通り正確に演奏できるように学修。[課題（復習・予習）] 音楽鑑賞用楽曲のパート別演習の復習、個人練習（特にハーモニーの取り方や音程の理解を深めるように）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						
5	音楽鑑賞用（学外演奏用）楽曲配布・全体で譜読み、合奏。パート別、セクション別演習。楽譜通り正確に演奏できるように学修。日時を変更して実施。[課題（復習・予習）] 音楽鑑賞用楽曲のパート別演習の復習、個人練習（特にハーモニーの取り方や音程の理解を深めるように）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						
6	音楽鑑賞用（学外演奏用）楽曲仕上げ合奏。パート別、セクション別演習。[課題（復習・予習）] 音楽鑑賞用楽曲のまとめ（テンポの変化、表現記号、ダイナミクスの変化、他のパートとの調和などに注意するように）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						
7	音楽鑑賞用（学外演奏用）楽曲仕上げ合奏。パート別、セクション別演習。[課題（復習・予習）] 音楽鑑賞用楽曲のまとめ（テンポの変化、表現記号、ダイナミクスの変化、他のパートとの調和などに注意するように）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						

内容	
実施回	授業内容・目標
8	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題(復習・予習)] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習(特に音や、リズムを正確に楽譜通り吹けるように)。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。(2h~4h)
9	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題(復習・予習)] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習(特に音や、リズムを正確に楽譜通り吹けるように)。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。(2h~4h)
10	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題(復習・予習)] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習(特にハーモニー・音程の取り方の理解を深めるように)。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。(2h~4h)
11	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題(復習・予習)] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習(特にハーモニー・音程の取り方の理解を深めるように)。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。(2h~4h)
12	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題(復習・予習)] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習(テンポの変化、表現記号、ダイナミクスの変化、他のパートとの調和などに注意するように)。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。(2h~4h)
13	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題(復習・予習)] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習(テンポの変化、表現記号、ダイナミクスの変化、他のパートとの調和などに注意するように)。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。(2h~4h)
14	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題(復習・予習)] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習(テンポの変化、表現記号、ダイナミクスの変化、他のパートとの調和などに注意するように)。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。(2h~4h)
15	前期実技試験指定曲の合奏及び、筆記試験、 [課題(復習)] 試験指定曲の復習。筆記試験の確認、復習。(2h~4h)
時間外での学修	各自に与えられた楽譜を事前にしっかりと練習して授業に臨んでください。必要に応じて、パート練習、セクション練習等を積極的に行ってください。また、楽曲についての研究・調査を図書館やインターネットを利用して行って下さい。[この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30~60時間]
受講学生へのメッセージ	個人の確かな技術の上に、パート内で精密な合わせをし、指揮者の要求に応えられるよう、リーダーシップを発揮して下さい。欠席や遅刻は、全体の音楽作りや授業の進行に多大な迷惑がかかります。従って、出席に関しては合奏を目的とした授業の性格上厳しく取り扱います。合奏メンバーとしての責任を十分に果たしましょう。オフィスアワーは、授業前後の休み時間に教室で行います。

【3W5S206】アンサンブル		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	鈴木 孝育						
資格・制限等	Wコース必修						
資格等							
実務家教員	吹奏楽指導者(含 高等学校教員)37年						
授業方法	アンサンブルをするための基本的な表現方法や技術を講義によって学びます。そのうえで、同属楽器を中心にアンサンブルを編成し、楽曲を探究します。それぞれの編成において、実技レッスンをを行います。最終試験として、互いに発表しあい、意見を交換します。また、学外コンサート用楽曲を題材に、合奏を中心に基本的な技術と表現方法を学びます。						
到達目標	知識・理解	アンサンブルや合奏を成立させるために必要なスケール(長調)、移調、ハーモニー等についての知識を実践的に応用できる。					
	思考・判断・表現	アンサンブルや合奏を通して、各自が持つ積極性、運営力やコミュニケーション力を使い、楽譜を深く理解した上で、音楽性を伴った表現豊かな演奏ができる。					
	技能	スムーズな移調ができる。全調スケールが演奏できる。ハーモニーにおいて響きを同調させ、バランスをとることができる。					
	関心・意欲・態度	感動を生むくらいの調和、自発性、総合的音楽性を養うために深く探求することができる。					
	備考	・ ・ の記号は、音楽総合学科のDP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	アンサンブルや合奏(小編成)を通して、演奏技術、表現能力、各奏者間のコミュニケーション能力を磨きます。前期は特に移調や、全調スケール(長調)、ハーモニー等を復習した上で、豊かで個性的な音楽を作り上げる研究をします。また、学外演奏会を実現する中で様々な役割を経験し、生演奏でしか味わえない「音による会話」の臨場感を感じ、発展的な演奏をする喜びを体験します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験、小テスト		20	20	30	-	70
	課題提出、受講態度		10	10	-	10	30
	合計(点)		30	30	30	10	100
評価の特記事項	受講態度は、受講姿勢、課題の取り組み状況などを基に総合的に評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験(実技試験)の受験資格はありません。						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援(Googleフォーム、学生ポータル)						
アクティブラーニングの活用	アンサンブルによるグループワーク、ディスカッションなど						
課題に対するフィードバック	小テストや課題は、個々の取り組みや学びを確認し、質問にはコメントを返します。アンサンブル及び、合奏レッスンにおいて、個々の課題を指摘し改善方法や練習方法を示します。						
テキスト	随時プリント配付						
参考書・教材	楽譜等その都度配布						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス、授業の進め方、授業の内容説明等。 学外演奏のためのレパトリー [課題(準備・復習・予習)]シラバスの熟読、本時学修内容の復習。移調の方法を予習しておく。合奏曲の正確な譜読み(音とリズム)。(2~4h)						
2	移調の基礎知識と移調楽器について 学外演奏のためのレパトリー [課題(復習)]本時学修内容(各移調楽器の特徴、調性)の復習及び、練習課題に取り組む。合奏曲の正確な譜読み(音とリズム)。(2~4h)						
3	移調の方法と実践 学外演奏のためのレパトリー [課題(復習・予習)]本時学修内容(管楽器における移調の実践方法)の復習及び、練習課題に取り組む。小テスト(記譜・移調)の予習。合奏曲の正確な譜読み(音とリズム)。(2~4h)						
4	移調の方法と実践 学外演奏のためのレパトリー [課題(復習・予習)]本時学修内容(管楽器における移調の実践方法)の復習及び、練習課題に取り組む。小テスト(記譜・移調)の予習。合奏曲の正確な譜読み(アーティキュレーションと強弱)。(2~4h)						
5	小テスト(記譜・移調) 学外演奏のためのレパトリー [課題(準備・復習)]小テスト(記譜・移調)の復習。スケールテストの準備。合奏曲の正確な譜読み。(アーティキュレーションと強弱)。(2~4h)						
6	アンサンブル演習 学外演奏のためのレパトリー、全調スケール(長調) [課題(復習)]アンサンブル曲の正確な譜読み(音とリズム)。スケールテストの準備。合奏曲の正確な譜読み(フレーズ、バランス)。(2~4h)						
7	アンサンブル演習 学外演奏のためのレパトリー、全調スケール(長調) [課題(復習)]アンサンブル曲の正確な譜読み(音とリズム)。スケールテストの準備。合奏曲の正確な譜読み(フレーズ、バランス)。(2~4h)						
8	アンサンブル演習 学外演奏のためのレパトリーまとめ、全調スケール(長調) [課題(復習)]アンサンブル曲の正確な譜読み(アーティキュレーション、強弱)。スケールテストの準備。合奏曲の正確な譜読み(まとめ)。(2~4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
9	アンサンブル演習 学外演奏のためのレパートリーまとめ、全調スケール(長調) [課題(復習)]アンサンブル曲の正確な譜読み(アーティキュレーション、強弱)。スケールテストの準備。合奏曲の正確な譜読み(まとめ)(2~4h)
10	小テスト(全調スケール:長調) 学内コンサートのためのレパートリー [課題(復習)]全調スケールテストの復習と定着。合奏曲の正確な譜読み(音とリズム)(2~4h)
11	アンサンブル演習 学内コンサートのためのレパートリー [課題(復習)]アンサンブル曲の正確な譜読み(フレージング、ハーモニーバランス)。合奏曲の正確な譜読み(音とリズム)(2~4h)
12	アンサンブル演習 学内コンサートのためのレパートリー [課題(復習)]アンサンブル曲の正確な譜読み(フレージング、ハーモニーバランス)。合奏曲の正確な譜読み(アーティキュレーション、強弱)(2~4h)
13	アンサンブル演習 学内コンサートのためのレパートリー [課題(復習)]アンサンブル曲の正確な譜読み(個性を活かした表現)。合奏曲の正確な譜読み(アーティキュレーション、強弱)(2~4h)
14	アンサンブル演習 学内コンサートのためのレパートリー [課題(復習)]アンサンブル曲の正確な譜読み(個性を活かした表現)。合奏曲の正確な譜読み(フレージング、バランス)(2~4h)
15	前期まとめ アンサンブル発表会 [課題(復習)]発表会の反省。講評で指摘された箇所の改善と定着、発展。(2~4h)
時間外での学修	個人の基礎練習を日頃から行い身体にしみ込ませましょう。アンサンブルについては、メンバー同士のコミュニケーションを取り、授業時間外で合わせの練習や研究の実践が必要です。【この科目で求める望ましい授業時間外での総学修時間：30~60時間】
受講学生へのメッセージ	履修学生は授業内容に沿った個人練習(予習・復習)と学修内容の復習を必要不可欠とします。授業の性格上、欠席や遅刻が他の受講生の音楽作りや授業の進行に多大な迷惑をかけることを承知の上で自覚と責任の心を持って授業に取り組みましょう。上級生としての自覚と責任ある言動を期待します。オフィスアワーは、講義終了後、各教室で行います。その他、B204研究室にも気軽に相談に来てください。

【3W5A207】吹奏楽実践演習		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	鈴木 孝育・野々垣 行恵						
資格・制限等	Wコース必修						
資格等							
実務家教員	鈴木：吹奏楽指導者（含 高等学校教員）37年						
授業方法	吹奏楽の合奏が中心で、そのほかにセクション別演習やパート別演習などの集団活動を行います。最後に、筆記試験と実技試験を実施します。楽曲に対する個々の解釈や意見については、授業内での発信・発言に応えます。						
到達目標	知識・理解	吹奏楽合奏に必要な楽語・用語を学び、オリジナル、クラシック、ジャズ&ポップス等、それぞれのジャンルの様式や特徴、歴史や背景等を理解し、聞く人の心を動かす演奏ができる。					
	思考・判断・表現	吹奏楽という多様な楽器編成や、様々なジャンルの楽曲に取り組むことで、楽器を演奏する上での多角的な視野と判断能力を身につける。					
	技能	楽譜通りに演奏できることはもちろん指揮者の音楽性を理解し、要求に合った演奏ができる。また、パートや合奏隊の一員としてお互いのコミュニケーションを取ることができる。					
	関心・意欲・態度	個人練習のみならず、パート練習、セクション練習等を、積極的に学生同士で円滑に進めることができる。豊かな感性と表現力を養い、地域の音楽活動に貢献できる演奏者にむかって、研鑽に努める事ができる。					
	備考	・ ・ の記号は、音楽総合学科のDP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	吹奏楽オリジナル作品の他、クラシックアレンジ作品、ジャズ&ポップスに至るまで、様々なジャンルの曲を取り上げ、それぞれの様式や特徴、演奏方法を理解し、演奏表現力の向上を目指します。授業以外に、地域での依頼演奏や定期演奏会で実践力を磨きます。なお、依頼演奏の関係で授業内容は、変更になることがあります。また、客員教授による特別講義や定期演奏会前に数日間の集中練習を実施する予定です。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		-	10	50	-	60
	筆記試験・受講態度		10	10	-	20	40
	合計(点)		10	20	50	20	100
評価の特記事項	受講態度は、受講姿勢や出席状況を含めて総合的に評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験の受験資格はありません。						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援（Googleフォーム、学生ポータル）						
アクティブ・ラーニングの活用	セクション演習、パート演習などのグループワーク、グループディスカッション						
課題に対するフィードバック	毎回の授業後、個々の課題を整理し、解決します。また、全員に共通の課題と判断されるものについては、次回の授業で発表し、全員で共有し取り組みます						
テキスト	その都度配布						
参考書・教材	楽譜等その都度配布						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス 授業の進め方、注意事項、授業の目標や学ぶ内容の概要を理解する。定期演奏会用楽曲配布・全体で譜読み、合奏。パート内集団活動。パート別演習の打ち合わせ、配布した定期演奏会用楽曲をパートで譜読み。 [課題（準備・予習）]シラバスの熟読。定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						
2	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題（復習・予習）] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習（特に音や、リズムを正確に楽譜通り吹けるように）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						
3	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題（復習・予習）] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習（特に音や、リズムを正確に楽譜通り吹けるように）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						
4	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題（復習・予習）] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習（特に音や、リズムを正確に楽譜通り吹けるように）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						
5	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題（復習・予習）] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習（特にハーモニーの取り方や音程の理解を深めるように）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						
6	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題（復習・予習）] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習（特にハーモニーの取り方や音程の理解を深めるように）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						
7	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題（復習・予習）] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習（特にハーモニーの取り方や音程の理解を深めるように）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						
8	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題（復習・予習）] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習（特にハーモニーの取り方や音程の理解を深めるように）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						
9	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題（復習・予習）] 定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習（テンポの変化、表現記号、ダイナミクスの変化に留意して）。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。（2h～4h）						

内容	
実施回	授業内容・目標
10	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。 [課題(復習・予習)]定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習(テンポの変化、表現記号、ダイナミクスの変化に留意して)。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。(2h~4h)
11	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。仕上げ。 [課題(復習・予習)]定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習(特に旋律部分、伴奏部分の音楽の違いに注意しながら)。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。(2h~4h)
12	定期演奏会用楽曲合奏。パート別演習、セクション別演習。仕上げ。 [課題(復習・予習)]定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習(特に、他のパートとの調和などに注意するように)。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。(2h~4h)
13	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。仕上げ。 [課題(復習・予習)]定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習(特に時代背景や特徴的な表現記号を反映させながら)。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。(2h~4h)
14	定期演奏会用楽曲合奏。パート別、セクション別演習。仕上げ。 [課題(復習・予習)]定期演奏会用楽曲のパート別演習の復習、個人練習(特に自分なりの音楽を考えながら)。指摘のあった箇所の反復練習及び、個々の課題に取り組む。(2h~4h)
15	後期実技試験指定曲の合奏及び、筆記試験。 [課題(復習)]試験指定曲の復習。筆記試験の確認、復習。(2h~4h)
時間外での学修	各自に与えられた楽譜を事前にしっかりと練習して授業に臨んでください。必要に応じて、パート練習、セクション練習等を積極的に行ってください。また、楽曲についての研究・調査を図書館やインターネットを利用して行って下さい。[この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30~60時間]
受講学生へのメッセージ	個人の確かな技術の上に、パート内で精密な合わせをし、指揮者の要求に応えられるよう、リーダーシップを発揮して下さい。欠席や遅刻は、全体の音楽作りや授業の進行に多大な迷惑がかかります。従って、出席に関しては合奏を目的とした授業の性格上厳しく取り扱います。合奏メンバーとしての責任を十分に果たしましょう。オフィスアワーは、授業前後の休み時間に教室で行います。

【3W5A208】アンサンブル		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	鈴木 孝育						
資格・制限等	Wコース必修						
資格等							
実務家教員	吹奏楽指導者(含 高等学校教員)37年						
授業方法	後期は、各ジャンルにおけるメロディの演奏法を学修します。その上で、バンドをバックにソロで演奏する機会を得、ソリストとしての演奏表現力や姿勢を学びます。最終試験として、互いに発表しあい、意見を交換します。また、学外(学内)コンサート用楽曲を中心に、合奏を中心に基本的な技術と表現方法も同時に学びます。						
到達目標	知識・理解	様々なジャンルにおけるメロディの歌い方についての実践的な方法を理解できる。ソリストとしての演奏法や心構えについて、より深く理解できる。					
	思考・判断・表現	ソリストとして、個性豊かな演奏表現力を身につける。					
	技能	全調スケール(短音階)ができるとともに各ジャンルにおけるメロディの歌い方を正しく理解し、演奏することができる。個人の音作りと全体の音作りを結びつけて、音楽性を伴った演奏ができる。					
	関心・意欲・態度	感動を生むくらいの調和、自発性、総合的音楽性を養うために深く探求することができる。					
	備考	・ ・ の記号は、音楽総合学科のDP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	ソロの楽曲にあった奏法を身につけると共にバンドをバックに演奏する経験を積みます。後期は特に全調スケール(短調)や、各ジャンルのメロディの歌い方について学修した上で、一つの音楽をメンバーと友に作り上げる研究をします。また、学外(学内)コンサートを実現する中で、演奏家としてのマナーを学び、合奏に必要な実践的な能力を学びます。その上で、生演奏でしか味わえない「音による会話」の臨場感を感じ、発展的な演奏をする喜びを体験します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験・小テスト		20	20	30	-	70
	課題提出、受講態度		10	10	-	10	30
	合計(点)		30	30	30	10	100
評価の特記事項	受講態度は、受講姿勢、課題の取り組み状況などを基に総合的に評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験(実技試験)の受験資格はありません。						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援(Googleフォーム、学生ポータル)						
アクティブラーニングの活用	アンサンブルによるグループワーク、ディスカッションなど						
課題に対するフィードバック	小テストや課題は、個々の取り組みや学びを確認し、質問にはコメントを返します。ソロ&合奏レッスンにおいて、個々の課題を指摘し改善方法や練習方法を示します。						
テキスト	随時プリント配付						
参考書・教材	楽譜等その都度配布						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス、授業の進め方、授業の内容説明等 学内コンサートのためのレポーター [課題(準備・復習・予習)]シラバスの熟読、本時学修内容の復習。メロディの歌い方について予習しておく。配布楽譜の予習・復習。正確な譜読み。(2~4h)						
2	メロディの演奏法 セレナーデ(J.ハイドン) 学内コンサートのためのレポーター [課題(予習・復習)]本時学修内容の復習。メロディの演奏法について復習。配布楽譜の予習・復習。正確な譜読み。(2~4h)						
3	メロディの演奏法 アヴェ・マリア(J.S.バッハ/C.グノー) 歌の翼幻想曲(F.メンデルスゾーン/H.ステックメスト) 学内コンサートのためのレポーター [課題(準備・予習・復習)]本時学修内容の復習。メロディの演奏法について復習。配布楽譜の予習・復習。正確な譜読み。(2~4h)						
4	メロディの演奏法 ジャズ&ポップスにおけるメロディーの味つけ、独特な奏法。 学内コンサートのためのレポーター [課題(予習・復習)]本時学修内容の復習。メロディの演奏法について復習。配布楽譜の予習・復習。正確な譜読み。(2~4h)						
5	学内コンサートのためのレポーター(まとめ) [課題(予習・復習)]本時学修内容の復習。配布楽譜の予習・復習。正確な譜読み。(2~4h)						
6	ソロと吹奏楽演習 正確な音とリズム、アーティキュレーション 全調スケール(短調) [課題(復習)]事前に自分の音程の癖を把握しておく。苦手な調のスケール及び単音でのピッチ合わせの練習。配布楽譜の予習・復習。正確な譜読み。(2~4h)						
7	ソロと吹奏楽演習 正確な音とリズム、アーティキュレーション 全調スケール(短調) [課題(復習)]苦手な調のスケール及び和音の中での音程を取る練習をする。配布楽譜の予習・復習。正確な譜読み。(2~4h)						
8	ソロと吹奏楽演習 正確な音とリズム、アーティキュレーション 小テスト(全調スケール:短調) [課題(復習)]小テストで間違えた調の復習、定着。配布楽譜の予習・復習。正確な譜読み。(2~4h)						
9	ソロと吹奏楽演習 正確な音とリズム、アーティキュレーション [課題(準備・復習)]レッスンで指摘された箇所の改善と定着、発展。(2~4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
10	ソロと吹奏楽演習 フレージング、バランス、個性を活かした表現 [課題(復習)]レッスンで指摘された箇所の改善と定着、発展。(2~4h)
11	ソロと吹奏楽演習 フレージング、バランス、個性を活かした表現 [課題(復習・予習)]レッスンで指摘された箇所の改善と定着、発展。(2~4h)
12	ソロと吹奏楽演習 フレージング、バランス、個性を活かした表現 [課題(復習)]レッスンで指摘された箇所の改善と定着、発展。(2~4h)
13	ソロと吹奏楽演習 フレージング、バランス、個性を活かした表現 [課題(復習)]レッスンで指摘された箇所の改善と定着、発展。(2~4h)
14	ソロと吹奏楽演習試験 [課題(復習)]演習試験の振り返り。指摘された箇所の改善と定着、発展。(2~4h)
15	ソロと吹奏楽演習試験 [課題(復習)]演習試験の振り返り。指摘された箇所の改善と定着、発展。(2~4h)
時間外での学修	個人の基礎練習を日頃から行い身体にしみ込ませましょう。ソロについて、個人の演奏能力向上とともに、バンドメンバーとのコミュニケーションを図る必要があります。気を抜かず取り組んでください。【この科目で求める望ましい授業時間外での総学修時間：30~60時間】
受講学生へのメッセージ	履修学生は授業内容に沿った個人練習(予習・復習)と学修内容の復習を必要不可欠とします。授業の性格上、欠席や遅刻が他の受講生の音楽作りや授業の進行に多大な迷惑をかけることを承知の上で自覚と責任の心を持って授業に取り組みましょう。上級生としての自覚と責任ある言動を期待します。オフィスアワーは、講義終了後、各教室で行います。その他、B204研究室にも気軽に相談に来てください。

【3S8S217】スコアリーディング		音楽総合学科		2年前期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	小林 聡					
資格・制限等	特になし					
資格等	音療選択（音楽）					
実務家教員	大学非常勤講師・20年、演奏家・36年、作編曲家・23年					
授業方法	様々な編成のスコアを演奏可能なピアノ譜に書き換えることによって移調楽器などの扱いに慣れていきます。また、作成したピアノ譜から和声の分析を行うことによりスコアから和声を読む訓練を行います。					
到達目標	知識・理解	オーケストラ、吹奏楽で使用される楽器の音の高さ、記譜法を理解する。				
	思考・判断・表現	スコアを演奏可能なピアノ譜に書き換える上での取捨選択を的確に行う。				
	技能	スコアから和声を読み取る力をつける。				
	関心・意欲・態度	ある程度のスコアリーディング力を獲得することは、音楽に対する理解を深め、興味をより一層増大させると考えられる。				
	備考	・ ・ ・ の記号は、音楽総合学科のDP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	スコアリーディングでは楽譜を変換し書き直すことでスコアを読む力を養います。スコアリーディングの重要な要素である各楽器の特徴、移調、音部記号については吹奏楽概論、音楽理論でも扱っていますのでこちらでは割愛します。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	30	20	30	-	80
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計(点)	30	20	30	20	100
評価の特記事項	理解の達成度と問題解決への意欲を重視します。					
ICT活用	スコアリーディングへの質疑応答。					
アクティブ・ラーニングの活用	スコアリーディングへの質疑応答。					
課題に対するフィードバック	各楽器の特徴、移調についての疑問に答え、リーディングの道筋となるピアノ譜への変換に適切なアドバイスをいたします。					
テキスト						
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション。スコアリーディングとは。 [課題（復習）]学んだことの復習（4h）					
2	弦楽四重奏のスコアを読んでみよう。各楽器の音の高さと音部記号の確認。 [課題（復習）]学んだことの復習（4h）					
3	弦楽四重奏のスコアをピアノ譜に書き換えてみよう。作成した楽譜から和声进行分析します。 [課題（予習、復習）]前回の曲をピアノ譜に書き換えます。（4h）					
4	木管五重奏のスコアを読んでみよう。各楽器の音の高さと移調の確認。 [課題（復習）]学んだことの復習（4h）					
5	木管五重奏のスコアをピアノ譜に書き換えてみよう。作成した楽譜から和声进行分析します。 [課題（予習、復習）]前回の曲をピアノ譜に書き換えます。（4h）					
6	サクソ四重奏のスコアを読んでみよう。各楽器の音の高さと移調の確認。 [課題（復習）]学んだことの復習（4h）					
7	サクソ四重奏のスコアをピアノ譜に書き換えてみよう。作成した楽譜から和声进行分析します。 [課題（予習、復習）]前回の曲をピアノ譜に書き換えます。（4h）					
8	金管五重奏のスコアを読んでみよう。各楽器の音の高さと移調の確認。 [課題（復習）]学んだことの復習（4h）					
9	金管楽器のスコアをピアノ譜に書き換えてみよう。作成した楽譜から和声进行分析します。 [課題（予習、復習）]前回の曲をピアノ譜に書き換えます。（4h）					
10	吹奏楽のスコアを読んでみよう。 [課題（復習）]学んだことの復習（4h）					
11	吹奏楽のスコアをピアノ譜に書き換えてみよう。作成した楽譜から和声进行分析します。 [課題（予習、復習）]前回の曲をピアノ譜に書き換えます。（4h）					
12	オーケストラのスコアを読んでみよう。第1回 [課題（復習）]学んだことの復習（4h）					
13	オーケストラのスコアをピアノ譜に書き換えてみよう。第1回 作成した楽譜から和声进行分析します。 [課題（予習、復習）]前回の曲をピアノ譜に書き換えます。（4h）					
14	オーケストラのスコアを読んでみよう。第2回 [課題（復習）]学んだことの復習（4h）					
15	オーケストラのスコアをピアノ譜に書き換えてみよう。第2回 作成した楽譜から和声进行分析します。 [課題（予習、復習）]前回の曲をピアノ譜に書き換えます。（4h）					
時間外での学修	授業時間中にできなかったことは持ち帰って学修してください。2回の講義で1セットになっています。1回目で学んだ内容を踏まえて楽譜を作成してきてください。【この科目で求める望ましい授業外で総学修時間：60時間】					
受講学生へのメッセージ	スコアリーディングでは実施を中心に行なっていきますが、その都度楽器の特徴、記譜法などを確認します。繰り返し行うことでそれぞれの特徴をしっかりと覚えてください。 オフィスアワーは授業前後の休み時間に教室で実施します。					

【3W5S211】吹奏楽研究		音楽総合学科		2年前期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	鈴木 孝育					
資格・制限等	特になし					
資格等						
実務家教員	吹奏楽指導者(含 高等学校教員)37年					
授業方法	吹奏楽に関する総合的な知識を講義やグループ・ワークによって学びます。木管楽器、金管楽器の特性や練習方法について調査研究したうえで資料を作成し、個別発表・討議を行います。また、吹奏楽の歴史や、楽器編成の変遷、管楽器の発展に影響を与えた作曲家について視聴覚教材などを使って学びます。					
到達目標	知識・理解	吹奏楽の編成や成り立ちや、管楽器の発展に影響を与えた作曲家に関する基本的な知識が理解できる。				
	思考・判断・表現	吹奏楽の楽器編成や各楽器の歴史や特性を理解した上で、自己の演奏表現に活かすことができる。自分の考え方、音楽性を相手に伝えることができる。				
	技能	木管楽器、金管楽器の特性や練習方法、成り立ちや歴史を知ることによって、より豊かな演奏表現ができる。				
	関心・意欲・態度	学修内容において自発的な問題提起、実践、改善、解決ができ、地域の音楽文化をリードする人材となるよう努力することができる。				
	備考	・ ・ の記号は、音楽総合学科のDP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	木管楽器、金管楽器の特性、吹奏楽の歴史や楽器編成の変遷について学び、卒業後、ライフワークとして楽器演奏が継続できるように準備します。まず、木管楽器、金管楽器の特性について学修した後、それぞれの楽器の演奏法について調査研究し、意見交換を行います。次に、吹奏楽の歴史については、管楽器の発展に影響を与えた作曲家を中心に音楽史全般と絡めながら学んでいきます。					
観点別評価	評価の観点					
	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	筆記試験	30	20	10	-	60
	発表・課題提出・受講態度	10	10	10	10	40
	合計(点)	40	30	20	10	100
評価の特記事項	発表・課題提出・受講態度においては、発表状況や取り組む姿勢なども考慮し、総合的に評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験(筆記試験)の受験資格はありません。					
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援(Googleフォーム、学生ポータル)					
アクティブラーニングの活用	グループ・ワーク、探求学習など					
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、毎回授業プリントの提出によって、質問や意見に答えます。					
テキスト	なし					
参考書・教材	その都度指示または配布					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス、授業の進め方、授業内容、一年間の流れ。 [課題(復習・準備)] 授業内容を復習する。自分と吹奏楽の関わりについて作文を書き、発表の準備をする。(1~2h)					
2	課題「吹奏楽と私」について発表及び討議。考察と指導。 「木管楽器、金管楽器の特性、練習方法」についての調査・研究対象の割り振り。 [課題(復習)] 他者の吹奏楽との関わりから、自分を見つめ直す。各担当楽器の特性や練習方法を調査・研究し、プレゼンテーションするための資料を作成し、発表の準備をする。(1~2h)					
3	木管楽器と金管楽器、打楽器の響き [課題(復習)] 各楽器の音色的特徴と運動性や表現力の違いについて理解する。各担当楽器の特性や練習方法を調査・研究し、プレゼンテーションするための資料を作成し、発表の準備をする。(1~2h)					
4	管楽器の特性、練習方法プレゼンテーション 発表及び意見交換 [課題(復習)] 各発表を振り返り、自分が担当した以外の楽器についての特性や練習方法をまとめ、自分の専攻楽器の演奏に活かす。(1~2h)					
5	管楽器の特性、練習方法プレゼンテーション 発表及び意見交換 [課題(復習)] 各発表を振り返り、自分が担当した以外の楽器についての特性や練習方法をまとめ、自分の専攻楽器の演奏に活かす。(1~2h)					
6	管楽器まとめ：各楽器の響き、音域、役割。特殊奏法や弱音器。 [課題(復習)] 各楽器特有の音色や技巧の違いについて理解する。代表的な特殊奏法や弱音器の種類について理解する。(1~2h)					
7	クラシックパーカッション、マーチングパーカッション、ポップスパーカッション [課題(復習)] 各打楽器の一般的な知識や音色の違いについて理解する。(1~2h)					
8	吹奏楽の歴史、楽器編成の変遷、種類と形態 [課題(復習)] 吹奏楽の歴史、楽器編成の変遷、基礎理論や、種類・形態について復習し、大編成、中編成、小編成について個々に理想の編成を組んでみる(課題)。(1~2h)					
9	課題(理想の編成)の発表・考察。 吹奏楽の歴史と管楽器の発展に影響を与えた作曲家たち 中世・ルネッサンス音楽、バロック音楽 [課題(復習・準備)] 各作曲家が、吹奏楽の発展や、管楽器の使用についてどのような貢献・寄与があったのか復習し考察する。(1~2h)					
10	吹奏楽の歴史と管楽器の発展に影響を与えた作曲家たち 古典派音楽 [課題(復習・準備)] 各作曲家が、吹奏楽の発展や、管楽器の使用についてどのような貢献・寄与があったのか復習し考察する。(1~2h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
11	吹奏楽の歴史と管楽器の発展に影響を与えた作曲家たち ロマン派音楽 [課題(復習・準備)]各作曲家が、吹奏楽の発展や、管楽器の使用についてどのような貢献・寄与があったのか復習し考察する。(1~2h)
12	吹奏楽の歴史と管楽器の発展に影響を与えた作曲家たち 近代音楽、印象派音楽、国民学派音楽、 [課題(復習・準備)]各作曲家が、吹奏楽の発展や、管楽器の使用についてどのような貢献・寄与があったのか復習し考察する。(1~2h)
13	吹奏楽の歴史と管楽器の発展に影響を与えた作曲家たち 原始主義音楽、表現主義音楽、新古典主義音楽 [課題(復習・準備)]各作曲家が、吹奏楽の発展や、管楽器の使用についてどのような貢献・寄与があったのか復習し考察する。(1~2h)
14	吹奏楽の歴史と管楽器の発展に影響を与えた作曲家たち 民族的新古典主義、近代その他、現代の音楽 [課題(復習・準備)]各作曲家が、吹奏楽の発展や、管楽器の使用についてどのような貢献・寄与があったのか復習し考察する。(1~2h)
15	前期の総まとめ、夏休みに向けての課題指示。 [課題(復習)]前期を振り返り、吹奏楽の歴史と楽器編成の変遷、管楽器の歴史と影響を与えた作曲家たちについてまとめる。夏休み課題：「吹奏楽における基礎練習(個人・パート・合奏)」についての研究(1~2h)
時間外での学修	吹奏楽の歴史や管楽器の発展に影響を与えた作曲家との関係や、楽器編成の変遷等を学び、吹奏楽に関する総合的な知識を身につけましょう。[この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：23時間]
受講学生へのメッセージ	日頃から、吹奏楽だけでなく、音楽全般について注意を向けることによって、吹奏楽に対する深い理解と、愛着を養い、それが豊かな演奏表現に大きく役立ちます。ジャンルにとらわれることなく、貪欲に学修していきましょう。オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。

【3W5A212】吹奏楽研究		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	鈴木 孝育						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	吹奏楽指導者(含 高等学校教員)37年						
授業方法	吹奏楽に関する総合的な知識を講義やグループ・ワークによって学びます。基礎練習法、呼吸法、楽曲分析方法、指揮法などについて、視聴覚教材を使ったり、探求学習を行ったりして学びます。						
到達目標	知識・理解	吹奏楽の現場において、吹奏楽譜を演奏するための総合的な知識やテクニックを身につけ、理解することができる。					
	思考・判断・表現	様々なジャンルの楽曲の特性や様式を理解し、その楽曲にふさわしい演奏法を選択できる。自分の考え方、音楽性を相手に伝えることができる。					
	技能	合奏、分奏、パート、個人における練習方法を学び、小・中・高という学校教育や、職場や一般の社会教育の場でそれぞれの環境やレベルに合わせて指導や演奏ができる。					
	関心・意欲・態度	学修内容に自発的な問題提起、実践、改善、解決ができ、地域の音楽文化をリードする人材となるよう努力することができる。					
	備考	・ ・ の記号は、音楽総合学科のDP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	後期は、最初に呼吸法や基礎練習について学びます。次の合奏の基礎では、音符やフレーズの捉え方、スコアの読み方や、メモの取り方などを身につけます。最後の合奏の実践では、それらの知識や技術を元に、マーチから、オリジナル曲、ジャズ&ポップスの演奏法や指揮法を学修します。卒業後、様々な場面において、生涯教育としての吹奏楽に携われるように準備します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	20	10	-	60
	発表・課題提出・受講態度		10	10	10	10	40
	合計(点)		40	30	20	10	100
評価の特記事項	課題提出・受講態度においては、課題や授業の取り組む姿勢なども考慮し、総合的に評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験(筆記試験)の受験資格はありません。						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援(Googleフォーム、学生ポータル)						
アクティブラーニングの活用	グループ・ワーク、探求学習など						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、毎回授業プリントの提出によって、質問や意見に答えます。						
テキスト	なし						
参考書・教材	その都度指示または配布						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	後期ガイダンス 吹奏楽における基礎練習 個人の基礎練習 [課題(準備・復習)] シラバスの熟読。学修した奏法チェックを確認。ロングトーンの実践。タンギングの確認。メトロノーム・チューナーの使い方の確認。フィンガリングの有効な練習法の実践。(1~2h)						
2	吹奏楽における基礎練習 呼吸法 [課題(復習)] プレスロードを確認し、プレストレーニングの復習。タンギングと縦の響きを復習し、NaNoNuNoNaを歌って口腔内のフォームを確認する。(1~2h)						
3	吹奏楽における基礎練習 合奏基礎講座。チューニング方法、実践プレステクニック。 [課題(復習・発展)] 課題プリントの整理、復習。チューニング方法、プレステクニックの実践と考察。(1~2h)						
4	合奏の基礎 音符の扱い方や音楽の進め方、音符の性格、音楽用語の正しい把握。 [課題(復習・発展)] 課題プリントの整理、復習。音符の扱い方、音符の性格、フレージングのとらえ方について考察、協議する。(1~2h)						
5	合奏の基礎 フレーズとグルーピングについて、フレーズに求められる必然性。 [課題(復習・発展)] 課題プリントの整理、復習。スコアと音源から、フレーズとグルーピングについて考察・協議する。(1~2h)						
6	合奏の基礎 重心になり得る音符の要因、グループを見分けるための音符群の特徴 [課題(復習・発展)] 課題プリントの整理、復習。重心やグループについて楽曲から指摘する練習をする。(1~2h)						
7	合奏の基礎 スコアリーディング [課題(復習)] 講義内容について、十分に理解できるまで、参考資料を読み込む。(1~2h)						
8	合奏の基礎 スコアのメモの取り方 [課題(復習・発展)] 講義で取り扱ったスコアの整理、復習。課題スコアでの実践練習。発表準備。(1~2h)						
9	合奏の実践 オリジナル「ホルスト 吹奏楽のための組曲」個別研究発表。 [課題(復習)] オリジナル楽曲の演奏法について復習し、その特徴や様式を理解する。課題スコアの提出。(1~2h)						
10	合奏の実践 マーチの演奏法。「世界のマーチ」 [課題(復習)] マーチの演奏法について復習し、各国のマーチのスタイルや演奏法を比較し理解する。(課題プリント配布)。(1~2h)						
11	合奏の実践 ジャズ&ポップスの分析 (ジャズ系のリズム、ラテン系のリズム) [課題(復習)] リズムの種類による使用楽器の違いや、各リズムのパターンについて学修内容を復習する。(1~2h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
12	合奏の実践 ジャズ&ポップスの分析 (ジャズ系のリズム、ラテン系のリズム) [課題(復習)]リズムの種類によるビート感の違いや、魅力ある演奏法について学修内容を復習する。(1~2h)
13	合奏の実践 指揮法(1) 指揮法の基本(基本知識、基本動作) [課題(復習)]指揮の基本技術について、講義内容、参考資料をもとに理解できるまで鏡を見て反復練習をする。(1~2h)
14	合奏の実践 指揮法(2) わかりやすい指揮法 ~基礎と実践~ [課題(復習)]講義内容をもとに、十分に理解できるまで、参考資料を読み込む。(1~2h)
15	一年間の総まとめ。 [課題(復習・発展)]一年間の学修内容の総括。吹奏楽全般についてまとめる。(1~2h)
時間外での学修	楽曲を分析するにあたり、スコアについては、吹奏楽に関する基礎的な知識をもとにした詳細な読み取りが必要です。1年次に学修した「吹奏楽概論」の内容をしっかりと復習しておきましょう。また、ここで学んだ内容を定期演奏会につなげるにより、より学修内容が定着し、知識は深まり、実際の演奏会における達成感を味わうことができます。[この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：23時間]
受講学生へのメッセージ	日頃から、音楽の仕組みや合奏隊やアンサンブルの音のブレンドや各楽器個々の音色や特徴に注意を向けることによって、吹奏楽に対する深い理解と、愛着を養い、それが豊かな演奏表現に大きく役立ちます。オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。

【3W5S215】演奏会研究		音楽総合学科		2年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	鈴木 孝育						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	吹奏楽指導者(含 高等学校教員)37年						
授業方法	実際に鑑賞する公演や、演奏会に関するテーマについて、各自深く調査・研究のうえ質の高い資料を作成し、20分程度のプレゼンテーションを行ないます。また個々に、各発表に対する評価をチェックシートに記入し、発表者へ渡します。各テーマ発表終了ごとにGoogleフォームによる確認テストと振り返り調査を行います。						
到達目標	知識・理解	鑑賞する演奏会における様々な情報や演奏曲目の背景等を調べた上で、演奏会に臨み、その知識を元に深く味わうことができます。また、与えられたテーマについて深く掘り下げ、研究することで、そこから得られた知識を実践的に活用することができます。					
	思考・判断・表現	演奏者の表現について分析することができ、自身の豊かな演奏表現に活かすことができます。また、他者の発表を聞くことにより、自己の知識を増幅させ、自己表現力をさらに高めることができます。					
	技能	音楽の専門家としての情報収集能力を磨き、発表を通じて、関係職種において発揮できるようなコミュニケーション能力を身につける。					
	関心・意欲・態度	自分の理想とする演奏を求め、より質の高い演奏や演奏会を目指し、積極的に努力して学修に取り組む事ができる。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、音楽総合学科のDP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	演奏会に関する様々な知識や教養について学修します。鑑賞演奏会について、演目や出演者などを研究する事で、深い知識を持って鑑賞に臨みます。本番の臨場感、演奏家のエネルギーを感じ取り、自分の演奏技術、表現力に活かします。また、与えられたテーマについて様々な角度から調査・研究することで、音楽に対する自分の世界を広げていきます。お互いの研究成果を発表することによって、より高いプレゼンテーション能力を磨きます。相互に切磋琢磨する中で、傾聴力や、的確にアドバイスできる力を養成します。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	資料提出・発表		20	20	20	20	80
	小テスト		10	10	-	-	20
	合計(点)		30	30	20	20	100
評価の特記事項	資料と、発表・講評は、それぞれ観点別に評価します。発表は、態度・話し方、内容・構成を細かく項目別に評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終の評価を受ける資格はありません。						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援(Googleフォーム、学生ポータル)						
アクティブ・ラーニングの活用	グループ・ディスカッション、探求学習など						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、各発表後に個々にアドバイスをメールにて送付します。また、確認テストには、解答の解説、質疑応答を行うとともに、振り返り調査は、まとめて提示し総括します。						
テキスト	なし						
参考書・教材	その都度配布						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス、この授業で学ぶこと。研究の仕方、授業内容、到達目標等。 [課題(準備)]シラバスの熟読。演奏会についての考察課題。演奏会研究冒頭調査。(1~2h)						
2	演奏会についての考察(第1回授業振り返りと発展) プレゼンテーション資料作成の仕方。発表の仕方。 「世界の音楽祭研究」発表についての解説および、調査・発表対象の選択。 [課題(準備)]「世界の音楽祭研究」発表準備・資料作成。(5~6h)						
3	第27回ウインドアンサンブル定期演奏会について 意義・目的・プログラム等 [課題(復習・準備)]第27回定期演奏会に関する検討事項の復習、考察。「世界の音楽祭研究」発表準備・資料作成。(3~4h)						
4	「世界の音楽祭研究」についてのプレゼンテーション 授業時間外の課題で作成した資料を参考にしながら、自分の意見や考えをまとめて発表する。各発表に対するチェックシートを記入し、本人へ渡す。 [課題(復習・準備)]本日の各発表の良かった点、改善点を振り返り省察する。自分の発表と比較し、取り入れられるところを探る。(1~2h)						
5	「世界の音楽祭研究」についてのプレゼンテーション 授業時間外の課題で作成した資料を参考にしながら、自分の意見や考えをまとめて発表する。各発表に対するチェックシートを記入し、本人へ渡す。 [課題(復習・準備)]本日の各発表の良かった点、改善点を振り返り省察する。自分の発表と比較し、取り入れられるところを探る。(1~2h)						
6	「世界の音楽祭研究」についてのプレゼンテーション 授業時間外の課題で作成した資料を参考にしながら、自分の意見や考えをまとめて発表する。各発表に対するチェックシートを記入し、本人へ渡す。 [課題(復習・準備)]本日の各発表の良かった点、改善点を振り返り省察する。自分の発表と比較し、取り入れられるところを探る。(1~2h)						
7	「世界の音楽祭研究」発表振り返り調査および、「世界の音楽祭研究」における確認テストをGoogleフォームにて実施する。 「鑑賞演奏会分野別研究」発表についての説明および、調査・発表対象の選択。 [課題(復習・準備)]「世界の音楽祭研究」全般についての復習。自分の発表の振り返り・反省。他者発表の振り返りと考察。「鑑賞演奏会分野別研究」発表準備・資料作成。(2~3h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
8	「世界の音楽祭研究」についてのまとめ 確認テスト結果及び振り返り調査の省察。質疑応答、ディスカッション。 [課題(復習・準備)]本日の授業の復習。「鑑賞演奏会分野別研究」発表準備・資料作成。(3~4h)
9	第27回ウインドアンサンブル定期演奏会について 役割分担 [課題(復習・準備)]第27回定期演奏会に関する検討事項の復習、考察。「鑑賞演奏会分野別研究」発表準備・資料作成。(3~4h)
10	「鑑賞演奏会分野別研究」についてのプレゼンテーション 授業時間外の課題で作成した資料を参考にしながら、自分の意見や考えをまとめて発表する。各発表に対するチェックシートを記入し、本人へ渡す。 [課題(復習・準備)]本日の各発表の良かった点、改善点を振り返り省察する。自分の発表と比較し、取り入れられるところを探る。(1~2h)
11	「鑑賞演奏会分野別研究」についてのプレゼンテーション 授業時間外の課題で作成した資料を参考にしながら、自分の意見や考えをまとめて発表する。各発表に対するチェックシートを記入し、本人へ渡す。 [課題(復習・準備)]本日の各発表の良かった点、改善点を振り返り省察する。自分の発表と比較し、取り入れられるところを探る。(1~2h)
12	「鑑賞演奏会分野別研究」についてのプレゼンテーション 授業時間外の課題で作成した資料を参考にしながら、自分の意見や考えをまとめて発表する。各発表に対するチェックシートを記入し、本人へ渡す。 [課題(復習・準備)]本日の各発表の良かった点、改善点を振り返り省察する。自分の発表と比較し、取り入れられるところを探る。(1~2h)
13	「鑑賞演奏会分野別研究」発表振り返り調査および、「鑑賞演奏会分野別研究」における確認テストをGoogleフォームにて実施する。 [課題(復習・準備)]「鑑賞演奏会分野別研究」全般についての復習。自分の発表の振り返り・反省。他者発表の振り返りと考察。(2~3h)
14	「鑑賞演奏会分野別研究」についてのまとめ 確認テスト結果及び振り返り調査の省察。質疑応答、ディスカッション。 「鑑賞演奏会」についての説明。 [課題(復習・準備)]本日の授業の復習。鑑賞演奏会に向けて準備する。(3~4h)
15	前期全体のまとめ。後期に向けてのガイダンス。 第27回ウインドアンサンブル定期演奏会について 係別報告 [課題(復習・準備)]前期の研究をまとめ、自分たちの定期演奏会に活かしていく。(2~3h)
時間外での学修	各発表については、内容の充実した資料作成を心がけてください。発表は、定められた時間の中でより中身の濃い発表ができるように準備を進めてください。各確認テスト、調査、課題については期限を厳守すること。[この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：25~40時間]
受講学生へのメッセージ	実際の鑑賞に当たっては服装等、マナーを守り、何事も学ぶ姿勢で鑑賞しましょう。他者の調査内容や発表姿勢を参考にして、自分の知識や表現力を磨いていきましょう。上級生としての自覚と責任ある言動を期待します。 オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。

【3W5A216】演奏会研究		音楽総合学科		2年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	鈴木 孝育						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	吹奏楽指導者(含 高等学校教員)37年						
授業方法	実際に鑑賞する公演について、各自深く調査・研究のうえ質の高い資料を作成し、20分程度のプレゼンテーションを行います。また個々に、各発表に対する評価をチェックシートに記入し、発表者へ渡します。各テーマ発表終了後にGoogleフォームによる確認テストと振り返り調査を行います。						
到達目標	知識・理解	鑑賞する演奏会における様々な情報や演奏曲目の背景等を調べた上で、演奏会に臨み、その知識を元に深く味わうことができる。また、自分の選択した演奏会について詳細に調べ、研究することで、そこから得られた知識を実践的に活用することができる。					
	思考・判断・表現	演奏者の表現について分析することができ、自身の豊かな演奏表現に活かすことができる。また、他者の発表を聞くことにより、自己の知識を増幅させ、自己表現力を磨き、定期演奏会に活かすことができる。					
	技能	音楽の専門家としての情報収集能力を磨き、発表を通じて、関係職種において発揮できるようなコミュニケーション能力を身につける。					
	関心・意欲・態度	自分の理想とする演奏を求め、より質の高い演奏や演奏会を目指し、積極的に努力して学修に取り組む事ができる。					
	備考	・ ・ の記号は、音楽総合学科のDP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	演奏会に関する様々な知識や教養について学修します。鑑賞演奏会について、演目や出演者などを研究する事で、深い知識を持って鑑賞に臨みます。本番の臨場感、演奏家のエネルギーを感じ取り、自分の演奏技術、表現力に活かします。また、自分が選択して鑑賞した演奏会について様々なテーマを設定し研究することで、自分たちの企画する定期演奏会に活かします。研究成果を発表することによって、高いプレゼンテーション能力を磨きます。相互に批評・評価する中で、傾聴力や、的確にアドバイスできる力を養成します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	資料提出・発表		20	20	20	20	80
	小テスト		10	10	-	-	20
	合計(点)		30	30	20	20	100
評価の特記事項	資料と、発表・講評は、それぞれ観点別に評価します。発表は、態度・話し方、内容・構成を細かく項目別に評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終の評価を受ける資格はありません。						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援(Googleフォーム、学生ポータル)						
アクティブラーニングの活用	グループ・ディスカッション、探求学習など						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、各発表後に個々にアドバイスをメールにて送付します。また、確認テストには、解答の解説、質疑応答を行うとともに、振り返り調査は、まとめて提示し総括します。						
テキスト	なし						
参考書・教材	その都度配布						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	授業日程の説明、鑑賞演奏会分野別研究・選択演奏会研究発表についての説明および、調査・発表対象の選択。 [課題(準備・復習)]「鑑賞演奏会分野別研究」発表準備・資料作成。(2~3h)						
2	第27回ウインドアンサンブル定期演奏会について 情宣活動について(チラシ・案内・広報など) [課題(復習・準備)]第27回定期演奏会「情宣活動」に関する検討事項の復習、考察。「鑑賞演奏会分野別研究」発表準備・資料作成。(3~4h)						
3	「鑑賞演奏会分野別研究」についてのプレゼンテーション 授業時間外の課題で作成した資料を参考にしながら、自分の意見や考えをまとめて発表する。各発表に対するチェックシートを記入し、本人へ渡す。 [課題(復習・準備)]本日の各発表の良かった点、改善点を振り返り省察する。自分の発表と比較し、取り入れられるところを探る。(1~2h)						
4	「鑑賞演奏会分野別研究」についてのプレゼンテーション 授業時間外の課題で作成した資料を参考にしながら、自分の意見や考えをまとめて発表する。各発表に対するチェックシートを記入し、本人へ渡す。 [課題(復習・準備)]本日の各発表の良かった点、改善点を振り返り省察する。自分の発表と比較し、取り入れられるところを探る。(1~2h)						
5	「鑑賞演奏会分野別研究」についてのプレゼンテーション 授業時間外の課題で作成した資料を参考にしながら、自分の意見や考えをまとめて発表する。各発表に対するチェックシートを記入し、本人へ渡す。 [課題(復習・準備)]本日の各発表の良かった点、改善点を振り返り省察する。自分の発表と比較し、取り入れられるところを探る。(1~2h)						
6	「鑑賞演奏会分野別研究」発表振り返り調査および、「鑑賞演奏会分野別研究」における確認テストをGoogleフォームにて実施する。 「選択演奏会研究」発表についての説明および、調査・発表対象の選択。 [課題(復習・準備)]「鑑賞演奏会分野別研究」全般についての復習。自分の発表の振り返り・反省。他者発表の振り返りと考察。「選択演奏会研究」発表準備・資料作成。(2~3h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
7	「鑑賞演奏会分野別研究」についてのまとめ 確認テスト結果及び振り返り調査の省察。質疑応答、ディスカッション。 「鑑賞演奏会」についての説明。 [課題(復習・準備)]本日の授業の復習。鑑賞演奏会に向けて準備する。「選択演奏会研究」発表準備・資料作成。(3~4h)
8	第27回ウインドアンサンブル定期演奏会について プログラム、進行、舞台・演出について [課題(復習・準備)]第27回定期演奏会に関する検討事項の復習と準備。「選択演奏会研究」発表準備・資料作成。(3~4h)
9	「選択演奏会研究」についてのプレゼンテーション 授業時間外の課題で作成した資料を参考にしながら、自分の意見や考えをまとめて発表する。各発表に対するチェックシートを記入し、本人へ渡す。 [課題(復習・準備)]本日の各発表の良かった点、改善点を振り返り省察する。自分の発表と比較し、取り入れられるところを探る。(1~2h)
10	「選択演奏会研究」についてのプレゼンテーション 授業時間外の課題で作成した資料を参考にしながら、自分の意見や考えをまとめて発表する。各発表に対するチェックシートを記入し、本人へ渡す。 [課題(復習・準備)]本日の各発表の良かった点、改善点を振り返り省察する。自分の発表と比較し、取り入れられるところを探る。(1~2h)
11	「選択演奏会研究」についてのプレゼンテーション 授業時間外の課題で作成した資料を参考にしながら、自分の意見や考えをまとめて発表する。各発表に対するチェックシートを記入し、本人へ渡す。 [課題(復習・準備)]本日の各発表の良かった点、改善点を振り返り省察する。自分の発表と比較し、取り入れられるところを探る。(1~2h)
12	「選択演奏会研究」発表振り返り調査および、「選択演奏会研究」における確認テストをGoogleフォームにて実施する。 [課題(復習・準備)]「選択演奏会研究」全般についての復習。自分の発表の振り返り・反省。他者発表の振り返りと考察。(2~3h)
13	「選択演奏会研究」についてのまとめ 確認テスト結果及び振り返り調査の省察。質疑応答、ディスカッション。 [課題(復習・準備)]本日の授業の復習。(3~4h)
14	第27回ウインドアンサンブル定期演奏会について 情宣活動、進行、司会、舞台・演出について [課題(復習・準備)]第27回定期演奏会に関する検討事項の復習と準備。(3~4h)
15	後期全体のまとめ。 第27回ウインドアンサンブル定期演奏会について [課題(復習・準備)]後期全体の反省。第27回定期演奏会に関する検討事項の復習と準備。(2~3h)
時間外での学修	各発表については、内容の充実した資料作成を心がけてください。発表は、定められた時間の中でより中身の濃い発表ができるように準備を進めてください。各確認テスト、調査、課題については期限を厳守すること。[この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：25~40時間]
受講学生へのメッセージ	実際の鑑賞に当たっては服装等、マナーを守り、何事も学ぶ姿勢で鑑賞しましょう。他者の調査内容や発表姿勢を参考に、自分の知識や表現力を磨いていきましょう。上級生としての自覚と責任ある言動を期待します。 オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。

【3R6S307】リペア応用(木管)A		音楽総合学科		2年前期		
		2単位	必修	実技	90時間	
教員	鬼頭 加奈・松岡 龍					
資格・制限等	特になし					
資格等						
実務家教員	鬼頭：楽器店修理販売職・10年 松岡：楽器店修理販売職・7年					
授業方法	実技が主になりますが、個々の改善点をクリア化してスキルアップを行って行きます。場合によっては、グループ化して手法等についてのディスカッションの場を設ける事もあります。主要メーカーの特別講義を数回実施しますので、幅広い商品知識、メーカー独自のリペア技術や使用工具について学修します。					
到達目標	知識・理解	各木管楽器の仕組みや構造を理解し、的確なリペアが出来る。				
	思考・判断・表現	各木管楽器の状態把握後、リペアの必要箇所を見つけ解決方法を判断できる。				
	技能	各木管楽器の状態把握後、リペア箇所を自らの技術で問題解決が出来る。				
	関心・意欲・態度	楽器に関する興味や関心を持ち、自らが率先して学修することが出来る。○				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつき強さを示しています。				
授業内容	1年次に学修した基礎知識を発展させ、より高度な技能を身に付ける事で、効率の良い作業方法を考える。また、完成度についても精度アップを図ります。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	10	-	-	-	10
	実技試験	-	20	50	-	70
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計(点)	10	20	50	20	100
評価の特記事項	全授業の1/3以上欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。					
ICT活用	学生ポータル等、ICTを活用した自主学修支援を行います。					
アクティブ・ラーニングの活用	なし。					
課題に対するフィードバック	授業毎に学生からの挙手を仰ぎ、完成度についてや分からないで悩んでいる作業等についてフィードバックをします。					
テキスト	『「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」(上・下)ヤマハ株式会社』 1年次に購入したものを使用します。					
参考書・教材	必要資料は、授業毎に配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	クラリネット応用実習 タンポ交換、タンポ合せ 【課題・(復習・他)】1年次に学んだ技術を復習しながら、学んだ内容の復習(2h)					
2	クラリネット応用実習 全体バランス調整、軟物交換 【課題・(復習・他)】1年次に学んだ技術を復習しながら、学んだ内容の復習(2h)					
3	クラリネット応用実習 ジョイントコルク交換、嵌合調整 【課題・(復習・他)】1年次に学んだ技術を復習しながら、学んだ内容の復習(2h)					
4	クラリネット応用実習 セリ、ガタ修正復習 【課題・(復習・他)】1年次に学んだ技術を復習しながら、学んだ内容の復習(2h)					
5	フルート応用実習 タンポ交換、タンポ合わせ 【課題・(復習・他)】1年次に学んだ技術を復習しながら、学んだ内容の復習(2h)					
6	フルート応用実習 全体バランス調整、軟物交換 【課題・(復習・他)】1年次に学んだ技術を復習しながら、学んだ内容の復習(2h)					
7	フルート応用実習 全体調整(キイタッチ感、アソビの取り方、開き等) 【課題・(復習・他)】1年次に学んだ技術を復習しながら、学んだ内容の復習(2h)					
8	サクソフォン応用実習 タンポ交換、タンポ合わせ 【課題・(復習・他)】1年次に学んだ技術を復習しながら、学んだ内容の復習(2h)					
9	サクソフォン応用実習 ベル1番管=2番管脱着後組み立て調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)					
10	主要メーカー特別講義 商品知識や、メーカー独自のリペア技術、使用工具について 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)					
11	クラリネット応用実習 タンポ交換、連絡バランス、ジョイントコルク交換 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)					
12	フルート応用実習 タンポ交換、連絡バランス、ヘッドコルク交換 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
13	サクソフォン応用実習 タンポ交換、連絡バランス、ネックコルク交換 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
14	木管楽器総合実習 フルートノックピン抜き 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
15	木管楽器総合実習 フルートジョイント部嵌合調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
時間外での学修	技能の反復練習は重要です。繰り返し行うことで、新しい発見もありますので、意欲を持って臨んでください。【この科目で求められる授業外の総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	自分の将来を見据えて、いまやるべきことを十分に理解し、更なるレベルアップを目指してください。オフィスアワーは授業後F101教室で行います。それ以外の空時間でも構いませんので、B304(B号館3F)へ気軽に来てください。

【3R6A308】リペア応用(木管)B		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	必修	実技	90時間		
教員	鬼頭 加奈・松岡 龍						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	鬼頭：楽器店修理販売職・10年 松岡楽器店修理販売職・7年						
授業方法	実技中心で進めますが、日常使われている木管楽器のリペアや、卒後を見据えて、店頭でのロールプレイングも取り入れていきます。また、主要メーカーによる特別講義も行います。						
到達目標	知識・理解	各木管楽器の仕組みや構造を理解し、的確なリペアが出来る。					
	思考・判断・表現	各木管楽器の状態把握後、リペアの必要箇所を見つけ解決方法を判断できる。					
	技能	各木管楽器の状態把握後、リペア箇所を自らの技術で問題解決が出来る。					
	関心・意欲・態度	楽器に関する興味や関心を持ち、自らが率先して学修することが出来る。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	前期で学修したリペア技能を発展させ、より高度なリペア技能を身に付け、作業時間短縮に向けて効率の良い作業方法を考える。主要メーカーによる、特別講義では、商品知識や、メーカー独自のリペア技術、使用工具等を学修します。また、卒後を考えてロールプレイングも行っていきます。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		10	-	-	-	10
	実技試験		-	20	50	-	70
	受講態度		-	-	-	20	20
		合計(点)	10	20	50	20	100
評価の特記事項	全授業1/3以上欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学修支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	なし。						
課題に対するフィードバック	授業毎に、分からない事や完成品のチェック希望には、挙手を仰ぎ、状態等についてフィードバックを行います。						
テキスト	『「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」(上・下)ヤマハ株式会社』 1年次に購入したものを使用します。						
参考書・教材	必要資料等は、授業毎に配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	木管楽器応用実習 レジスターチューブ、拇指音孔分解組み立て 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
2	木管楽器応用実習 キイカタ修正(座ぐり、カウンターボア、キイポストの修正等) 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
3	主要メーカー特別講義 商品知識、メーカー独自のリペア技術、使用工具について 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
4	木管楽器応用実習 キイカタ修正(座ぐり、カウンターボア、キイポストの修正等) 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
5	木管楽器応用実習 板ハネ、針ハネの曲げ形状とタッチ感について 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
6	木管楽器応用実習 板ハネ、針ハネの曲げ形状とタッチ感について 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
7	木管楽器応用実習 音孔修正(特にサクソフォンでの音孔変形修正と、上面修正) 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
8	木管楽器応用実習 音孔修正(特にサクソフォンでの音孔変形修正と、上面修正) 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
9	木管楽器応用総合 使用楽器(クラリネット)全タンボ交換、ジョイントコルク交換 全体調整、拭き上げ 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
10	主要メーカー特別講義 商品知識、メーカー独自のリペア手法について 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
11	木管楽器応用総合 使用楽器(フルート)全タンボ交換、全体調整、拭き上げ 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
12	木管楽器応用総合 使用楽器(アルトサクソフォン)部分タンボ交換、ネックコルク交換、全体調整、拭き上げ 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
13	木管楽器応用総合 備品点検調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	木管楽器応用総合 備品点検調整 【課題・（復習・他）】学んだ内容の復習（2h）
15	木管楽器応用総合 老朽化した木管楽器の調整とは パーツ管理について 【課題・（復習・他）】学んだ内容の復習（2h）
時間外での学修	技能の反復練習は重要です。繰り返し行うことで、新しい発見もありますので、意欲を持って臨んでください。【この科目で求められる授業外の総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	自分の将来を見据えて、いまやるべきことを十分に理解し、更なるレベルアップを目指してください。オフィスアワーは授業後F101教室で行います。それ以外の空時間でも構いませんので、B304（B号館3F）へ気軽に来てください。

【3R6S309】リペア応用(木管)A		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	必修	実技	90時間		
教員	鬼頭 加奈・渡辺 博夫						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	鬼頭：楽器店修理販売職・10年 渡辺：メーカー修理職・34年						
授業方法	実技が主になりますが、個々の苦手意識を克服を行い、自らが対処できる技術を身に付けます。また、主要メーカーによる特別講義で、商品知識や、メーカー独自のリペア手法や、使用工具等についても学修します。						
到達目標	知識・理解	各木管楽器の仕組みや構造を理解し、的確なリペアが出来る。					
	思考・判断・表現	各木管楽器の状態把握後、リペアの必要箇所を見つけ解決方法を判断できる。					
	技能	各木管楽器の状態把握後、リペア箇所を自らの技術で問題解決が出来る。					
	関心・意欲・態度	楽器に関する興味や関心を持ち、自らが率先して学修することが出来る。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	1年次に学修した基礎技術を発展させ、より高度な技能を身に付け、効率の良い作業方法を確立する。また、完成品の精度アップを図り、卒業後の実践的な技能習得を目指します。木管楽器全般の商品知識向上も図ります。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		10	-	-	-	10
	実技試験		-	20	50	-	70
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		10	20	50	20	100
評価の特記事項	全授業の1/3以上欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。						
ICT活用	学生ポータル等、ICTを活用した自主学修支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	なし。						
課題に対するフィードバック	授業毎に学生からの挙手を仰ぎ、完成度についてや分からないで悩んでいる作業等についてフィードバックをします。						
テキスト	『「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」(上・下)ヤマハ株式会社』 1年次に購入したものを使用します。						
参考書・教材	必要資料等は、授業毎に配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	木管楽器(クラリネット)：タンポ交換時のラック量、パーナー温度管理他 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
2	木管楽器(クラリネット)：タンポ交換時のラック量、パーナー温度管理他 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
3	木管楽器(クラリネット)：カップ皿ズレ修正法 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
4	木管楽器(フルート)：タンポ合わせについて 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
5	木管楽器(フルート)：タンポ合わせについて、連絡バランス、軟物交換 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
6	木管楽器(フルート)：タンポ合わせについて、連絡バランス、軟物交換 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
7	木管楽器(サクソフォン)：タンポ合わせについて 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
8	木管楽器(サクソフォン)：タンポ合わせ、連絡バランス、軟物交換 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
9	木管楽器(サクソフォン)：ベル1番管=2番管脱着、組み立て 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
10	主要メーカーによる特別講義 商品研修、メーカー独自のリペア手法や、使用工具紹介等 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
11	木管楽器応用実習(クラリネット) パネ圧、キイレアウト調整他 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
12	木管楽器応用実習(フルート) パネ圧、キイレアウト調整他 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
13	木管楽器応用実習(サクソフォン) パネ圧、キイレアウト調整他 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
14	木管楽器応用実習総合(クラリネット、サクソフォン) スワフ詰まり修正他 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
15	木管楽器応用実習総合(フルート) ジョイント嵌合調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						

時間外での学修	技能の反復練習は重要です。繰り返し行うことで、新しい発見もありますので、意欲を持って臨んでください。【この科目で求められる授業外の総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	自分の将来を見据えて、いまやるべきことを十分に理解し、更なるレベルアップを目指してください。オフィスアワーは授業後F101教室で行います。それ以外の空時間でも構いませんので、B304（B号館3F）へ気軽に来てください。

【3R6A310】リペア応用(木管)B		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	必修	実技	90時間		
教員	鬼頭 加奈・渡辺 博夫						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	鬼頭：楽器店修理販売職・10年 渡辺：メーカー修理職・34年						
授業方法	実技中心で進めますが、日常使われている木管楽器のリペアや、卒後を見据えて、店頭でのロールプレイングも取り入れていきます。また、主要メーカーによる特別講義も行います。						
到達目標	知識・理解	各木管楽器の仕組みや構造を理解し、的確なリペアが出来る。					
	思考・判断・表現	各木管楽器の状態把握後、リペアの必要箇所を見つけ解決方法を判断できる。					
	技能	各木管楽器の状態把握後、リペア箇所を自らの技術で問題解決が出来る。					
	関心・意欲・態度	楽器に関する興味や関心を持ち、自らが率先して学修することが出来る。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	前期で学修したりペア技能を発展させ、より高度なリペア技能を身に付け、作業時間短縮に向けて効率の良い作業方法を考える。主要メーカーによる、特別講義では、商品知識や、メーカー独自のリペア技術、使用工具等を学修します。また、卒後を考えてロールプレイングも行っていきます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		10	-	-	-	10
	実技試験		-	20	50	-	70
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		10	20	50	20	100
評価の特記事項	全授業1/3以上欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学修支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	なし。						
課題に対するフィードバック	授業毎に、分からない事や完成品のチェック希望には、挙手を仰ぎ、状態等についてフィードバックを行います。						
テキスト	『「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」(上・下)ヤマハ株式会社』 1年次に購入したものを使用します。						
参考書・教材	必要資料等は、授業毎に配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	木管楽器応用 キィ動き不良(鍵管の曲がり、芯金の曲がり)修正 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
2	木管楽器応用 キィ動き不良(鍵管の曲がり、芯金の曲がり)修正 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
3	木管楽器応用 ノックピンを抜いてのキィ調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
4	木管楽器応用 ノックピンを抜いてのキィ調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
5	木管楽器応用 サクソフォン指貝取れ対応 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
6	木管楽器応用 管体の凹み修正、嵌合調整(フルート) 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
7	木管楽器応用 管体の凹み修正、嵌合調整(フルート) 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
8	木管楽器応用 レジスターチューブ、拇指音孔の接着方法 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
9	楽器奏法での使用楽器修正 タンポ調整、連絡バランス調整、軟物交換 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
10	主要メーカーによる特別講義 商品研修、メーカー独自のリペア手法や使用工具について 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
11	楽器奏法での使用楽器修正 タンポ調整、連絡バランス調整、軟物交換 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
12	店頭リペア模擬授業 ロールプレイング実施 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
13	店頭リペア模擬授業 ロールプレイング実施 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	木管楽器応用まとめ 後期で学修した内容についてまとめる。必要と思われる工具等製作。パーツ管理について 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
15	木管楽器応用まとめ 後期で学修した内容についてまとめる。必要と思われる工具等製作。パーツ管理について 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
時間外での学修	技能の反復練習は重要です。繰り返し行うことで、新しい発見もありますので、意欲を持って臨んでください。【この科目で求められる授業外の総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	自分の将来を見据えて、いまやるべきことを十分に理解し、更なるレベルアップを目指してください。オフィスアワーは授業後F101教室で行います。それ以外の空時間でも構いませんので、B304(B号館3F)へ気軽に来てください。

【3R6S311】リペア応用(金管)A		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	必修	実技	90時間		
教員	松岡 龍						
資格・制限等	Rコース必修						
資格等							
実務家教員	松岡：楽器店販売修理職・8年						
授業方法	全体での実技を中心とし、講座、DVD、小テストを盛り込みながら、より専門性の高い知識や技能を身に付ける授業を進めます。						
到達目標	知識・理解	各金管楽器の仕組みや構造を理解し、的確なリペア技能対応が出来る。					
	思考・判断・表現	各金管楽器の状態把握後、リペア箇所を見つけ解決方法が判断できる。					
	技能	各金管楽器の状態把握後、リペア箇所を自らの技能で問題解決ができる。					
	関心・意欲・態度	楽器に関する事に興味や関心を持ち、自らが率先して学修が出来る。					
備考	・○・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。						
授業内容	1年次に学修した基礎技術を発展させ、より高度なリペア技能を身に付け、作業時間短縮に向けて、効率の良い作業方法を考え問題解決できる様授業を進めていきます。また、卒業後を見据えたより実践的なリペア技能の習得、金管楽器全般についての知識向上を図る。						
観点別評価	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	筆記試験		10	-	-	-	10
	実技試験		-	20	50	-	70
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		10	20	50	20	100
評価の特記事項	全授業の1/3以上欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学習支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	なし。						
課題に対するフィードバック	授業毎に、分からない事や完成品のチェック希望は挙手をし、そのフィードバックなども双方で行います。						
テキスト	『「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」上・下』 1年次に購入したものを使用します。						
参考書・教材	授業毎に必要な資料は配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	溶接応用実習 1年次に学修した内容の復習 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(3h)						
2	溶接応用実習 1年次に学修した内容の復習 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(3h)						
3	金管楽器(トランペット)応用実習 ピストン調整、抜差し管調整(ウオーターキー位置修正) 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(3h)						
4	金管楽器応用実習 ベル変形(凹み)、ベル胴変形(凹み)修正、スライド調整 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(3h)						
5	金管楽器応用実習 ベル変形(凹み)、ベル胴変形(凹み)修正、スライド調整 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(3h)						
6	金管楽器応用実習 ベル変形(凹み)、ベル胴変形(凹み)修正、スライド調整 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(3h)						
7	金管楽器(ホルン)応用実習 ローター調整(軸ガタ、縦ガタ)、レバー系交換 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(3h)						
8	金管楽器(ホルン)応用実習 ローター調整(軸ガタ、縦ガタ)、レバー系交換 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(3h)						
9	金管楽器(ホルン)応用実習 レバー曲がり、レバー系交換 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(3h)						
10	金管楽器総合実習 溶接、凹み修正、各部調整 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(3h)						
11	金管楽器総合実習 溶接、凹み修正、各部調整 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(3h)						
12	金管楽器総合実習 溶接、凹み修正、各部調整 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(3h)						
13	金管楽器総合実習 溶接、凹み修正、各部調整 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(3h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	金管楽器総合実習 溶接、凹み修正、各部調整 【課題（復習・他）学んだ内容の復習（3h）】
15	金管楽器総合実習 溶接、凹み修正、各部調整 【課題（復習・他）学んだ内容の復習（3h）】
時間外での学修	技術の反復練習が重要です。確実にリペア技能を身に付ける様、空き時間等も活用しながら進めていって下さい。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：45時間】
受講学生へのメッセージ	自分の将来を見据えて、今やるべきことを理解し、更なる技能向上を図ってください。クラス内で討議も必要ですし、コミュニケーション作りの重要性も学修してください。 オフィスアワーは、授業前後の休み時間に教室で実施します。

【3R6A312】リペア応用(金管)B		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	必修	実技	90時間		
教員	松岡 龍						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	松岡：楽器店販売修理職・8年						
授業方法	実技中心となりますが、自分の苦手意識克服を考えて反復練習となります。また、老朽化した楽器をリペアする事は、卒業後に楽器店等での経験値を増加させることとなりますから、積極的にトライして下さい。						
到達目標	知識・理解	各金管楽器の仕組みや構造を理解し、的確なリペア技能が出来る。					
	思考・判断・表現	各金管楽器の状態把握後、リペア箇所を見つけ解決方法を判断できる。					
	技能	各金管楽器の状態把握後、リペア箇所を自らの技術で問題解決が出来る。					
	関心・意欲・態度	楽器に関する関心や興味を持ち、自らが率先して学修することが出来る。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	前期で学修したリペア技能を発展させ、より高度なリペア技能を身に付け、作業時間短縮に向けて効率の良い作業方法を考える。また、お客様に渡せる状態とは？をしっかりと考えて、不快感が起らないようにするにはどうしたら良いかを考えてください。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		10	-	-	-	10
	実技試験		-	20	50	-	70
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		10	20	50	20	100
評価の特記事項	全授業の1/3以上欠席の場合、定期試験の受験資格がありません。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学修支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	なし。						
課題に対するフィードバック	授業毎に、分からない事や、完成品のチェック希望には拳手を促し、状態等についてフィードバックを行います。						
テキスト	『「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」上・下』 1年次に購入したものを使用します。						
参考書・教材	授業毎に必要な資料は配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	金管楽器応用実習 ピストン固着修正 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(3h)						
2	金管楽器応用実習 ピストン固着修正 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(3h)						
3	金管楽器応用実習 ピストン固着修正、抜き差し管変形修正、スライド調整 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(3h~5h)						
4	金管楽器応用実習 ピストン固着修正、抜き差し管変形修正、スライド調整 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(3h~5h)						
5	金管楽器応用実習 ロータリー調整、系テンション調整、レバー曲がり、スライド調整 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(3h~5h)						
6	金管楽器応用実習 ロータリー調整、系テンション調整、レバー曲がり、スライド調整 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(3h~5h)						
7	金管楽器応用実習 溶接、ロータリー調整、系テンション調整、レバー曲がり、スライド調整 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(3h~5h)						
8	金管楽器応用実習 溶接、ローターガタ修正(ブッシュの場合含む)レバー曲がり、スライド調整 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(3h~5h)						
9	金管楽器応用実習 溶接、ローターガタ修正(ブッシュの場合含む)レバー曲がり、スライド調整 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(3h~5h)						
10	金管楽器総合実習 老朽化した楽器のリペア全般 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(3h~5h)						
11	金管楽器総合実習 老朽化した楽器のリペア全般 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(3h~5h)						
12	金管楽器総合実習 老朽化した楽器のリペア全般 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(3h~5h)						
13	金管楽器総合実習 老朽化した楽器のリペア全般 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(3h~5h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	金管楽器総合実習 老朽化した楽器のリペア全般 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（3h～5h）
15	金管楽器総合実習 老朽化した楽器のリペア全般 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（3h～5h）
時間外での学修	苦手意識を無くし、確実性を目指してください。グループディスカッションの場を設けますから、出来ないで悩んでいない様に、積極的に活用してください。 【この科目で求める望ましい総学修時間：45～75時間】
受講学生へのメッセージ	リペア技術を軸としたセールスエンジニアを目指しますが、人間性も重要ですので、日頃からコミュニケーション作りの意識付けを行って下さい。 オフィスアワーは、授業前後の休み時間に教室で実施します。

【3R6S313】リペア応用(金管)A		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	必修	実技	90時間		
教員	鬼頭 加奈・松岡 龍						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	鬼頭：楽器店修理販売職・10年 松岡：楽器店修理販売職・7年						
授業方法	実技が主になりますが、個々の改善点をクリア化してスキルアップを行って行きます。場合によっては、グループ化して手法等についてのディスカッションの場を設ける事もあります。主要メーカーの特別講義を数回実施しますので、幅広い商品知識、メーカー独自のリペア技術や使用工具について学修します。						
到達目標	知識・理解	各金管楽器の仕組みや構造を理解し、的確なリペアが出来る。					
	思考・判断・表現	各金管楽器の状態把握後、リペアの必要箇所を見つけ解決方法を判断できる。					
	技能	各金管楽器の状態把握後、リペア箇所を自らの技術で問題解決が出来る。					
	関心・意欲・態度	楽器に関する興味や関心を持ち、自らが率先して学修することが出来る。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	1年次に学修した基礎知識を発展させ、よって高度なリペア技能を身に付け、作業時間短縮の効率化を考えて、問題解決できるように授業を行っていきます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		10	-	-	-	10
	実技試験		-	20	50	-	70
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		10	20	50	20	100
評価の特記事項	全授業の1/3以上欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学修支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	なし。						
課題に対するフィードバック	授業毎に学生からの挙手を仰ぎ、完成度についてや分からないで悩んでいる作業等についてフィードバックをします。						
テキスト	『「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」(上・下)ヤマハ株式会社』 1年次に購入したものを使用します。						
参考書・教材	資料等は、授業毎に配布します。						

内容	
実施回	授業内容・目標
1	金管楽器応用実習 溶接、ピストン調整、凹み修正、スライド調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
2	金管楽器応用実習 溶接、ピストン調整、凹み修正、スライド調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
3	金管楽器応用実習 溶接、ピストン調整、凹み修正、スライド調整、抜き差し管調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
4	金管楽器応用実習 溶接、ピストン調整、凹み修正、スライド調整、抜き差し管調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
5	金管楽器応用実習 溶接、ピストン調整、凹み修正、スライド調整、抜き差し管調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
6	金管楽器応用実習(ホルン) ローター調整、縦ガタ、横ガタ修正、レバーレイアウト調整、紐テンションバランス 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
7	金管楽器応用実習(ホルン) ローター調整、縦ガタ、横ガタ修正、レバーレイアウト調整、紐テンションバランス 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
8	金管楽器応用実習(ホルン) ローター調整、縦ガタ、横ガタ修正、レバーレイアウト調整、紐テンションバランス 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
9	金管楽器応用 工具製作他 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
10	金管楽器応用 工具製作、凹み修正 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
11	金管楽器応用 工具製作、凹み修正 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
12	金管楽器応用 ピストン調整、ローター調整、スライド調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
13	金管楽器応用実習総合 苦手意識克服のために、楽器を選択し、作業方法や仕上がり度について確認する。 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)

内容	
実施回	授業内容・目標
14	金管楽器応用実習総合 苦手意識克服のために、楽器を選択し、作業方法や仕上がり度について確認する。 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
15	金管楽器応用実習総合 苦手意識克服のために、楽器を選択し、作業方法や仕上がり度について確認する。 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
時間外での学修	技能の反復練習は重要です。繰り返し行うことで、新しい発見もありますので、意欲を持って臨んでください。【この科目で求められる授業外の総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	自分の将来を見据えて、いまやるべきことを十分に理解し、更なるレベルアップを目指してください。オフィスアワーは授業後F101教室で行います。それ以外の空時間でも構いませんので、B304(B号館3F)へ気軽に来てください。

【3R6A314】リペア応用(金管)B		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	必修	実技	90時間		
教員	鬼頭 加奈・松岡 龍						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	鬼頭：楽器店修理販売職・10年 松岡：楽器店修理販売職・7年						
授業方法	実技中心で進めますが、日常使われている金管楽器のリペアや、卒後を見据えて、店頭でのロールプレイングも取り入れていきます。また、主要メーカーによる特別講義も行います。						
到達目標	知識・理解	各金管楽器の仕組みや構造を理解し、的確なリペアが出来る。					
	思考・判断・表現	各金管楽器の状態把握後、リペアの必要箇所を見つけ解決方法を判断できる。					
	技能	各金管楽器の状態把握後、リペア箇所を自らの技術で問題解決が出来る。					
	関心・意欲・態度	楽器に関する興味や関心を持ち、自らが率先して学修することが出来る。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	実技が主になりますが、個々の改善点をクリア化してスキルアップを行って行きます。場合によっては、グループ化して手法等についてのディスカッションの場を設ける事もあります。主要メーカーの特別講義を数回実施しますので、幅広い商品知識、メーカー独自のリペア技術や使用工具について学修します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		10	-	-	-	10
	実技試験		-	20	50	-	70
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		10	20	50	20	100
評価の特記事項	全授業1/3以上欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学修支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	なし。						
課題に対するフィードバック	授業毎に学生からの挙手を仰ぎ、完成度についてや分からないで悩んでいる作業等についてフィードバックをします。						
テキスト	『「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」(上・下)ヤマハ株式会社』 1年次に購入したものを使用します。						
参考書・教材	資料等は、授業毎に配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	金管楽器応用 溶接、ピストン調整、凹み修正、抜き差し管調整、スライド調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
2	金管楽器応用 溶接、ピストン調整、凹み修正、抜き差し管調整、スライド調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
3	金管楽器応用 溶接、ピストン調整、凹み修正、抜き差し管調整、スライド調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
4	金管楽器応用 溶接、ピストン調整、凹み修正、抜き差し管調整、スライド調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
5	金管楽器応用 溶接、ピストン調整、凹み修正、抜き差し管調整、スライド調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
6	金管楽器応用 溶接、ピストン調整、凹み修正、抜き差し管調整、スライド調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
7	金管楽器応用 溶接、ピストン調整、凹み修正、抜き差し管調整、スライド調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
8	金管楽器応用 溶接、ピストン調整、凹み修正、抜き差し管調整、スライド調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
9	金管楽器応用 溶接、ピストン調整、凹み修正、抜き差し管調整、スライド調整 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
10	奏法使用楽器調整(トランペット、ホルン、トロンボーン) 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
11	奏法使用楽器調整(トランペット、ホルン、トロンボーン) 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
12	奏法使用楽器調整(トランペット、ホルン、トロンボーン) 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
13	金管楽器応用実習総合 苦手意識克服のため、作業の見直しと仕上がり度について確認する 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	金管楽器応用実習総合 苦手意識克服のため、作業の見直しと仕上がり度について確認する 【課題・（復習・他）】学んだ内容の復習（2h）
15	金管楽器応用実習総合 苦手意識克服のため、作業の見直しと仕上がり度について確認する 【課題・（復習・他）】学んだ内容の復習（2h）
時間外での学修	技能の反復練習は重要です。繰り返し行うことで、新しい発見もありますので、意欲を持って臨んでください。【この科目で求められる授業外の総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	自分の将来を見据えて、いまやるべきことを十分に理解し、更なるレベルアップを目指してください。オフィスアワーは授業後F101教室で行います。それ以外の空時間でも構いませんので、B304（B号館3F）へ気軽に来てください。

【3R6A315】リペア特講(木管)		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	鬼頭 加奈						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	鬼頭：楽器店修理販売職・10年						
授業方法	実習が主になりますが、小グループで解決策を見出し、検討結果等の発表の活動等も含めて、授業を進めていきます。						
到達目標	知識・理解	各木管楽器の仕組みや構造を理解し、的確なリペア対応が出来る。					
	思考・判断・表現	各木管楽器の状態把握し、リペア箇所を見つけ解決方法を判断する。					
	技能	各木管楽器の状態把握し、リペア箇所を見つけ自らの技能で問題解決する。					
	関心・意欲・態度	楽器に関する事に興味や関心を持ち、自らが率先して学修することが出来る。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	吹奏楽で使用されている木管楽器の種類は多くあります。特殊管等の仕組みや構造を理解し、リペア技術の幅や、商品知識向上を図ります。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	-	-	-	30
	実技		-	20	30	-	50
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		30	20	30	20	100
評価の特記事項	全授業の1/3以上欠席の場合、定期試験の受験資格がありません。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学修支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	なし。						
課題に対するフィードバック	授業毎に、分からない事や作業完了品の状態確認については、学生から挙手を仰ぎ、個々にフィードバックを行います。						
テキスト	『管打楽器の新しい楽器学と演奏法(上 下)ヤマハ株式会社』 1年次に購入したものを使用します。						
参考書・教材	各社カタログ、資料等は授業毎に配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス、授業の進め方 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)						
2	ピッコロについて 構造説明、ヘッドコルク脱着方法、反射板位置(各社の寸法)説明、タンポ調整 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)						
3	ピッコロについて タンポ調整、連絡バランスの取り方 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)						
4	フルートリングキタイプについて 構造説明、タンポ調整 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)						
5	フルートリングキタイプについて タンポ調整(専用工具製作を含む)、小グループ化で、ピッコロ、フルートリングキの作業方法を討議する。 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)						
6	ハーモニクラリネットについて 構造説明 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)						
7	ハーモニクラリネットについて タンポ調整、連絡バランスの取り方 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)						
8	ハーモニクラリネットについて レジスター連絡の取り方について、小グループ化し取り付け方について討議する。 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)						
9	オーボエについて 構造説明 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)						
10	オーボエについて タンポ調整、連絡バランスの取り方 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)						
11	ファゴットについて 構造説明 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)						
12	ファゴットについて タンポ調整、連絡バランスの取り方、オーボエとファゴットについて、小グループ化し作業方法等を討議する。 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)						
13	ソプラノサクソフォン・バリトンサクソフォンについて 構造説明 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	ソプラノサクソフォン・バリトンサクソフォンについて タンポ調整、連絡バランスの取り方について（他社製品も含む） 【課題（復習・他）学んだ内容の復習（2h）】
15	木管楽器全般復習 学校備品や使用品のリペア対応力アップ 使用頻度やメンテナンス不足等で異なるトラブルが発生するため、よく持ち込まれる修理品の状態把握と、リペア対応力を身に付ける。 【課題（復習・他）学んだ内容の復習（2h）】
時間外での学修	多くの種類の楽器が存在するため、まずは、構造を理解しなければ先に進めませんので、しっかり身に付けて下さい。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	楽器店では、幅広い管楽器のリペア依頼が来ます。木管楽器全般の対応力が必要となりますので、しっかり身に付けて下さい。オフィスアワーは授業後F101教室で行います。それ以外の空時間でも構いませんので、B304（B号館3F）へ気軽に来てください。

【3R6A316】リペア特講(金管)		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	渡辺 博夫						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	渡辺:メーカー修理職・34年						
授業方法	実習が主になりますが、グルー化し、問題点や解決策を検討する時間を作ります。授業内容によっては、ICTを活用した課題提出とそのフィードバックなども双方行います。また、学生ポータルやメールでの質問なども受け付けます。						
到達目標	知識・理解	各金管楽器の仕組みや構造を理解し、的確なリペア対応を考える事が出来る。					
	思考・判断・表現	各金管楽器の状態把握をし、リペア箇所を見つけ、解決方法を判断する事が出来る。					
	技能	各金管楽器の状態把握をし、リペア箇所を見つけ、自らのリペア技能で問題解決が出来る。					
	関心・意欲・態度	楽器に関する事に興味や関心を持ち、自らが率先して学修することが出来る。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	金管楽器リペアでの知識技能を広げるために、金属加工や工具の製作等も行います。また、機構の異なる管楽器についての構造理解をします。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	-	-	-	30
	実技		-	20	30	-	50
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		30	20	30	20	100
評価の特記事項	全授業の1/3以上欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学修支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	グループワーク						
課題に対するフィードバック	授業毎に、分からない事や作業完了品の状態確認については、学生からの挙手を仰ぎ、個々にフィードバックを行います。						
テキスト	『「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」(上下)ヤマハ株式会社』 1年次に購入したものを使用します。						
参考書・教材	各社カタログ、必要資料については、授業毎に配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス、授業の進め方 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)】						
2	ネジ切り加工 タップ加工、ダイス加工 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)】						
3	ネジ切り加工 タップ加工、ダイス加工 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)】						
4	ベル、1番管分解組み立て(中低音楽器) 熱する面積が多いため、表面の塗装等を焦がさない様に脱着する。 また、胴輪では分解する方法をしっかりと確認する。 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)】						
5	ベル、1番管分解組み立て(中低音楽器) 熱する面積が多いため、表面の塗装等を焦がさない様に脱着したものを、溶接に向けて前処理を行い溶接をするが、表面の塗装等を焦がさない様に心掛けて作業をおこなう。 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)】						
6	溶接作業:ロー付け 加工したパーツをロー付けする(溶接前の仕上げ、角度出し) 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)】						
7	溶接作業:ロー付け 加工したパーツをロー付けする(フラックス除去、最終仕上げ) 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)】						
8	ベルフレア部、ベル胴部の変形修正 芯金等の使用について(ローラー芯金、ベルデントリムーバー、ベル胴芯金) 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)】						
9	ベルフレア部、ベル胴部の変形修正 芯金等の使用について(ローラー芯金、ベルデントリムーバー、ベル胴芯金) 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)】						
10	抜き管頭、曲管部の凹み修正 芯金等の使用について(はね出しについても説明) 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)】						
11	抜き管頭、曲管部の凹み修正 芯金等の使用について(はね出しについても説明) また、ボールを使った曲管部の凹み修正も説明します。 【課題(復習・他)学んだ内容の復習(2h)】						

内容	
実施回	授業内容・目標
12	スライド楽器・スライド分解（マウスパイプ分解） 表面の塗装を焦がさない様に、パーナーの使用方法を考える。 【課題（復習・他）学んだ内容の復習（2h）】
13	スライド楽器・スライド組み立て 外管のピッチ、平行度をしっかり取った上で組み立てを行い、最終的には、スライド操作がスムーズに行える状態作りをする。 【課題（復習・他）学んだ内容の復習（2h）】
14	金管楽器のトラブル対処 溶接剥がれ、凹み、変形 【課題（復習・他）学んだ内容の復習（2h）】
15	金管楽器のトラブル対処 溶接剥がれ、凹み、変形 【課題（復習・他）学んだ内容の復習（2h）】
時間外での学修	多くの種類の楽器が存在するため、構造を理解しなければ進めません。しっかり身に付けてください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	楽器店では、金管楽器全般のリペア対応が必要となりますので、しっかり身に付けて下さい。オフィスアワーは、毎週木曜日授業後に行いますが、それ以外の時間でも気軽に来てください。

【3R6A317】リペアグレード対策(木管)		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	渡辺 博夫						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	渡辺:メーカー修理職34年						
授業方法	実技が主になり、作業効率から時間短縮を目指します。更にクオリティーを上げるための自己点検を繰り返し、到達レベルを目指します。学生ポータルやメールでの質問等も受け付けます。						
到達目標	知識・理解	グレード評価の基準は、どのような状態なのかを十分に理解が出来る。					
	思考・判断・表現	リペア技能をどう導き出して、限られた時間内に解決が出来る。					
	技能	作業手順を理解し、出来上がりの状態が合格レベルに達している。					
	関心・意欲・態度	自らが率先して、応用的なリペア技能を見出し、自分のルーティンを確立する。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	ヤマハ株式会社実施している、管楽器リペアグレード取得に向けて、木管楽器（フルート、クラリネット、サクソフォン）の3品目について実技を行っていきませんが、各チェック項目を理解し、規定時間内に合格に到達できる様、反復作業になります。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		15	35	40	-	90
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		15	35	40	10	100
評価の特記事項	全授業の1/3欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学修支援を行います。						
アクティブラーニングの活用	グループワーク						
課題に対するフィードバック	授業内に、学生から拳手を仰ぎ、完成度についてや分からないで悩んでいる作業についてフィードバックをします。						
テキスト	『「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」(上・下)ヤマハ株式会社』 1年次に購入したものを使用します。						
参考書・教材	必要資料は、授業毎に配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	フルート 部分タンポ交換 求められる状態とは、どういった状態なのかをしっかりと確認して、作業作業をよく考えて作業を進める。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
2	フルート 部分タンポ交換 求められる状態とは、どういった状態なのかをしっかりと確認して、作業作業をよく考えて作業を進める。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
3	フルート 部分タンポ交換タイムトライアル 完成するまでの作業時間をチェックし、同時に状態確認をする。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
4	フルート 部分タンポ交換タイムトライアル 完成品のチェックを行い、時間内に精度を上げるにはどうすればよいのかを、よく考え実践する。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
5	フルート グレード模擬 全タンポ交換、連絡バランス調整、ヘッドコルク交換 規定時間内に行われた作業内容をチェックリストで確認し、合格ライン以下であれば、出来ない部分を解決する。 合格ラインに達していれば、継続維持するにはどうしたら良いかを考えて作業を行う。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
6	フルート グレード模擬 全タンポ交換、連絡バランス調整、ヘッドコルク交換 規定時間内に行われた作業内容をチェックリストで確認し、合格ライン以下であれば、出来ない部分を解決する。 合格ラインに達していれば、継続維持するにはどうしたら良いかを考えて作業を行う。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
7	クラリネット 部分タンポ交換 求められる状態とは、どういった状態なのかをしっかりと確認して、作業作業をよく考えて作業を進める。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
8	クラリネット 部分タンポ交換、ジョイントコルク交換 求められる状態とは、どういった状態なのかをしっかりと確認して、作業作業をよく考えて作業を進める。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
9	クラリネット 部分タンポ交換タイムトライアル 完成品のチェックを行い、時間内に精度を上げるにはどうすればよいのかを、よく考え実践する。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
10	クラリネット グレード模擬 全タンポ交換、連絡バランス調整、ジョイントコルク交換 規定時間内に行われた作業内容をチェックリストで確認し、合格ライン以下であれば、出来ない部分を解決する。 合格ラインに達していれば、継続維持するにはどうしたら良いかを考えて作業を行う。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
11	サクソフォン 部分タンポ交換 求められる状態とは、どういった状態なのかをしっかりと確認して、作業作業をよく考えて作業を進める。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
12	サクソフォン 部分タンポ交換、ネックコルク交換 求められる状態とは、どういった状態なのかをしっかりと確認して、作業作業をよく考えて作業を進める。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
13	サクソフォン 部分タンポ交換タイムトライアル 完成品のチェックを行い、時間内に精度を上げるにはどうすればよいのかを、よく考え実践する。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
14	サクソフォン グレード模擬 全タンポ交換、連絡バランス調整、ネックコルク交換 規定時間内に行われた作業内容をチェックリストで確認し、合格ライン以下であれば、不出来な部分を解決する。 合格ラインに達していれば、継続維持するにはどうしたら良いかを考えて作業を行う。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
15	サクソフォン グレード模擬 全タンポ交換、連絡バランス調整、ネックコルク交換 規定時間内に行われた作業内容をチェックリストで確認し、合格ライン以下であれば、不出来な部分を解決する。 合格ラインに達していれば、継続維持するにはどうしたら良いかを考えて作業を行う。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)
時間外での学修	復習が大切ですので、授業外の空き時間の有効活用をして下さい。 (この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間)
受講学生へのメッセージ	反復練習が重要ですが、同じ作業が続くとモチベーション低下に繋がりますから、自己管理に気を付けて下さい。オフィスアワーは、毎週金曜日10：40～12：10それ以外の時間帯でも気軽に来てください。

【3R6A318】リペアグレード対策(金管)		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	渡辺 博夫						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	渡辺:メーカー修理職・34年						
授業方法	実技が主になり、作業効率から時間短縮を目指します。更にクオリティーを上げるための自己点検を繰り返し行い、到達レベルを目指します。学生ポータルやメールでの質問等も受け付けます。						
到達目標	知識・理解	グレード評価の基準は、どのような状態なのかを十分に理解が出来る。					
	思考・判断・表現	リペア技能をどう導き出して、限られた時間内に解決が出来る。					
	技能	作業手順を理解し、出来上がりの状態が合格レベルに達している。					
	関心・意欲・態度	自らが率先して、応用的なリペア技能を見出し、自分のルーティンを確立する。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	ヤマハ株式会社実施している、管楽器リペアグレード取得に向けて、金管楽器(トランペット、ホルン、トロンボーン)の3品目について実技を行っていきませんが、各チェック項目を理解し、規定時間内に合格に到達できる様、反復作業になります。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		15	35	40	-	90
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		15	35	40	10	100
評価の特記事項	全授業の1/3欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学修支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	グループワーク						
課題に対するフィードバック	授業内に、学生から拳手を仰ぎ、完成度についてや分からないで悩んでいる作業についてフィードバックをします。						
テキスト	『「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」(上・下)ヤマハ株式会社』 1年次に購入したものを使用します。						
参考書・教材	必要資料等は、授業毎に配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	金管楽器(トランペット):リペアグレード対策実習 ハンダ付作業の仕上げ追求 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
2	金管楽器(トランペット):リペアグレード対策実習 ハンダ付作業の仕上げ追求 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
3	金管楽器(トランペット):リペアグレード対策実習 ピストン、抜き差し管調整作業の仕上げ追求 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
4	金管楽器(トランペット):リペアグレード対策実習 ピストン、抜き差し管調整作業の仕上げ追求 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
5	金管楽器(トランペット):リペアグレード対策実習 規定時間内に行い、総合的に合格ライン達成を目指す。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
6	金管楽器(ホルン):リペアグレード対策実習 ロータリー調整、系の張り等作業の仕上げ度アップを図る 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
7	金管楽器(ホルン):リペアグレード対策実習 ロータリー調整、系の張り等作業の仕上げ度アップを図る 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
8	金管楽器(ホルン):リペアグレード対策実習 規定時間内に行い、総合的に合格ライン達成を目指す。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
9	金管楽器(トロンボーン):リペアグレード対策実習 規定時間内に行い、総合的に合格ライン達成を目指す。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
10	金管楽器(トロンボーン):リペアグレード対策実習 規定時間内に行い、総合的に合格ライン達成を目指す。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
11	リペアグレード対策総合 トランペット、ホルン、トロンボーンの作業の反復実習 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
12	リペアグレード対策総合 トランペット、ホルン、トロンボーンの作業の反復実習 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
13	リペアグレード対策総合 トランペット、ホルン、トロンボーンの作業の反復実習 制限時間内に作業を終えて合格ラインを目指す。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	リベアグレード対策総合 トランペット、ホルン、トロンボーンの作業の反復実習 制限時間内に作業を終えて合格ラインを目指す。 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（2h）
15	リベアグレード対策総合 トランペット、ホルン、トロンボーンの作業の反復実習 制限時間内に作業を終えて合格ラインを目指す。 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（2h）
時間外での学修	復習が重要です。空き時間の有効活用をしっかりと考えて実践してください。 【この科目で求められる望ましい授業外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	反復練習が重要ですが、同じ作業が続くとモチベーション低下に繋がりますから、自己管理に気を付けて下さい。オフィスアワーは、毎週金曜日10：40～12：10に行いますが、それ以外の時間でも気軽に来てください。

【3R6A319】リペアグレード対策(総合)		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	演習	60時間		
教員	鬼頭 加奈						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	鬼頭：楽器店修理販売職・10年						
授業方法	実技が中心になり、合格レベルとはどんな状態作りなのかをしっかりと理解するよう授業を進めていきます。授業内容によっては、ICTを活用しフィードバックを行っていきます。						
到達目標	知識・理解	合格レベルはどんな状態なのかを十分に理解が出来る。					
	思考・判断・表現	リペア技能をどう導き出して、限られた時間内に解決が出来る。					
	技能	作業手順を理解し、出来上がりの状態が合格レベルに達している。					
	関心・意欲・態度	応用的なりペア技能を見出す等、自らが率先して学修することが出来る。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	ヤマハ株式会社実施する、リペア技能評価取得に向け、木管楽器(3品目)、金管楽器(3品目)について実技を行って行きます。規定時間内での完成品が合格ラインに届く様、作業の繰り返しから効率化を目指します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		10	-	-	-	10
	実技試験		-	20	50	-	70
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		10	20	50	20	100
評価の特記事項	全授業の1/3以上欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。						
ICT活用	学生ポータル等でICTを活用した自主学修支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	なし。						
課題に対するフィードバック	授業内に、学生から挙手を仰ぎ、完成度についてや分からないで悩んでいる作業についてフィードバックをします。						
テキスト	『「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」(上・下)ヤマハ株式会社』 1年次に購入したものを使用します。						
参考書・教材	必要資料等は、授業毎に配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	木管楽器(フルート)：リペアグレード対策実習 タンボ合わせの精度アップを図る 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
2	木管楽器(フルート)：リペアグレード対策実習 タンボ合わせの精度アップ、連絡バランス、全体でのチェックがしっかり出来ているかを作業をしながら確認する。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
3	木管楽器(フルート)：リペアグレード対策実習 規定時間内に行い、総合的な仕上がり度を追求する。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
4	木管楽器(フルート)：リペアグレード対策実習 規定時間内に行い、総合的な仕上がり度を追求する。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
5	木管楽器(クラリネット)：リペアグレード対策実習 タンボ合わせの精度アップを図る、作業の効率化(作業時間短縮) 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
6	木管楽器(クラリネット)：リペアグレード対策実習 規定時間内に行い、総合的な仕上がり度を追求する。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
7	木管楽器(サクソフォン)：リペアグレード対策実習 タンボ合わせの精度アップを図る、作業の効率化(作業時間短縮) 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
8	木管楽器(サクソフォン)：リペアグレード対策実習 タンボ合わせの精度アップを図る、作業の効率化(作業時間短縮) 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
9	木管楽器(サクソフォン)：リペアグレード対策実習 規定時間内に行い、総合的な仕上がり度を追求する。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
10	金管楽器(トランペット)：リペアグレード対策実習 ハンダ付作業の仕上がり追求 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
11	金管楽器(トランペット)：リペアグレード対策実習 ピストン、抜き差し管調整作業の仕上がり追求 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
12	金管楽器(トランペット)：リペアグレード対策実習 規定時間内に行い、総合的に合格ライン達成を目指す。 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						
13	金管楽器(ホルン)：リペアグレード対策実習 ロータリー調整、系の張り等作業の仕上がり度アップを図る 【課題(復習・他)】学んだ内容の復習(2h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	金管楽器（ホルン）：リベアグレード対策実習 規定時間内に行い総合的に合格ライン達成を目指す。 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（2h）
15	金管楽器（トロンボーン）：リベアグレード対策実習 規定時間内に行い、総合的に合格ライン達成を目指す。 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（2h）
時間外での学修	復習が重要です。空き時間の有効活用をしっかりと考えて実践してください。 【この科目で求められる望ましい授業外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	反復練習が重要ですが、同じ作業が続くとモチベーション低下に繋がりますから、自己管理に気を付けて下さい。オフィスアワーは授業後F101教室で行います。それ以外の空時間でも構いませんので、B304（B号館3F）へ気軽に来てください。

【3R6A220】打楽器リペア演習		音楽総合学科		2年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	渡辺 博夫						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	渡辺：メーカー修理職・34年						
授業方法	実技が主になり、構造説明やそれぞれの楽器についての演奏形態等、打楽器全般の基礎的な知識やリペア技術が身に付く様、授業を進めて行きます。授業内容によっては、ICTを活用した課題提出とそのフィードバックを行います。						
到達目標	知識・理解	各楽器の仕組みや構造を理解し、的確なリペアが出来る。○					
	思考・判断・表現	各楽器の状態把握後、修理の必要性を見つけ解決方法が判断できる。○					
	技能	各楽器の仕組みや構造を理解し、リペア箇所を自らのリペア技術で問題解決が出来る。					
	関心・意欲・態度	楽器に関する興味や関心を持ち、自らが率先して学修することが出来る。○					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標と結びつきの強さを示しています。					
授業内容	打楽器類より、主にティンパニーを取り上げ、仕組みや構造を理解し、トラブルとして多い症状に対応できるリペア技術を身につけます。また、他楽器でも構造をしっかりと理解し、起こりやすいトラブルに対処できるリペア技術を身に付けます。打楽器類は、大型楽器で重量もありますから、安全面での説明や、使用工具についても学修します。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		20	30	30	-	80
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		20	30	30	20	100
評価の特記事項	全授業の1/3以上欠席の場合、定期試験の受験資格はありません。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学修支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	グループワーク						
課題に対するフィードバック	授業毎に、学生から挙手を仰ぎ、分からない事や、作業が進まず悩んでいる事についてフィードバックをします。						
テキスト	『管打楽器の新しい楽器学と演奏法(上・下)』ヤマハ株式会社 1年次に購入した物を使用します。						
参考書・教材	各社打楽器カタログ 必要資料は、授業毎に配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス・打楽器概論 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(1h)						
2	ティンパニー基礎実習 TP-5××を使用して、グループワークで作業を進めて行きます。 使用工具や、パーツ名称をしっかりと理解して下さい。 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(1h)						
3	ティンパニー基礎実習 TP-5××を使用して、グループワークで作業を進めて行きます。 使用工具や、パーツ名称をしっかりと理解して下さい。 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(1h)						
4	ティンパニー基礎実習 TP-5××を使用して、グループワークで作業を進めて行きます。 使用工具や、パーツ名称をしっかりと理解して下さい。 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(1h)						
5	ティンパニー基礎実習 バランステンションロッド、テンションロッド等の調整ポイントについて グループワークで進めて行きます。 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(1h)						
6	ティンパニー基礎実習 バランステンションロッド、テンションロッド等の調整ポイントについて グループワークで進めて行きます。 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(1h)						
7	ティンパニー基礎実習 チューニング、ペダルバランス等の調整ポイントについて グループワークで進めて行きます。 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(1h)						
8	ティンパニー基礎実習 チューニング、ペダルバランス等の調整ポイントについて グループワークで進めて行きます。 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(1h)						
9	膜楽器基礎実習 コンサートバスドラム、マーチングバスドラムの構造や仕組みを理解する。 グループワークで進めて行きます。 【課題・(復習・他)】学んだ内容の復習(1h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
10	<p>膜楽器基礎実習 コンサートスネアドラム、マーチングスネアドラム、マルチタムの構造や仕組みを理解する。 グループワークで進めて行きます。 【課題・（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）</p>
11	<p>音板打楽器基礎実習 コンサートマリimba、コンサートシロフォンの構造や仕組みを理解する。 グループワークで進めて行きます。 【課題・（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）</p>
12	<p>音板打楽器基礎実習 ビブラフォン、グロッケン構造や仕組みを理解する。 グループワークで進めて行きます。 【課題・（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）</p>
13	<p>打楽器類基礎実習 チャイム、ハープの構造や仕組みを理解する。 【課題・（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）</p>
14	<p>打楽器類基礎実習 シンバルの構造や仕組みを理解する。合わせシンバルのストラップ交換を行います。 グループワークで進めて行きます。 【課題・（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）</p>
15	<p>打楽器類基礎実習 マレット、小物打楽器類、膜楽器のヘッド等について 【課題・（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）</p>
時間外での学修	<p>ティンパニー分解組み立ての作業は、重量がありますから危険を伴いますので、教員立ち合いを原則とします。 各社カタログをしっかりと読み取り、仕様の違いやセールスポイントを理解して下さい。 【この科目で求められる望ましい授業外の総学修時間：15時間】</p>
受講学生へのメッセージ	<p>リペア技術が主になりますが、セールスエンジニアとしての知識やマナーを身につけてください。 オフィスアワーは、毎週月曜日4限終了後、F101教室で行います。それ以外の空時間でも構いません。</p>

【3R6A221】弦楽器リペア演習		音楽総合学科		2年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	松永 幸宏						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	楽器店修理販売職・19年						
授業方法	実際に楽器にさわる実習が中心ですが、資料などを活用した講義も取り入れグループでの実習などを含めて授業を展開していきます。学生ポータルやメールで質問等も受け付けます。場合により、Google Meetなどによる遠隔授業や、ICTを活用した課題提出とそのフィードバックなども双方向で行うこともあります。						
到達目標	知識・理解	弦楽器の歴史や名称など基本的な知識を理解できる。					
	思考・判断・表現	不具合を見つけ適切な処置方法を考えることができる。					
	技能	基本的なメンテナンス技術を身に付ける。○					
	関心・意欲・態度	より深く楽器に対して関心を持ち、積極的に知識を得ようと努力し取り組むことができる。					
	備考	・○・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	楽器店及び学校販売の現場において最低限必要な弦楽器の知識や技術を学ぶ。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	20	-	-	50
	実技試験		-	-	30	-	30
	受講態度		-	-	-	20	20
	合計(点)		30	20	30	20	100
評価の特記事項	受講態度は学修取り組み、技術向上への意欲等の状況。						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援(学生ポータルなど)						
アクティブ・ラーニングの活用	なし						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、課題回収後、解答の解説を行います。						
テキスト	ありません。						
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス、授業の進め方・バイオリンについて(歴史・名称) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
2	バイオリンについて(扱い方・セットアップ) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
3	バイオリンについて(弦交換) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
4	バイオリンについて(全体ばらし、組立) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
5	バイオリンについて(魂柱たて1) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
6	バイオリンについて(魂柱たて2) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
7	バイオリンの弓について [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
8	バイオリンのメンテナンス [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
9	コントラバスの知識・実技1 [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
10	コントラバスの知識・実技2 [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
11	楽器店における弦楽器の販売1 [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
12	楽器店における弦楽器の販売2 [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
13	楽器店における接客対応1 [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
14	楽器店における接客対応2 [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
15	授業外の課題のまとめ、試験に向けての復習確認作業 [課題(復習)]試験への再確認(1h)						
時間外での学修	[課題]は技術を身に付ける上で必要なことです。授業外で確実に学修を行いましょう。 [この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間]						
受講学生へのメッセージ	専門外の楽器ですが、今後必要になる知識です、積極的に授業に参画してください。オフィスアワーは毎週火曜日授業終了後に行います。						

【3R6S227】楽器奏法		音楽総合学科		2年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	佐溝 佳奈					
資格・制限等	特になし					
資格等						
実務家教員						
授業方法	各楽器に分かれ5～6週かけてレッスンを受け各楽器の演奏技術を修得します。					
到達目標	知識・理解	各楽器の演奏上の基本的な構造が理解し、その説明ができる。()				
	思考・判断・表現	リペア修理後の楽器の状態が演奏によってある程度把握できる。()				
	技能	各楽器の基本的な奏法を身につけ、ロングトーン・スケール・タンギングなどの奏法が容易にできる。()				
	関心・意欲・態度	各楽器を演奏し修理の依頼者に対し故障の原因や修理での改善点がある程度説明できる。()				
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	リペア技術者にとって修理品の点検は不可欠、修理をしても点検するべきがなくては、プロの技術者とは呼べません。楽器奏法の授業では、フルート・クラリネット・サクソフォン・ホルン・トランペット・トロンボーンといった吹奏楽で使用される代表的な管楽器のレッスンを受けることにより、各楽器の基本的な奏法を修得し楽器検品などに活かします。また演奏することによって、その楽器の機構や特徴を学ぶことができます。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	10	10	-	-	20
	各楽器の修得力	-	-	60	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計(点)	10	10	60	20	100
評価の特記事項						
ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	個人レッスンを中心に進めます。					
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、奏法や理解度確認テスト実施後、アドバイスをを行います。					
テキスト						
参考書・教材	楽譜等その都度配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス、授業の説明、レッスンのグループ分け、レッスンの受け方 [課題(準備)]次回レッスン楽器の基礎知識(1～2h)					
2	楽器1レッスン1:グループA(FI) B(CI) C(Sax) D(Tp) E(Hr) F(Tb) 楽器の取り扱い(組み立て、演奏前のメンテナンス、演奏後の手入れなど)、基本奏法 [課題(準備)]レッスン楽器の練習(1～2h)					
3	楽器1レッスン2:グループA(FI) B(CI) C(Sax) D(Tp) E(Hr) F(Tb) 基本奏法(音の出し方、ロングトーン等)注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題(準備)]レッスン楽器の練習(1～2h)					
4	楽器1レッスン3:グループA(FI) B(CI) C(Sax) D(Tp) E(Hr) F(Tb) 基本奏法(ロングトーン、スケール等)注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題(準備)]レッスン楽器の練習(1～2h)					
5	楽器1レッスン4:グループA(FI) B(CI) C(Sax) D(Tp) E(Hr) F(Tb) スケール、簡単な楽曲、実技試験 注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題(準備)]次回レッスン楽器の基礎知識(1～2h)					
6	楽器2レッスン1:グループA(CI) B(Sax) C(Tp) D(Hr) E(Tb) F(FI) 楽器の取り扱い(組み立て、演奏前のメンテナンス、演奏後の手入れなど)、基本奏法 [課題(復習)]レッスン楽器の練習(1～2h)					
7	楽器2レッスン2:グループA(CI) B(Sax) C(Tp) D(Hr) E(Tb) F(FI) 基本奏法(音の出し方、ロングトーン等)注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題(復習)]レッスン楽器の練習(1～2h)					
8	楽器2レッスン3:グループA(CI) B(Sax) C(Tp) D(Hr) E(Tb) F(FI) 基本奏法(ロングトーン、スケール等)注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題(復習)]レッスン楽器の練習(1～2h)					
9	楽器2レッスン4:グループA(CI) B(Sax) C(Tp) D(Hr) E(Tb) F(FI) スケール、簡単な楽曲、実技試験 注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題(準備)]次回レッスン楽器の基礎知識(1～2h)					
10	楽器3レッスン1:グループA(Sax) B(Tp) C(Hr) D(Tb) E(FI) F(CI) 楽器の取り扱い(組み立て、演奏前のメンテナンス、演奏後の手入れなど)、基本奏法 [課題(復習)]レッスン楽器の練習(1～2h)					
11	楽器3レッスン2:グループA(Sax) B(Tp) C(Hr) D(Tb) E(FI) F(CI) 基本奏法(音の出し方、ロングトーン等)注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題(復習)]レッスン楽器の練習(1～2h)					
12	楽器3レッスン3:グループA(Sax) B(Tp) C(Hr) D(Tb) E(FI) F(CI) 基本奏法(ロングトーン、スケール等)注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題(復習)]レッスン楽器の練習(1～2h)					
13	楽器3レッスン4:グループA(Sax) B(Tp) C(Hr) D(Tb) E(FI) F(CI) スケール、簡単な楽曲、実技試験 注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題(復習)]レッスン楽器の復習(1～2h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
14	不得意楽器のレッスン1 学期末実技試験対策 [課題(準備)]レッスン楽器の練習(1~2h)
15	不得意楽器のレッスン2 学期末実技試験対策 [課題(準備)]レッスン楽器の練習(1~2h)
時間外での学修	短期間のレッスンの中で基本的な奏法を学ばなければいけないため、修得するためには強い意志と、努力が必要となります。与えられた課題をこなすためにしっかりと練習しましょう。【この科目で求める望ましい授業時間外での総学修時間：30時間】
受講学生へのメッセージ	授業前に楽器の準備をしてください。レッスンに当たっては楽器の取り扱いなど担当教員の指示をしっかりと聞いて行ってください。オフィスアワーは授業前後の休み時間に教室で実施します。

【3R6A228】楽器奏法		音楽総合学科		2年後期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	佐溝 佳奈					
資格・制限等	特になし					
資格等						
実務家教員						
授業方法	各楽器に分かれ5～6週かけてレッスンを受け各楽器の演奏技術を修得します。					
到達目標	知識・理解	各楽器の演奏上の基本的な構造が理解し、その説明ができる。()				
	思考・判断・表現	リペア修理後の楽器の状態が演奏によってある程度把握できる。()				
	技能	各楽器の基本的な奏法を身につけ、基本奏法の他に簡単な楽曲の演奏ができる。()				
	関心・意欲・態度	楽器の扱い方、初歩の演奏指導ができ、初級者への楽曲の指導ができる。()				
授業内容	リペア技術者にとって修理品の点検は不可欠、修理をしても点検するすべがなくは、プロの技術者とは呼ばれません。楽器奏法の授業では、フルート・クラリネット・サクソフォン・ホルン・トランペット・トロンボーンといった吹奏楽で使用される代表的な管楽器のレッスンを受けることにより、各楽器の基本的な奏法を修得し楽器検品などに活かします。また演奏することによって、その楽器の機構や特徴を学ぶことができます。					
観点別評価	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	実技試験	10	10	-	-	20
	各楽器の修得力	-	-	60	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計(点)	10	10	60	20	100
評価の特記事項	ICT活用					
アクティブ・ラーニングの活用	個人レッスンを中心に進めます。					
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、奏法や理解度確認テスト実施後、アドバイスをを行います。					
テキスト						
参考書・教材	楽譜等その都度配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	楽器4レッスン1:グループA(Tp) B(Hr) C(Tb) D(FI) E(CI) F(Sax) 1年の復習 基本奏法1 ロングトーン スケール 等 [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
2	楽器4レッスン2:グループA(Tp) B(Hr) C(Tb) D(FI) E(CI) F(Sax) 1年の復習 基本奏法2 タンギング 等 注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
3	楽器4レッスン3:グループA(Tp) B(Hr) C(Tb) D(FI) E(CI) F(Sax) 楽曲レッスン1 課題曲の譜読み 注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
4	楽器4レッスン4:グループA(Tp) B(Hr) C(Tb) D(FI) E(CI) F(Sax) 楽曲レッスン2 課題曲仕上げ 注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
5	楽器5レッスン1:グループA(Hr) B(Tb) C(FI) D(CI) E(Sax) F(Tp) 1年の復習 基本奏法1 ロングトーン スケール 等 [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
6	楽器5レッスン2:グループA(Hr) B(Tb) C(FI) D(CI) E(Sax) F(Tp) 1年の復習 基本奏法2 タンギング 等 注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
7	楽器5レッスン3:グループA(Hr) B(Tb) C(FI) D(CI) E(Sax) F(Tp) 楽曲レッスン1 課題曲の譜読み 注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
8	楽器5レッスン4:グループA(Hr) B(Tb) C(FI) D(CI) E(Sax) F(Tp) 楽曲レッスン2 課題曲仕上げ 注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
9	楽器6レッスン1:グループA(Tb) B(FI) C(CI) D(Sax) E(Tp) F(Hr) 1年の復習 基本奏法1 ロングトーン スケール 等 [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
10	楽器6レッスン2:グループA(Tb) B(FI) C(CI) D(Sax) E(Tp) F(Hr) 1年の復習 基本奏法2 タンギング 等 注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
11	楽器6レッスン3:グループA(Tb) B(FI) C(CI) D(Sax) E(Tp) F(Hr) 楽曲レッスン1 課題曲の譜読み 注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
12	楽器6レッスン4:グループA(Tb) B(FI) C(CI) D(Sax) E(Tp) F(Hr) 楽曲レッスン2 課題曲仕上げ 注:各楽器によってレッスン方法は異なる [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
13	後期不得意楽器のレッスン1 学年末実技試験対策 [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
14	後期不得意楽器のレッスン2 学年末実技試験対策 [課題・準備]レッスン楽器の練習(2h~3h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
15	後期不得意楽器のレッスン3 学年末実技試験対策 [課題・準備] レッスン楽器の練習(2h~3h)
時間外での学修	短期間のレッスンの中で基本的な奏法を学ばなければいけないため、修得するためには強い意志と、努力が必要となります。与えられた課題をこなすためにしっかりと練習しましょう。【この科目で求める望ましい授業時間外での総学修時間：30~45時間】
受講学生へのメッセージ	授業前に楽器の準備をしてください。レッスンに当たっては楽器の取り扱いなど担当教員の指示をしっかりと聞いて行ってください。 オフィスアワーは授業前後の休み時間に教室で実施します。

【3R6S231】リペア入門		音楽総合学科		2年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	松永 幸宏・鬼頭 加奈						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	松永：楽器店修理販売職・19年 鬼頭：楽器店修理販売職・10年						
授業方法	吹奏楽指導者、演奏者における指導に必要な知識を総合的に講義によって学びます。実際に楽器にさわる実習が中心ですが、資料などを活用した講義も取り入れ授業を展開していきます。学生ポータルやメールで質問等も受け付けます。場合により、Google Meetなどによる遠隔授業や、ICTを活用した課題提出とそのフィードバックなども双方向で行うこともあります。						
到達目標	知識・理解	管楽器の構造・仕組み、名称など基本的な知識を理解できる。					
	思考・判断・表現	不具合を見つけ適切なアドバイスを伝えることができる。					
	技能	基本的なお手入れ方法、メンテナンス技術を身に付ける。○					
	関心・意欲・態度	より深く楽器に対して関心を持ち、積極的に知識を得ようと努力し取り組むことができる。					
	備考	・○・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	指導の現場において最低限必要な管楽器の知識や取扱い方法を学ぶ。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	20	20	-	70
	課題提出		10	10	-	-	20
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		40	30	20	10	100
評価の特記事項	受講態度は学修取り組み、技術向上への意欲等の状況。						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援(学生ポータルなど)						
アクティブ・ラーニングの活用	なし						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、課題回収後、解答の解説を行います。						
テキスト	ありません。						
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス(授業の進め方・工具の扱い・注意事項) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
2	クラリネット(扱い方・お手入れ方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
3	クラリネット(構造・仕組み、分解・組立) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
4	クラリネット(構造・仕組み、分解・組立) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
5	クラリネット(状態確認方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
6	フルート(扱い方・お手入れ方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
7	フルート(構造・仕組み、分解・組立) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
8	フルート(状態確認方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
9	サクソ(扱い方・お手入れ方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
10	サクソ(構造・仕組み、分解・組立) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
11	サクソ(構造・仕組み、分解・組立) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
12	サクソ(状態確認方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
13	その他管楽器(扱い方・お手入れ方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
14	その他管楽器(扱い方・お手入れ方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
15	まとめ(リペア知識の活かし方、課題提出、試験に向けての確認作業) [課題(復習)]試験への再確認(1h)						
時間外での学修	専門楽器以外の楽器の知識を身に付けることは、指導の現場に必要なことです。授業外で復習し確実に学修を行いましょ。[この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間]						
受講学生へのメッセージ	専門外の楽器もありますが、今後必要になる知識です、積極的に授業に参画してください。オフィスアワーは毎週水曜日授業終了後に行います。						

【3R6A232】リペア入門		音楽総合学科		2年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	松永 幸宏・鬼頭 加奈						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	松永：楽器店修理販売職・19年 鬼頭：楽器店修理販売職・10年						
授業方法	吹奏楽指導者、演奏者における指導に必要な知識を総合的に講義によって学びます。実際に楽器にさわる実習が中心ですが、資料などを活用した講義も取り入れ授業を展開していきます。学生ポータルやメールで質問等も受け付けます。場合により、Google Meetなどによる遠隔授業や、ICTを活用した課題提出とそのフィードバックなども双方向で行うこともあります。						
到達目標	知識・理解	管楽器の構造・仕組み、名称など基本的な知識を理解できる。					
	思考・判断・表現	不具合を見つけ適切なアドバイスを伝えることができる。					
	技能	基本的なお手入れ方法、メンテナンス技術を身に付ける。○					
	関心・意欲・態度	より深く楽器に対して関心を持ち、積極的に知識を得ようと努力し取り組むことができる。					
	備考	・○・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	指導の現場において最低限必要な管楽器の知識や取扱い方法を学ぶ。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	20	20	-	70
	課題提出		10	10	-	-	20
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		40	30	20	10	100
評価の特記事項	受講態度は学修取り組み、技術向上への意欲等の状況。						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援(学生ポータルなど)						
アクティブ・ラーニングの活用	なし						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、課題回収後、解答の解説を行います。						
テキスト	ありません。						
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	トランペット (扱い方・お手入れ方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
2	トランペット (お手入れ・メンテナンス方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
3	トランペット (状態確認方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
4	フレンチホルン (扱い方・お手入れ方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
5	フレンチホルン (お手入れ・メンテナンス方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
6	フレンチホルン (状態確認方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
7	トロンボーン (扱い方・お手入れ・メンテナンス方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
8	トロンボーン (状態確認方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
9	その他金管楽器 (扱い方・お手入れ方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
10	その他金管楽器 (扱い方・お手入れ方法) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
11	使用楽器の状態診断 (現在の楽器の状態を判断する) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
12	使用楽器の状態診断 (現在の楽器の状態を判断する) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
13	使用楽器の状態診断 (現在の楽器の状態を判断する) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
14	使用楽器の状態診断 (現在の楽器の状態を判断する) [課題(復習)]学んだ内容の復習(1h)						
15	まとめ(授業の振り返り、課題提出、試験に向けての確認作業) [課題(復習)]試験への再確認(1h)						
時間外での学修	専門楽器以外の楽器の知識を身に付けることは、指導の現場に必要なことです。授業外で復習し確実に学修を行いましょう。 [この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間]						
受講学生へのメッセージ	専門外の楽器もありますが、今後必要になる知識です、積極的に授業に参画してください。オフィスアワーは毎週水曜日授業終了後に行います。						

【3R6S222】楽器業界ビジネス		音楽総合学科		2年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	松永 幸宏・鬼頭 加奈					
資格・制限等	特になし					
資格等						
実務家教員	松永：楽器店修理販売職・19年 鬼頭：楽器店修理販売職・10年					
授業方法	講義形式で行います。					
到達目標	知識・理解	楽器業界で即戦力として通用する幅広く豊富な知識を修得できる。楽器業界の流通、関連業務の業態を知ることが出来、卒業後の就職に生かせる。				
	思考・判断・表現	プレイングセールスエンジニアとしての優れた思考、感受性と判断力、表現力を持っている。豊かな人間性を生かしたセールストークや学校での吹奏楽部員へのカウンセリングができる。○				
	関心・意欲・態度	学校教育や吹奏楽活動の現状に関心を持ち、学校から信頼される人間性豊かな人材を目指す。営業やリペアを実施する際、意欲的にお客様と良好な関係を築くことが出来る。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	楽器業界で即戦力として通用する幅広い知識を修得します。製造業、卸業、小売業の流通の仕組み、それぞれの業態を学びます。又、業務を遂行する上での必要な関連知識についても学びます。楽器業界人の基本は豊かな感性と人間性及びコミュニケーション能力です。それらをグループワークなども行い学びます。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	30	30	-	-	60
	課題	15	15	-	-	30
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	45	45	-	10	100
評価の特記事項	受講態度は学修取り組み、意欲等の状況で評価します。					
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援（学生ポータルなど）					
アクティブ・ラーニングの活用	グループワーク					
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、課題やレポートにコメントを返します。					
テキスト						
参考書・教材	管楽器・打楽器価格一覧表2022年版、楽器別カタログを使用します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	授業のガイダンス、「楽器業界ビジネス講座で学ぶ事」楽器研究 で学んだプレイング・セールス・エンジニアについての再確認をする。今、求められる新しいタイプの業界人とは。 [課題(復習)]学修内容を復習し年間の授業の内容と流れを確認すること。(1h)					
2	音楽産業と楽器産業について 管・打楽器業界の歴史、日本における管楽器メーカーの歴史的流れを知り現在を理解する。 [課題(復習)]学修内容を復習。歴史を学ぶ意図・目的を考えること(1h)					
3	製造業について 楽器の歴史と楽器製造の歴史について。楽器メーカーの業務及び楽器製造の方向性について [課題(復習/作成)]学修内容の復習。(1h)					
4	楽器製造業について 楽器製造の方法 DVD [課題(復習)]学修内容の復習。(1h)					
5	卸業について 卸業の業態・業務内容、主要商社研究。 [課題(復習/作成)]学修内容の復習(1h)					
6	小売業について 小売業の業態、店頭(店舗)業務 [課題(復習)]学修内容の復習。(1h)					
7	中古楽器について 中古楽器の査定項目について(リペア技術者に求められる能力) [課題(復習)]学修内容の復習。(1h)					
8	グループワーク 3回目と5回目の授業課題を用いてのグループワーク [課題(復習/作成)]学修内容の復習。(1h)					
9	学校販売営業について 学販ビジネスと年間活動学校販売(学販)の業態 [課題(復習)]学修内容の復習。(1h)					
10	学校販売営業について 学販営業の業務、教育楽器(リコーダー、鍵盤ハーモニカ等) [課題(復習)]学修内容の復習。(1h)					
11	グループ発表 3回目と5回目の授業課題を用いてのグループ発表 [課題(復習/作成)]学修内容の復習。(1h)					
12	営業の基本について 会社から信頼される営業担当者について具体的に学び、求められる担当者像を理解する。 [課題(復習)]学修内容の復習。(1h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
13	接客について 言葉遣い・身だしなみなど 【課題（復習）】 学修内容の復習。(1h)
14	接客について 電話対応など 【課題（復習）】 学修内容の復習。(1h)
15	まとめ 定期試験の準備確認 【課題（復習）】 学修内容の復習。(1h)
時間外での学修	楽器店は楽器業界の第一線として重要です。楽器店以外の店舗からも多くを学べます。吹奏楽及び管打楽器関連専門誌、楽器関連業界誌、インターネット等で最新情報を学び、自分の資料を作成しましょう”将来に必ず活かされます”。 【この科目で求める授業外での総学修時間：15時間】
受講学生へのメッセージ	ブレイング・セールス・エンジニアに興味を持ってください。この能力は楽器業界で仕事をする上で大きな力になります。オフィス・アワー：授業後に教室で対応します。

【3R6A223】楽器業界ビジネス		音楽総合学科		2年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	松永 幸宏・鬼頭 加奈						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	松永：楽器店修理販売職・19年、鬼頭：楽器店修理販売職・10年						
授業方法	講義形式及びグループワーク						
到達目標	知識・理解	一般的な営業活動の基礎的な知識を修得し、楽器業界を幅広く知り、そこで働く仕事を予測、想像できる。(シミュレーションができる)					
	思考・判断・表現	ブレインセールスエンジニアとしての臨機応変な思考、判断力、感受性及び表現力を有する。プロフェッショナルなレベルでお客様との対応ができる。○					
	関心・意欲・態度	新情報収集(業界、学校、音楽活動)に敏感である。会社、学校現場から信頼される人間性を身につける努力ができる。チームの一員として積極的に活動できる。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	これまでに学んだ知識を生かし「営業力」「企画力」を学びます。お客様への提案、説得には営業技術とともに人間としての優秀さ及びコミュニケーション能力が重要です。						
観点別評価	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	筆記試験		30	30	-	-	60
	グループワーク・発表		15	15	-	-	30
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		45	45	-	10	100
評価の特記事項	受講態度は学修取り組み、意欲等の状況で評価します。						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援(学生ポータルなど)						
アクティブ・ラーニングの活用	グループワーク						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、課題やレポートにコメントを返します。						
テキスト							
参考書・教材	管楽器・打楽器価格一覧表2022年度版、楽器別カタログを使用します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	授業のガイダンス それぞれの楽器の特徴や専門知識を身に付け今後生かす [課題(復習)]学修内容の復習(1h)						
2	木管楽器の専門知識 楽器ごとの専門用語、専門知識を身に付けカタログを超えた提案や説明ができるように学ぶ [課題(復習)]学修内容の復習。(1h)						
3	木管楽器の専門知識 楽器ごとの専門用語、専門知識を身に付けカタログを超えた提案や説明ができるように学ぶ [課題(復習)]学修内容の復習。(1h)						
4	木管楽器の専門知識 楽器ごとの専門用語、専門知識を身に付けカタログを超えた提案や説明ができるように学ぶ [課題(復習)]学修内容の復習。(1h)						
5	金管楽器の専門知識 楽器ごとの専門用語、専門知識を身に付けカタログを超えた提案や説明ができるように学ぶ [課題(復習)]学修内容の復習。(1h)						
6	金管楽器の専門知識 楽器ごとの専門用語、専門知識を身に付けカタログを超えた提案や説明ができるように学ぶ [課題(復習)]学修内容の復習。(1h)						
7	金管楽器の専門知識 楽器ごとの専門用語、専門知識を身に付けカタログを超えた提案や説明ができるように学ぶ [課題(復習)]学修内容の復習。(1h)						
8	グループワーク 楽器店における管楽器フェアについてグループで活動する。グループ分けし架空の楽器店を作り、そこでのフェア企画。実際の楽器店管楽器フェアを学ぶ。討議内容の提示。 [課題(復習)]学修内容の復習。(1h)						
9	グループワーク 楽器店における管楽器フェアについてグループで活動する。グループ分けし架空の楽器店を作り、そこでのフェア企画。 [課題(復習/作成)]学修内容の復習。(1h)						
10	グループワーク 楽器店における管楽器フェアについてグループで活動する。グループ分けし架空の楽器店を作り、そこでのフェア企画。 [課題(復習/作成)]学修内容の復習。(1h)						
11	グループワーク 楽器店における管楽器フェアについてグループで活動する。グループ分けし架空の楽器店を作り、そこでのフェア企画。 [課題(復習/作成)]学修内容の復習。(1h)						
12	グループワーク 楽器店における管楽器フェアについてグループで活動する。グループ分けし架空の楽器店を作り、そこでのフェア企画。 [課題(復習/作成)]学修内容の復習。(1h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
13	グループワーク 楽器店における管楽器フェアについてグループで活動する。グループ分けし架空の楽器店を作り、そこでのフェア企画。 [課題(復習/作成)]学修内容の復習。(1h)
14	グループワーク グループ発表・企画プレゼンテーション、質疑応答と評価) [課題(実習/評価)]他グループの発表、自グループ評価を検証すること。(1h)
15	まとめ 定期試験の準備確認 [課題(復習)]学んだことを確認すること。知識を生かせる知恵を身につけること。(1h)
時間外での学修	POPやチラシの作成は授業内では不十分です。時間外でも積極的に取り組んでください。各方面のチラシを収集し研究しましょう。チラシは情報を知るだけでなく、そこに込められた思いをくみ取ってください。 【この科目で求める授業外での総学修時間：15時間】
受講学生へのメッセージ	業界人としての視点をもって多くの現場を見てください。楽器業界に就職した際のシュミレーションが出来ます。グループ活動では個人の参画意識が重要です。やむを得ない場合を除き、授業は休まないよう個人の責任感を強く意識してください。オフィスアワー：授業後には教室で対応します。

【3R6S224】楽器店実習		音楽総合学科		2年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	服部 篤典・松永 幸宏・鬼頭 加奈						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	服部：オーケストラ・25年、松永：楽器店修理販売業・19年、鬼頭：楽器店修理販売職・10年						
授業方法	心構え等を学修したあと、各楽器店へ出向き実際の楽器店全般業務を行います。実習後は、レポート提出します。						
到達目標	知識・理解	各楽器店担当者のアドバイスを理解し、的確に業務遂行ができる。					
	思考・判断・表現	楽器店の業務内容について十分理解をすることによって、楽器店就職意識をより明確にする。					
	関心・意欲・態度	楽器店担当者、マネージャー及びお客様とのコミュニケーション作りが円滑にできる。					
	備考	・〇・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	主に愛知県・岐阜県の楽器店（管楽器専門店、総合楽器店）にインターン実習で出向き日頃の楽器店業務を理解する。実際の楽器店業務全般に携わることで、楽器店従業員・リペア技術者としての姿勢を学び、就職した際にスムーズに業務への対応が出来るようになる。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	規律・マナー		20	-	-	-	20
	積極性		-	10	-	5	15
	責任感		-	-	-	10	10
	総合所見		10	10	-	10	30
	レポート		-	-	-	25	25
合計(点)		30	20	-	50	100	
評価の特記事項	企業からの実習評価用紙の評価、及び実習を終了後レポートを提出することが単位の要件となります。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学習支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	なし						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、課題やレポートにコメントして返します。						
テキスト	ありません						
参考書・教材	楽器店担当者から必要資料の配付はあります。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス、実習へ向けての準備・説明 実習までのスケジュール、準備物、連絡事項等を確認する。 【課題（準備）】楽器店実習の意味合いについても理解する。（1h）						
2～14	5日間の楽器店実習 【課題（復習）】日々の実習日誌の記入（1h）						
15	楽器店実習終了後 就職へ向けた各自の課題の分析 【課題（復習・他）】お礼状作成、実習レポート作成（2h）						
時間外での学修	各楽器店のHPを見ることで、店舗の独自性や主力商品等を理解して、単なる実習経験ではなく、楽器店の様々な業務内容を理解してください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】						
受講学生へのメッセージ	初めて会う楽器店スタッフの方々や、環境の違いなどで緊張の連続になるかも知れませんが、いろんな事を吸収して下さい。挨拶は、元気にはっきりと。第一印象で決まってしまうので、オフィスアワーは、F101で毎週月曜日授業終了後に行います。						

【3S9A103】音楽総合特講		音楽総合学科		2年前期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	服部 篤典・菅田 文子・鈴木 孝育・横井 香織・松永 幸宏					
資格・制限等	特になし					
資格等						
実務家教員	オムニバス形式で行う。各授業担当講師が実務家教員としてのキャリアあり					
授業方法	講義、演習形式					
到達目標	知識・理解	総合楽器店の業務内容や取り扱い楽器について理解している				
	思考・判断・表現	取り扱い楽器について自分で説明できるようになる				
	技能	総合楽器店におけるフィールドワークで自分の考えをまとめることができる				
	関心・意欲・態度	わからないことを積極的に調べ、共有することができる				
	備考	・〇・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	総合楽器店勤務に必要な知識を学ぶ。教室運営や営業について、取り扱い楽器の知識など。フィールドワークとして楽器店に出向きレイアウトや店内販促についてまとめる。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	レポート	20	10	10	10	50
	発表	10	20	10	10	50
	合計(点)	30	30	20	20	100
評価の特記事項						
ICT活用	グーグルフォームを用いて質問できるようにして双方向の授業を行います					
アクティブ・ラーニングの活用	授業前に課題ビデオを視聴する反転授業を取り入れます					
課題に対するフィードバック	授業内で回答します					
テキスト	必要資料は授業内で配布します。					
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	授業説明・シラバス説明 課題：楽器店勤務を志望した理由についてレポートを書きまとめる（2H）					
2	総合楽器店業務について：営業職（営業販売・店頭販売）について、事務職、音楽教室運営について 課題：本日学んだことについて自分の感想をまとめる（2H）					
3	取扱楽器の知識（1）鍵盤楽器 ピアノ（UP・GP）電子ピアノ・電子オルガン 課題：本日学んだことをノートにまとめる（2H）					
4	取扱楽器の知識（2）管楽器 木管楽器・金管楽器 課題：本日学んだことをノートにまとめる（2H）					
5	取扱楽器の知識（3）LM系楽器 エレキベース・アコースティックギター（FG・CG）エレキベース・ドラム 課題：本日学んだことをノートにまとめる（2H）					
6	取り扱い楽器の知識（4）弦楽器 バイオリン 課題：本日学んだことをノートにまとめる（2H）					
7	取扱楽器の知識（5）教育楽器、小物楽器 リコーダー、鍵盤ハーモニカ、オカリナ、ハーモニカ等 課題：本日学んだことをノートにまとめる（2H）					
8	取扱楽器の知識（6）和太鼓 課題：本日学んだことをノートにまとめる（2H）					
9	取扱楽器の知識（7）楽譜・教材、著作権 課題：本日学んだことをノートにまとめる（2H）					
10	フィールドワーク 課題：本日学んだことをノートにまとめる（2H）					
11	のまとめ、発表 課題：本日学んだことをノートにまとめる（2H）					
12	フィールドワーク 課題：本日学んだことをノートにまとめる（2H）					
13	のまとめ、発表 課題：本日学んだことをノートにまとめる（2H）					
14	チラシ、ポップなど店内販促グッズ 課題：本日学んだことをノートにまとめる（2H）					
15	まとめ（総合楽器店就職に向けての心構え・知識等の確認） 課題：本日学んだことをノートにまとめる（2H）					
時間外での学修	学んだことをまとめ、定着させること 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30時間】					
受講学生へのメッセージ	今年度から新しく始まる授業です。学生の意見も取り入れて双方向の授業にしていきたいと考えていますので、内容や進め方についての要望があったら積極的に発言してください。オフィスアワーは、各アカデミック・アドバイザーの指示に従ってください。					

【3S8A223】公務員・一般職試験対策		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	鈴木 孝育						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員							
授業方法	進路実現のために必要な基本的事項の理解と定着を図ります。そのための教材として、一般常識問題や就職試験過去問題を解き、その場で解説をします。グループディスカッション、グループワークなども行います。また、個々の進捗状況に合わせて、論作文試験や面接についての指導も行います。						
到達目標	知識・理解	社会人に教養として求められる知識や就職試験に必要な知識を身につける。					
	思考・判断・表現	音楽に関する分野の学びや社会的・職業的自立に向けた進路選択のための課題解決などに必要な思考・判断・表現力を身につける。					
	技能	各就職試験を突破するために必要な技能として、知的操作や論作文の技法を身につける。					
	関心・意欲・態度	自己の目標や状況に応じて、意欲を持って主体的に学修に取り組むことができる。					
	備考	・ ・ の記号は、音楽総合学科のDP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	職業人としての基盤となる知識について、実践的な活用能力から、一般的な社会常識なども含めて学修します。特に音楽活動によって職務を果たす自衛隊音楽隊・警察音楽隊・消防音楽隊などの公務員試験や、一般企業就職試験の対策を行います。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	20	10	-	60
	課題、提出物、受講態度		10	10	10	10	40
	合計(点)		40	30	20	10	100
評価の特記事項	課題、提出物、受講態度においては、提出状況や取り組み姿勢なども考慮し、総合的に評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験(筆記試験)の受験資格はありません。						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援(Googleフォーム、学生ポータル)						
アクティブ・ラーニングの活用	グループディスカッション、グループワークなど						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、毎回授業時に問題演習を実施し、解説を行います。また、論作文は添削をして返します。						
テキスト	その都度配布						
参考書・教材	授業で指示もしくは配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス。公務員試験・一般就職試験全般。求人票の見方。 [課題(復習・予習)]シラバスの熟読。授業内容の復習と次時内容の予習を確実に進行。(3~5h)						
2	「就職試験・一般常識問題対策」(1) [課題(復習・予習)]本日まなんだ内容を復習・定着させる。次回に向けて、計画をたてる。(3~5h)						
3	「就職試験・一般常識問題対策」(2) [課題(復習・予習)]本日まなんだ内容を復習・定着させる。次回に向けて、計画をたてる。(3~5h)						
4	「就職試験・一般常識問題対策」(3) [課題(復習・予習)]本日まなんだ内容を復習・定着させる。次回に向けて、計画をたてる。(3~5h)						
5	「就職試験・一般常識問題対策」(4) [課題(復習・予習)]本日まなんだ内容を復習・定着させる。次回に向けて、計画をたてる。(3~5h)						
6	「就職試験・一般常識問題対策」(5) [課題(復習・予習)]本日まなんだ内容を復習・定着させる。次回に向けて、計画をたてる。(3~5h)						
7	「就職試験・一般常識問題対策」(6) [課題(復習・予習)]本日まなんだ内容を復習・定着させる。次回に向けて、計画をたてる。(3~5h)						
8	「就職試験・一般常識問題対策」(7) [課題(復習・予習)]本日まなんだ内容を復習・定着させる。次回に向けて、計画をたてる。(3~5h)						
9	「各進路希望に合わせた論作文(作文)対策」 基本的な書き方を学ぶ [課題(復習・予習)]論作文の基本的な書き方を復習する。個々の試験に向けて論作文に必要なテーマを考え、資料を集める。(3~5h)						
10	「各進路希望に合わせた論作文(作文)対策」 個々のテーマに合わせた添削 [課題(復習・予習)]本日学んだ内容を確認し、もう一度書き直す。(3~5h)						
11	「各進路希望に合わせた論作文(作文)対策」 個々のテーマに合わせた添削 [課題(復習・予習)]本日学んだ内容を確認し、もう一度書き直す。(3~5h)						
12	「各場面別面接対策」(個人・集団・討論) [課題(復習)]各面接の特徴や、対処の仕方をまとめ、練習を行う。(3~5h)						
13	「各場面別面接対策」(個人・集団・討論) [課題(復習)]各面接の特徴や、対処の仕方をまとめ、練習を行う。(3~5h)						
14	内定後にやること。就職準備。 [課題(復習)]本日まなんだ内容を復習・定着させる。次回に向けて、計画をたてる。(3~5h)						
15	筆記試験及び全体のまとめ(第1回~14回までの学修の確認と定着) [課題(復習)]筆記試験の省察と学んだ内容の総合的な復習を行う。(3~5h)						
時間外での学修	学修した問題や課題とされた問題を確実に自主学習し、内容の定着を図ってください。授業以外での学修の取組が将来の進路実現を可能にします。[この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:60時間]						

受講学生への メッセージ	音楽を活用する公務員や一般職への就職をめざして、採用試験を想定した論作文の学修や一般常識を中心とする就職試験の勉強方法について学びます。積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。 * 授業の順序や内容は、進度等の都合で変更されることがあります。 オフィスアワー：授業後教室にて。他の日時も応相談。
-----------------	--

【3S8S203】ヴォーカル		音楽総合学科		2年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	五島 由美子					
資格・制限等	特になし					
資格等						
実務家教員	声楽家48年、声楽指導45年、合唱指導31年					
授業方法	実技演習が中心ですが、曲の仕上げと共に小グループに分かれて、各自の問題点を指摘しながら演習成果を発表し、授業を展開していきます。					
到達目標	知識・理解	ヴォーカル ・ で学んだ技術が応用できる。				
	思考・判断・表現	曲に応じた表現が出来る。				
	技能	ピアノに合わせた的確に自分の音楽を伝達できる。				
	関心・意欲・態度	声楽の幅広いジャンルに進んで、研究・探索が出来る。				
備考	・ ・ の記号は、音楽総合学科のDP・到達目標との結びつきの強さを示しています。備考です。					
授業内容	ヴォーカル ・ で学修した声楽の基礎を応用し、音楽に人様な音楽表現を身に着けていく授業です。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	試験	10	20	15	5	50
	学修態度10	15	15	15	5	50
	合計(点)	25	35	30	10	100
評価の特記事項						
ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	グループワーク					
課題に対するフィードバック	童謡・唱歌がもたらす意義を説明する。後半においては世界各地の民謡、ミュージカルに及び、全体的に歌唱の重要性を説明する。					
テキスト	『女子音楽 カンターレ』音楽之友社 『イタリア歌曲集(中声用)』音楽之友社 『コンコーネ50番(中声用)』					
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	イタリア歌曲1 Sento nel core (課題) 母音と子音の練習をする。 1h				コンコーネ13	
2	イタリア歌曲2 Sento nel core (課題) 腹筋の訓練をする。 1h				コンコーネ14	
3	イタリア歌曲3 Sento nel core まとめ (課題) 各自の課題を見つけ、次への挑戦につなげる。 1h				コンコーネ13	
4	イタリア歌曲4 Gia il sole dal Gange (課題) イタリア語独自の発音の訓練をする。 1h				コンコーネ14	
5	イタリア歌曲5 Gia il sole dal Gange (課題) テンポを感じ、リズムを正確にとる訓練をする。 1h				コンコーネ14	
6	イタリア歌曲6 Gia il sole dal Gange (課題) 各自選曲し、個人レッスンをとする為の練習。 1h				コンコーネ14	
7	イタリア歌曲7 試演会 各自選曲した曲を披露する。(課題) 各自問題点を指摘し、次回につなげる。 1h				コンコーネ14	
8	日本歌曲1 赤とんぼ 日本語の意味を味わう。(課題) 歌詞を覚える。 1h				コンコーネ15	
9	日本歌曲2 赤とんぼ ピアノ合わせをする。(課題) ピアノ合わせでの問題点を解決する。 1h				コンコーネ15	
10	日本歌曲3 からたちの花 オクターブの跳躍練習をする。(課題) 母音唱、階名唱、ハミング等でオクターブ練習をする。 1h				コンコーネ16	
11	日本歌曲4 からたちの花 歌詞を味わう。(課題) 歌詞を味わいながら、気持ちを込めて歌う。 1h				コンコーネ16	
12	日本歌曲5 おぼろ月夜 唱歌の由来を知る。(課題) 歌詞を味わい、消火を知る限り挙げてみる。 1h				コンコーネ17	
13	日本歌曲6 おぼろ月夜 (課題) 景色、情景を思い浮かべながら歌う。 1h				コンコーネ17	
14	日本歌曲 個人レッスン 各自選曲した1曲をレッスンする。(課題) 試演会に向けて、各自選曲した曲を歌い込む。 1h				コンコーネ18	
15	日本歌曲 試演会 各自選曲した曲を試演する。(課題) 試験に向けて、試演会での反省点を克服する。 1h				コンコーネ18	
時間外での学修	日常から言葉の表現力を身に着けましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】					
受講学生へのメッセージ	身体表現ですので体調には十分気を付けましょう。 オフィスアワーは授業後教室にて。					

【3S8A204】ヴォーカル		音楽総合学科		2年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	五島 由美子						
資格・制限等	特になし						
資格等							
実務家教員	声楽家48年、声楽指導45年、合唱指導31年						
授業方法	個人レッスン・グループレッスンの中で、他学生の演奏を聴き合いながら言葉と音楽、身体表現と共に総合的に音楽を理解していきます。						
到達目標	知識・理解	ヴォーカル . . . で学んだ知識が応用できる。					
	思考・判断・表現	曲に応じた表現が出来る。					
	技能	ピアノに合わせて自己表現が出来る。					
	関心・意欲・態度	声楽を通して幅広い研究が出来る。					
	備考	. . . の記号は、音楽総合学科のDP・到達目標との結びつきの強さを示している備考です。					
授業内容	ミュージカルという声楽のジャンルを通し、音楽の表現力を高めます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	試験		10	20	15	5	50
	学修態度		10	20	15	5	50
	合計(点)		20	40	30	10	100
評価の特記事項	ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	グループワーク						
課題に対するフィードバック	楽譜の読み方と、曲に込められた内容を理解するまで解説します。						
テキスト	『コンコーネ50番(中声用)』 手持ち可						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	イタリア歌曲 1 ベッリーニ歌曲 1 レガート唱法の仕方 (課題) 母音で出来るだけレガートで唱する。 1h				コンコーネ19		
2	イタリア歌曲 2 ベッリーニ歌曲 2 母音でのレガートの仕方。 (課題) ア・エ・イ・オ・ウの母音の響きを整える。				コンコーネ19		
3	イタリア歌曲 3 ベッリーニ歌曲 3 試演会 (課題) お互いに聞き合い、課題点を見つける。				コンコーネ19		
4	イタリア歌曲 4 ドナウディ歌曲 1 テンポの変化に対応する。 (課題) テンポ感を曲想に応じてつかむ				コンコーネ20		
5	イタリア歌曲 5 ドナウディ歌曲 2 言葉の表現の仕方。 (課題) 言葉と音楽の捉え方を学ぶ。 1h				コンコーネ20		
6	イタリア歌曲 6 ドナウディ歌曲 3 (課題) 音楽の流れの中で、表現を身に着ける。 1h				コンコーネ20		
7	イタリア歌曲 7 イタリア歌曲まとめ。 相互に聞き合う。 (課題) これまで学修したイタリア歌曲から1曲を選択し歌い込む。 1h				コンコーネ21		
8	オペラアリア 1 モーツァルト「フィガロの結婚」より (課題) オペラのあらすじを勉強しておく。 1h		登場人物になりきる		コンコーネ22		
9	オペラアリア 2 モーツァルト「フィガロの結婚」より (課題) 役柄を踏まえ演じる。 1h		音楽と動作が一致する		コンコーネ22		
10	オペラアリア 3 モーツァルト「フィガロの結婚」より (課題) 相互に聞き合い、課題を見つけ解決する。		試演会		コンコーネ22		
11	オペラアリア 4 ブッチェーニ「ジャンニ・スキッキ」より (課題) オペラのあらすじを勉強しておく。		登場人物を知る。		コンコーネ23		
12	オペラアリア 5 ブッチェーニ「ジャンニ・スキッキ」より (課題) 役柄に応じた歌唱が出来るようにする。 1h		高音の歌唱を学ぶ。		コンコーネ23		
13	オペラアリア 6 ブッチェーニ「ジャンニ・スキッキ」より (課題) 歌と役柄が一致する。		試演会		コンコーネ23		
14	オペラアリア 7 各自1曲選択し、個人レッスン。 (課題) 課題を見つけ練習する。 1h				コンコーネ23		
15	オペラアリア 8 試演会 (課題) 試験に向けて課題を克服する。 1h				コンコーネ23		
時間外での学修	毎日発声の練習をして下さい。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】						
受講学生へのメッセージ	身体表現の授業です。健康には留意してください。 オフィスアワーは授業後教室にて。						

【3S8S207】ソルフェージュ		音楽総合学科		2年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	五島 由美子						
資格・制限等	特になし						
資格等	音療選択(音楽)						
実務家教員	声楽家48年、声楽指導45年、合唱指導31年						
授業方法	実技・実践を中心として基礎的な音楽知識の習得をしていきます。						
到達目標	知識・理解	音感、リズム感、和音感を身につけフレーズを理解し音楽活動の理解を養う。					
	思考・判断・表現	得られた知識を、実際の音楽の現場に対応できるものにする。					
	技能	音楽の専門家としての知識・理解の上に、音楽を通して人とコミュニケーションの能力がある。					
	関心・意欲・態度	常に自己資質の向上を目指し、積極的に音楽を通して人とコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	1年で学んだソルフェージュを更に展開させ、重唱を取り入れます。						
観点別評価	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	発表(グループ発表を含む)		20	10	20	5	55
	筆記試験		30	10	-	-	40
	受講態度		-	-	-	5	5
	合計(点)		50	20	20	10	100
評価の特記事項	ICT活用						
アクティブラーニングの活用	グループワーク						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして項目別確認テストの後、各人に個別に指示をします。						
テキスト	『コールユーブンゲン』大阪開成社 『コンコーネ50番(中声用)』全音楽譜出版社 『新曲視唱(中声用)』エー・ティー・エヌ 手持ち可						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	授業ガイダンス ソルフェージュ		を理解して臨む。		さらに高度な技術を学ぶ。コンコーネ7		
	コールユーブンゲンNo.46 新曲視唱 第3章No.21～No.30		聴音		聴音		
	[課題] コールユーブンゲンNo.48の予習とNo.46の復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
2	コールユーブンゲンNo.48 新曲視唱 第3章No.31～No.40		聴音		コンコーネ8		
	[課題] コールユーブンゲンNo.49の予習とNo.48の復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
3	コールユーブンゲンNo.49 新曲視唱 第3章No.61～No.70		聴音		コンコーネ9		
	[課題] コールユーブンゲンNo.50の予習とNo.49の復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
4	コールユーブンゲンNo.50 新曲視唱 第3章No.71～No.80		聴音		コンコーネ10		
	[課題] コールユーブンゲンNo.51の予習とNo.50の復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
5	コールユーブンゲンNo.51 新曲視唱 第3章No.81～No.90		聴音		到達度確認テスト コンコーネ11		
	[課題] コールユーブンゲンNo.53の予習とNo.51の復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
6	コールユーブンゲンNo.52 新曲視唱 第4章No.1～No.10		聴音		コンコーネ12		
	[課題] コールユーブンゲンNo.53の予習とNo.52の復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
7	コールユーブンゲンNo.53 新曲視唱 第4章No.11～No.20		聴音		コンコーネ13		
	[課題] コールユーブンゲンNo.54の予習とNo.53の復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
8	コールユーブンゲンNo.54 新曲視唱 第4章No.21～No.30		聴音		コンコーネ14		
	[課題] コールユーブンゲンNo.55の予習とNo.54の復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
9	コールユーブンゲンNo.55 新曲視唱 第4章No.31～No.40		聴音		コンコーネ15		
	[課題] コールユーブンゲンNo.56の予習とNo.55の復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
10	コールユーブンゲンNo.56 新曲視唱 第4章No.41～No.50		聴音		到達度確認テスト コンコーネ16		
	[課題] コールユーブンゲンNo.57の予習とNo.56の復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
11	コールユーブンゲンNo.57 新曲視唱 第4章No.51～No.60		聴音		コンコーネ17		
	[課題] コールユーブンゲンNo.58の予習とNo.57の復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
12	コールユーブンゲンNo.58 新曲視唱 第4章No.61～No.70		聴音		コンコーネ18		
	[課題] コールユーブンゲンNo.59の予習とNo.58の復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
13	コールユーブンゲンNo.59 新曲視唱 第4章No.111～No.120		聴音		コンコーネ19		
	[課題] コールユーブンゲンNo.59の復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
14	コールユーブンゲンまとめ 新曲視唱 第4章No.121～No.130		聴音		コンコーネ20		
	[課題] コールユーブンゲン2年前期の課題復習。		1h		新曲視聴復習 聴音の見直し		
15	コールユーブンゲンまとめ 新曲視唱 第4章No.131～No.140		聴音		到達度確認テスト コンコーネ21		
	[課題] コールユーブンゲン2年前期の課題復習。		1h				
時間外での学修	学修した課題を確実に理解すべく、毎日読譜練習をする事。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】						
受講学生へのメッセージ	演奏をするうえで、必要で大切な課目です。日々の練習を怠らないように。 オフィスアワーは授業後教室にて。						

【3S8A208】ソルフェージュ		音楽総合学科		2年後期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	五島 由美子					
資格・制限等	特になし					
資格等	音療選択(音楽)					
実務家教員	声楽家48年、声楽指導45年、合唱指導31年					
授業方法	実技・実践を中心として基礎的な音楽知識の習得・応用をしていきます。					
到達目標	知識・理解	調性を理解し、楽譜の基礎的な理解が出来る。				
	思考・判断・表現	音楽を楽譜からの確にとらえ、音楽的に表現する能力を身に付けることが出来る。				
	技能	音感・リズム感・和音感を身に付けることが出来る。				
	関心・意欲・態度	常に自己資質の向上を目指し、自身の音楽活動に活かす努力が出来る。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	2年次前期で学んだソルフェージュを更に展開させ、重唱を取り入れます。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	20	10	20	-	50
	筆記試験	20	-	20	-	40
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	40	10	40	10	100
評価の特記事項	ICT活用					
アクティブ・ラーニングの活用	グループワーク					
課題に対するフィードバック	フィードバックとして項目別確認テストの後、各人に個別に指示をします。					
テキスト	『コールユーブンゲン』大阪開成社 『コンコーネ50番(中声用)』全音楽譜出版社 『新曲視唱(1)』エー・ティー・エヌ 手持ち可					
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	コンコーネ22 コールユーブンゲン No.60・61 新曲視唱 第4章No.141～No.150 (課題) コールユーブンゲン No.62・No.63の予習とNo.60・61の復習 1h					
2	コンコーネ23 コールユーブンゲン No.62・63 新曲視唱 第4章No.151～No.160 (課題) コールユーブンゲン No.64・No.65の予習とNo.62・63の復習 1h					
3	コンコーネ24 コールユーブンゲン No.64・65 新曲視唱 第4章No.161～No.170 (課題) コールユーブンゲン No.66・No.67の予習とNo.64・65の復習 1h					
4	コンコーネ25 コールユーブンゲン No.66・67 新曲視唱 第4章No.171～No.180 (課題) コールユーブンゲン No.68・No.69の予習とNo.66・67の復習 1h					
5	コンコーネ26 コールユーブンゲン No.68・69 新曲視唱 第5章No.1～No.10 到達度確認テスト (課題) コールユーブンゲン No.70・No.71の予習とNo.68・69の復習 1h					
6	コンコーネ27 コールユーブンゲン No.70・71 新曲視唱 第5章No.11～No.20 (課題) コールユーブンゲン No.72・No.73の予習とNo.70・71の復習 1h					
7	コンコーネ28 コールユーブンゲン No.72・73 新曲視唱 第5章No.21～No.30 (課題) コールユーブンゲン No.74・No.75の予習とNo.72・73の復習 1h					
8	コンコーネ29 コールユーブンゲン No.74・75 新曲視唱 第5章No.31～No.40 (課題) コールユーブンゲン No.76・No.77の予習とNo.74・75の復習 1h					
9	コンコーネ30 コールユーブンゲン No.76・77 新曲視唱 第5章No.41～No.50 (課題) コールユーブンゲン No.78・No.79の予習とNo.76・77の復習 1h					
10	コンコーネ31 コールユーブンゲン No.78・79 新曲視唱 第5章No.61～No.70 到達度確認テスト (課題) コールユーブンゲン No.80・No.81の予習とNo.78・79の復習 1h					
11	コンコーネ32 コールユーブンゲン No.80・81 新曲視唱 第5章No.71～No.80 (課題) コールユーブンゲン No.82・No.83の予習とNo.80・81の復習 1h					
12	コンコーネ33 コールユーブンゲン No.82・83 新曲視唱 総復習 聴音 (課題) コールユーブンゲン No.84・No.85の予習とNo.82・83の復習 1h					
13	コンコーネ34 コールユーブンゲン No.84・85 新曲視唱 総復習 聴音 (課題) コールユーブンゲン No.86・No.87の予習とNo.84・85の復習 1h					

内容	
実施回	授業内容・目標
14	コンコーネ35 コールユープンゲン No.86・87 新曲視唱 総復習 聴音 (課題) コールユープンゲン 2年間の復習 1h
15	コンコーネ36 コールユープンゲン No.86・87 新曲視唱 総復習 聴音 到達度確認テスト (課題) コールユープンゲン 2年間の復習 1h
時間外での学修	毎回の授業で学んだ課題の復習、予習をしっかりと行うことがソルフェージュ上達を確実なものにします。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】
受講学生へのメッセージ	短大での学修の集大成です。日々の努力が大切です。 オフィスアワーは授業後教室にて。

【3S8S213】ポピュラー音楽史		音楽総合学科		2年後期		
		2単位	選択	講義	30時間	
教員	菅田 文子					
資格・制限等	特になし					
資格等	音療選択（音楽）					
実務家教員	音楽療法関連施設職員・5年、作編曲経験・25年					
授業方法	演習を交えた講義形式					
到達目標	知識・理解	ポピュラー音楽の歴史と各国の関連について知識を得る。				
	思考・判断・表現	各国のポピュラー音楽の歴史と特徴について述べるができる。				
	技能	楽曲分析ができるようになる。				
	関心・意欲・態度	テーマに沿った楽曲を探し、分析したうえで発表することができる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	ポピュラー音楽の成り立ち、欧米から日本への伝播を経たポピュラー音楽の現状を学ぶ。この授業では英国、米国、韓国、日本のポピュラー音楽についての歴史と関連について知識を得る。楽曲分析の方法を学び、様々な音楽スタイルについて知る。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	課題提出	20	20	20	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	発表	-	-	-	20	20
	合計(点)	20	20	20	40	100
評価の特記事項	授業の1/3欠席した者、課題の提出、発表がないものは期末試験の受験資格がありません。					
ICT活用	資料の検索にインターネットを活用します。課題をGoogle Formで提出してもらいます。					
アクティブ・ラーニングの活用						
課題に対するフィードバック	授業内でコメントします。					
テキスト	授業内でプリントを配布します。					
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ジャズの歴史と他ジャンルに与えた影響について [課題（復習）]授業で紹介したジャズの曲を1曲選び、作曲者、演奏者についてまとめる（4H）					
2	ロックの誕生：楽器の進化、エルヴィス・プレスリーとビートルズ [課題（復習）]ビートルズの曲を1曲選び、製作年、作曲者、曲のエピソードについてまとめる（4H）					
3	英国ロックの歴史：ロックギタリスト [課題（復習）]英国ロックミュージシャンの曲を1曲選び、作曲者、演奏者についてまとめる（4H）					
4	フォーク・ロック、サイケデリック・ロック、カントリー・ロック、ソフト・ロック [課題（復習）]今回紹介したジャンルの中から1曲選び、作曲者、演奏者についてまとめる（4H）					
5	ブルースとR&B、ソウルミュージック [課題（復習）]今回紹介したジャンルの中から1曲選び、作曲者、演奏者についてまとめる（4H）					
6	1980年代以降のポピュラー音楽 [課題（復習）]今回紹介したジャンルの中から1曲選び、作曲者、演奏者についてまとめる（4H）					
7	1990年代以降のポピュラー音楽 [課題（復習）]今回紹介したジャンルの中から1曲選び、作曲者、演奏者についてまとめる（4H）					
8	日本のポピュラー音楽 戦後から1980年代 [課題（復習）]今回紹介したジャンルの中から1曲選び、作曲者、演奏者についてまとめる（4H）					
9	日本のポピュラー音楽 1990年代から現代 [課題（復習）]今回紹介したジャンルの中から1曲選び、作曲者、演奏者についてまとめる（4H）					
10	K-POP 歴史 [課題（復習）]今回紹介したジャンルの中から1曲選び、作曲者、演奏者についてまとめる（4H）					
11	K-POP 現在 [課題（復習）]今回紹介したジャンルの中から1曲選び、作曲者、演奏者についてまとめる（4H）					
12	楽曲分析演習 コード進行 [課題（復習）]自分が分析する曲を選び、一番の終わりまでのCメロ譜を作成する（4H）					
13	楽曲分析演習 音楽スタイル [課題（復習）]自分が選んだ曲のスタイルについて類似の曲など傾向をまとめる。作曲者が影響を受けた他のミュージシャンについて調べる。（4H）					
14	楽曲分析演習 和声の分析 [課題（復習）]自分が選んだ曲の和声分析を行い、どこがユニークなのか、典型的な進行なのかを整理しまとめる（4H）					
15	まとめ、発表 [課題（復習）]レポート課題を仕上げる（4H）					
時間外での学修	各自が授業時間外で資料を検索、まとめるなどの作業が必要です。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】					
受講学生へのメッセージ	自分が好きな曲以外も系統立てて聴くことで自分の音楽の幅が広がります。積極的に聴取してください。オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週火曜日の13：00～14：30です。					

【3S3S206】鍵盤楽器		音楽総合学科		2年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	野口 歩						
資格・制限等	特になし						
資格等	音療選択(音楽)						
実務家教員							
授業方法	一人一人の進度に合った個人レッスンを行います。 レッスン時間までの待ち時間は、練習室で自主練習をしてください。						
到達目標	知識・理解	ピアノの基礎的な演奏技術や音楽知識を習得することができる。					
	思考・判断・表現	演奏する曲に対する思考力と表現力を自ら考え培うことができる。					
	技能	演奏技術の向上ができる。					
	関心・意欲・態度	各専門分野に役立てていけるよう、意欲的に取り組むことができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	1年次で基礎的な演奏技術や知識を習得したことをもとに更に発展させていきます。 演奏を通し自己の内面や感性を磨き表現力豊かな音楽を作り出せるように。そして、各々の専門分野に結び付け役立てていけるようにしていきます。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		-	30	30	-	60
	受講態度		20	-	-	20	40
	合計(点)		20	30	30	20	100
評価の特記事項	受講態度は課題の取り組み状況を含みます。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	曲の選択、課題の取り組み等を学生の判断に委ねます。						
課題に対するフィードバック	課題の学修成果に対するコメントは、レッスン中に随時伝えます。						
テキスト							
参考書・教材	個々に合わせて選択します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス・一人一人、次回からの練習曲を選曲 [課題(準備・予習)]次回からの練習曲の譜読みをする(1h)						
2	練習曲(1)テクニック練習 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、テクニックを付ける(1h)						
3	練習曲(2)部分練習 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、片手奏や部分練習を十分に行う(1h)						
4	練習曲(3)音楽表現 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、音の強弱やフレーズを考えて演奏する(1h)						
5	練習曲(4)曲想 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、曲のイメージを自ら創造する(1h)						
6	練習曲(5)弾き込み [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、曲の流れを考えて反復練習する(1h)						
7	練習曲(6)仕上げ [課題(復習)]レッスンの復習をし、曲をまとめる(1h)						
8	練習曲(7)試験曲の選曲・譜読み [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、譜読みをする(1h)						
9	練習曲(8)指使い・片手奏 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、片手奏や部分練習を行う(1h)						
10	練習曲(9)フレージング・テンポ [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、曲にふさわしいフレージングやテンポを付ける(1h)						
11	練習曲(10)曲想 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、音楽の流れや響きを考える(1h)						
12	練習曲(11)暗譜 [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、暗譜を丁寧にする(1h)						
13	練習曲(12)弾き込み [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、曲の流れをとらえて止まらず演奏できるように弾き込む(1h)						
14	練習曲(13)仕上げ [課題(予習・復習)]レッスンの復習をし、仕上げる(1h)						
15	練習曲(14)学習成果発表・まとめ [課題(復習・準備)]音楽性を高めまとめる・休暇中の課題決め(1h)						
時間外での学修	レッスンで習得したことを改善できるように日々の練習の積み重ねが大切であるとともに、様々な音楽に興味を持ち知識を得られるように心がけましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】						
受講学生へのメッセージ	ピアノの演奏を通し各々の専門分野に結び付け役立てていけるよう目標を持って取り組みましょう。 オフィスアワーは授業前後の休み時間に教室で実施。						

【3S3A207】鍵盤楽器		音楽総合学科		2年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	野口 歩						
資格・制限等	特になし						
資格等	音療選択(音楽)						
実務家教員							
授業方法	一人一人の進度に合った個人レッスンを行います。 レッスン時間までの待ち時間は、練習室で自主練習をしてください。						
到達目標	知識・理解	ピアノの基礎的な演奏技術や音楽知識を習得できる。					
	思考・判断・表現	演奏する曲に対する思考力と・表現力を自ら考え培うことができる。					
	技能	演奏技術の向上ができる。					
	関心・意欲・態度	各専門分野に役立てていけるよう、意欲的に取り組むことができる。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	1年次で基礎的な演奏技術や知識を習得したことをもとに更に発展させていきます。 演奏を通し自己の内面や感性を磨き表現力豊かな音楽を作り出せるように。そして、各々の専門分野に結び付け役立てていけるようにしていきます。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		-	30	30	-	60
	受講態度		20	-	-	20	40
	合計(点)		20	30	30	20	100
評価の特記事項	受講態度は課題の取り組み状況を含みます。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	曲の選曲、課題の取り組み等は学生の判断に委ねます。						
課題に対するフィードバック	課題の学修成果に対するコメントは、レッスン中に随時伝えます。						
テキスト							
参考書・教材	個々に合わせて選択します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	練習曲(1) 休憩中の課題発表・見直し [課題(復習・準備)] レッソンの復習をし、休憩中の課題の見直しをし、次回からの練習曲を選曲(1h)						
2	練習曲(2) 譜読み [課題(予習・復習)] レッソンの復習をし、選曲した練習曲の譜読みをする(1h)						
3	練習曲(3) 部分練習 [課題(予習・復習)] レッソンの復習をし、片手奏や部分練習を十分に行う(1h)						
4	練習曲(4) フレージング [課題(予習・復習)] レッソンの復習をし、音の強弱やフレーズを考えて演奏する(1h)						
5	練習曲(5) 曲想 [課題(予習・復習)] レッソンの復習をし、楽語の意味を理解し曲想をつける(1h)						
6	練習曲(6) テンポ [課題(予習・復習)] レッソンの復習をし、楽曲にふさわしいテンポにする(1h)						
7	練習曲(7) 音色作り [課題(予習・復習)] レッソンの復習をし、楽曲にふさわしい音色をイメージして創り出す(1h)						
8	練習曲(8) 試験曲の部分練習 [課題(予習・復習)] レッソンの復習をし、演奏するにあたり困難なところを重点的に部分練習する(1h)						
9	練習曲(9) フレージング・バランス [課題(予習・復習)] レッソンの復習をし、フレーズの確認と左右の音のバランスを考える(1h)						
10	練習曲(10) 音楽表現 [課題(予習・復習)] レッソンの復習をし、豊かな音楽表現をつける(1h)						
11	練習曲(11) 暗譜 [課題(予習・復習)] レッソンの復習をし、暗譜を丁寧にする(1h)						
12	練習曲(12) 確実な暗譜 [課題(予習・復習)] レッソンの復習をし、楽譜の再確認と暗譜を確実にする(1h)						
13	練習曲(13) 弾き込み [課題(予習・復習)] レッソンの復習をし、曲の流れを止めずに演奏できるようにする(1h)						
14	練習曲(14) 仕上げ [課題(予習・復習)] レッソンの復習をし、何度も繰り返し練習する(1h)						
15	練習曲(15) まとめ [課題(復習)] これまでに習得した演奏技術や音楽表現を活かした演奏ができるようにする(1h)						
時間外での学修	レッスンで習得したことを改善できるように日々の積み重ねが大切であるとともに、様々な音楽に興味を持ち知識を得られるように心がけましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】						
受講学生へのメッセージ	ピアノの演奏を通し、各々の専門分野に結び付け役立てていけるよう目標を持って取り組みましょう。 オフィスアワーは授業前後の休み時間に教室で実施。						

【3S8S216】作譜		音楽総合学科		2年後期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	小林 聡					
資格・制限等	特になし					
資格等	音療選択（音楽）					
実務家教員	大学非常勤講師・20年、演奏家・36年、作編曲家・23年					
授業方法	楽譜作成ソフトFinale2014を使用してコンピュータによる楽譜の作成を実習します。Finale2014に付属のチュートリアルに沿って簡単なスコアの浄書を行います。ピアティーチングを行い相互の理解度を高めます。					
到達目標	知識・理解	Finaleの機能と操作方法を理解する。				
	思考・判断・表現	楽譜に合った機能を正しく選択できる判断力を養う。				
	技能	Finaleの機能を覚え、適切な操作で楽譜を作成できること。				
	関心・意欲・態度	楽譜の浄書から発展し、オリジナルな作品を生み出す潜在性を知る。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	Finale2014のチュートリアルを一通り行い機能と操作方法を覚えていきます。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	作品提出	50	10	20	-	80
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計(点)	50	10	20	20	100
評価の特記事項	理解の達成度と問題解決への意欲を重視します。					
ICT活用	操作方法等への質疑応答。					
アクティブ・ラーニングの活用	PCを使用した実際の作業、ピアティーチングによる習熟度の相互確認。					
課題に対するフィードバック	操作方法の疑問に応え目的への道筋を明瞭に示します。					
テキスト						
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	Finaleの設定、起動[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
2	新規ファイル作成、ステップ入力（1）：音符・休符入力の基本手順[課題（復習）]学んだことの復習移調の練習（1h）					
3	ステップ入力（2）：臨時記号の入力、和音と2声部、コピー&ペースト、連符[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
4	プレイバック、発送記号の入力、アーティキュレーションの入力、スラーの入力[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
5	高速ステップ入力（1）：音符の入力、タイ、和音の入力、休符、臨時記号[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
6	高速ステップ入力（2）：音価の変更、音程の変更、編集枠を間違えたら、連符[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
7	サクソカルテットの楽譜を作ってみよう。1：複数の小説を選択するには、画面外にコピーをするには、小節の追加、削除挿入。調の変更。拍子の変更、弱起の設定。[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
8	サクソカルテットの楽譜を作ってみよう。2：小節線の種類をかえるには。小節の幅を変えるには。終始線を普通の小節線にするには。反復記号。[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
9	金管五重奏の楽譜を作ってみよう。1：発送記号の作成、アーティキュレーションの一括割り付け、スラーの微調整、[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
10	金管五重奏の楽譜を作ってみよう。2：レイアウト、ページのサイズ[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
11	ドラムの楽譜を作ってみよう。1：ハイハット、スネアドラム、バスドラム[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
12	ドラムの楽譜を作ってみよう。2：仕上げ[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
13	吹奏楽の楽譜を作ってみよう。1：これまで学んだことのまとめ。[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
14	吹奏楽の楽譜を作ってみよう。2：これまで学んだことのまとめ。[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
15	吹奏楽の楽譜を作ってみよう。3：これまで学んだことのまとめ。パート譜の作成[課題（復習）]学んだことの復習（1h）					
時間外での学修	授業では教室に備え付けのPCを使用します。時間外には配布したチュートリアルマニュアルを見ながらイメージトレーニングをしましょう。【この科目で求める望ましい授業外で総学修時間：15時間】					

受講学生への メッセージ	Finaleは世界中で最も使われている楽譜作成ソフトウェアです。あらゆるジャンルの音楽の楽譜を作成することができます。吹奏楽のスコアとパート譜を作る基本を学びながらスコアを身近なものと感じることができるようになります。オフィスアワーは授業前後の休み時間に教室で実施します。
-----------------	--

【3T7F202】スポーツ・レクリエーション		音楽総合学科		2年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	松岡 邦明					
資格・制限等	特になし					
資格等	レク（音楽）					
実務家教員	NPO法人岐阜県レクリエーション協会事務局次長6年（2014年～2020年）、（一社）岐阜県レクリエーション協会ミナレク運動担当次長3年（2021年～）、岐南町レクリエーション協会理事長5年（2018年～）幼稚園教諭7年					
授業方法	内容に合わせて、教室を使った講義形式と、体育館を利用したレクリエーション実技・演習を行います。講義・実技共に、指導者としての役割を学ぶために「ロールプレイ」「グループ討議」「発表」の形式を交えます。授業内容によっては、ICTを活用した課題や自己評価提出等フィードバックを行っています。					
到達目標	知識・理解	レクリエーション活動の理論に裏付けられた支援技術を理解する				
	思考・判断・表現	場面や個々の特性に応じたレクリエーション活動を創作できる。				
	技能	支援技術の方法を効果的に利用し、レクリエーション活動が提供できる。				
	関心・意欲・態度	レクリエーション活動を通じ、様々な場面で誰とでも笑顔でふれあうコミュニケーションを意識できる。				
授業内容	岐阜県と岐阜県レクリエーション協会が推進している県民皆が1つはレクリエーションを行い、体・心・頭の健康を増進させ、健康長寿につなげる「ミナレク運動」について学ぶ。レクリエーション活動を通じ、対象者が自主的・主体的に行える心の仕組み、技術の支援方法を理解し、アプローチできる力を身につけていきます。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	小レポート	-	20	-	-	20
	発表	-	-	20	-	20
	自己評価	10	-	-	-	10
	受講態度	-	-	-	50	50
合計(点)	10	20	20	50	100	
評価の特記事項						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援（ポータルサイトなど）状況に応じてICTを活用した双方向型授業					
アクティブ・ラーニングの活用	グループワーク等を通して特定の課題に対する意見交換を行い課題を解決していく。					
課題に対するフィードバック	授業時間外課題は、次回以降の授業で紹介しコメントする。					
テキスト	『「楽しさをおとした心の元気づくり/レクリエーション支援の理論と方法」』（公財）日本レクリエーション協会 受講者は購入済み					
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション 「レクリエーション・インストラクター」資格取得理解 ・生涯にわたる運動習慣の重要性がわかり、「新型コロナウイルス感染予防に留意した運動の在り方」と「レクリエーション概論」を振り返る。具体的なレクリエーション活動について、「ぎふ清流レクリエーションフェスティバル」の概要を理解し、レクリエーション活動の実際について学ぶ。 「ミナレク運動」についても理解する。 [課題（復習）]（1h）「レクリエーションフェスティバル」の概要をまとめる。					
2	自主的・主体的に楽しむ力を高める展開方法（実技） アイスブレイキングゲームを中心の展開を実施。レクリエーションを展開する中で、心の解きほぐしができていくのを実感できる。 [課題（復習）]（1h）心の解きほぐしがどんなところで感じられたかを既習の理論と照らし合わせて考える					
3	信頼関係づくりの理論 ・レクリエーション支援におけるコミュニケーションの方法や信頼関係づくりの方法を学ぶ。 [課題（復習）]（1h）レクリエーション支援におけるホスピタリティをどのように表していくと良いかまとめる。					
4	良好な集団作りの理論 ・レクリエーションを通じた良好な集団作りを目指し、集団内のコミュニケーションが段階的にすすめられることを理解する。 [課題（予習）]（1h）これまでの生活の中で「居心地の良い集団」「居心地のよかったのはなぜ？」また、「居心地のよくない集団」「居心地のよくなかったのはなぜ？」を振り返ってみる。					
5	自主的・主体的に楽しむ力を育む（理論） 自主的・主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開法における支援技術やCSSプロセスの活用方法を学ぶ。 [課題（復習）]（1h）CSSプロセスの場面を意識した保育実習活動を実践する。					
6	自主的・主体的に楽しむ力を高める展開方法（実技） 「モルック」を通じて、目標設定と言葉や表情の活用方法の一体的な実践方法を学ぶ。 [課題（復習）]（1h）「モルック」の指導展開について既存学習で振り返る。					
7	レクリエーション活動の習得（実技） 「運動あそび」を体験し、現場ですぐ活用できるレクリエーションを学ぶ。 [課題（復習）]（1h）「運動あそび」についての指導展開について既存学習で振り返る。					
8	レクリエーション活動の習得（実技） 「ポッチャ」を体験し、目標をもった練習が主体的な取り組みにつながることを体感しながら投球の技術を身につける。ゲームルールを理解し、頭脳と投球の技術を駆使したゲーム展開を楽しむ。 [課題（課題）]（1h）「ポッチャ」のルールについて					

内容	
実施回	授業内容・目標
9	レクリエーション活動の習得（実技） 「ラダーゲッター」の道具の持つ特性がわかる。投球練習を工夫することで、「やる気」を引き出すことを体感し、投球技術を磨く。ゲームルールを理解し、勝敗を楽しむ。 [課題（課題）]（1h）「ラダーゲッター」のルールについて
10	レクリエーション活動の習得（実技） 「グラウンド・ゴルフ」のルールを理解し、練習・ゲーム・審判を体験する。 [課題（復習）]（1h）「グラウンド・ゴルフ」のルールを振り返る
11	レクリエーション活動の習得（実技） ・「伝承遊び」マンカラについて理解し、体験する。 ・「清流の国」文化祭2024についても理解し、伝承遊びにふれる。 [課題（復習）]（1h）「伝承遊び」について振り返る
12	レクリエーション活動の習得（理論） ・「ぎふ清流レクリエーションフェスティバル」においての種目がどのような種目が良いのか、自分なりの考えをまとめる。 [課題（復習）]（1h）選択したアクティビティにおいて支援技術や目標設定を意識した支援ができる。
13	リスクマネジメントの方法 ・安全管理 レク活動に伴うさまざまな危険を最小限におさえる方法について [課題（復習）]（1h）レク活動を行う際の安全管理について
14	ぎふ清流レクリエーションフェスティバルについて ・ぎふ清流レクリエーションフェスティバルin岐阜会場において1つのレク体験コーナーを企画・運営する。グループワーク等を取り入れ、情報共有を行い、自主的・主体的に活動できる企画立案・ブース運営について学ぶ。 [課題（復習）]（1h）演習発表できるように準備をすすめる
15	ぎふ清流レクリエーションフェスティバルについて「リハーサル」 ・企画発表・ブース運営について 小レポート「感想」 ・スポーツ・レクリエーション を学んで感じたこと、今後どのように活かしていきたいかなど。 [課題（復習）]（1h）自己評価と発表者への評価
時間外での学修	(一社)岐阜県レクリエーション協会や市町村レクリエーション協会主催事業に積極的に参加。現場でスタッフや参加者として関わり、社会貢献の実践を体験する。 毎時間の課題（15h）
受講学生へのメッセージ	服装はTPOに合わせる事が大切です。学習内容に合わせたふさわしい服装を心がけてください。現場での実践につながるよう明るい笑顔で、楽しんで積極的に授業に参加してください。挨拶は基本です。授業内容が会場・物品の都合で前後することもあります。オフィスアワーは、授業後10分間とします。

【3T7F203】スポーツ・レクリエーション		音楽総合学科		2年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	日比 千穂						
資格・制限等	特になし						
資格等	レク(音楽)						
実務家教員	NPO法人岐阜県レクリエーション協会理事9年(2013年~2021年) 社団法人岐阜県レクリエーション協会理事3年(2021年~) NPO法人大垣市レクリエーション協会理事長7年(2015年~) 理事・事務局長5年(2002年~2007年) 大垣市自立支援教室指導員2年(2006年度・07年度) 岐阜県公立小学校教諭6年						
授業方法	内容に合わせて、教室を使った実技・演習、体育館・屋外を利用したレクリエーション実技・演習を行います。講義・実技共に、指導者としてのやりくりを学ぶため、「ロールプレイ」「グループ討議」「発表」の形式を交えます。授業内容によっては、ICTを活用した遠隔授業や自己評価提出、質問等も受付、学習状況を確認し、フィードバックを行います。						
到達目標	知識・理解	年齢や体力・技能を考慮した活動を理解する。					
	思考・判断・表現	集団の特性を生かした指導計画を作成できる。					
	技能	ゲームの特性を理解し、楽しいの伝達ができる。					
	関心・意欲・態度	積極的に関わり合いを持ち、社会に貢献する姿となることができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	健康への関心は、高まっています。適度な運動は、心の開放、体力維持・増進につながります。レクリエーションを学ぶことで、理論的にも技術的にもコミュニケーション力を高める方法が習得できます。そして、対象者に合わせた自主主体的なやる気を引き出せる企画・プログラムを実践できる力としていきます。目的に合わせたゲームやニュースポーツを中心に実践し、アクティビティに関する知的理解と指導法の修得について学び、実践できる指導者をめざします。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		5	-	5	10	20
	自己評価(毎回)		10	-	10	-	20
	受講態度		-	10	-	20	30
	レポート(2回)		-	10	-	-	10
	発表(グループ発表含む)		5	-	5	10	20
合計(点)		20	20	20	40	100	
評価の特記事項	フィードバックとして、小テストやレポート提出後、解答の解説やコメントを行います。						
ICT活用	ICTを活用した自主学習支援(ポータルサイトなど) 状況に応じてICTを活用した双方向型授業						
アクティブラーニングの活用	グループ・ディスカッション、グループワーク						
課題に対するフィードバック	授業時間外課題は、次回以降の授業で紹介コメントする						
テキスト	『楽しさをとおした心の元気づくり』(公財)日本レクリエーション協会(1,800円)ISBN:978-4-931180-95-6 「スポーツ・レクリエーション」受講者は購入済み						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	レクリエーション支援の実施1プログラム(清流レクリエーションフェスティバル担当種目のプログラム作成と演習) ・レクリエーションの活動のアレンジやコミュニケーション技術を学び、活用し、参加者がより主体的に参加できる声掛けを意識したロールプレイングを行う。 [課題(復習)]段階的なアレンジがどのようなことに気を付けておこなうとよいかまとめる(1h)						
2	現場実習-スタッフ参加 10月1日(日)[岐阜県ぎふ結のもり]清流レクリエーションフェスティバル ・レクリエーション協会加盟団体によるレクリエーション活動の実際を知る。 [課題(復習)]軽スポーツについて振り返る。(1h)						
3	現場実習-スタッフ参加 10月1日(日)[岐阜県ぎふ結のもり]清流レクリエーションフェスティバル ・レクリエーション協会や種目団体による活動支援を体感する。 [課題(復習)]参加者の方々の様子や、それにかかわる一般ボランティアの方々の様子で気づいたことをまとめる。(1h)						
4	レクリエーション支援の実施2支援実施 10月1日(日)[岐阜県ぎふ結のもり]清流レクリエーションフェスティバル ・参加者が気持ちよく参加でき、また、参加者・スタッフ共に安全配慮に十分注意した活動を行うことができる。 [課題(予習)]担当コーナーの準備確認・リスクマネジメントの視点を持って配布物確認(時間・トイレ・手洗い場所・休憩場所・飲食場所・救護場所など)(1h)						
5	レクリエーション支援の実施3支援実施 10月1日(日)[岐阜県ぎふ結のもり]清流レクリエーションフェスティバル ・打ち合わせや準備を活かし、参加者とのコミュニケーションをとり、励まみや共感を言葉がけを意識し、心地よい場の提供できるホスピタリティーあふれる対応を目指す。 [課題(復習)][清流レクリエーションfestival]報告書作成次回提出(1h)						
6	レクリエーション支援の実施4 評価及び改善 グループワーク・プログラムを用いて、清流レクリエーションフェスティバルを振り返る。反省会を持ち、それぞれのグループのこれまでの活動発表を準備する。 [課題(復習)]発表の担当の部分をもとめ、準備する。(1h)						
7	レクリエーション支援の実施5 プログラム立案(実技演習の立案・評価・改善) ・生涯スポーツを通して学んだコミュニケーション技術や支援技術、アレンジ法を一体的に実施できる実技演習のプログラムを立案する。 [課題(復習)]プログラムで担当となった部分を技法や理論を盛り込んで発表できるようにする。(1h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
8	モデル・プログラムの実施（ネイチャーゲーム） ・野外活動で「生きる」を学ぶ目的としたゲームの中で、虫や植物たちの自然の中で生きる力を感じるプログラムを体験する。 [課題（復習）]「わかちあう」についてまとめる。（1h）
9	モデルプログラムの実施（キンボール） ・キンボールを体験しながら、導入から展開まとめまでの一連の流れの中で、自主的主体的にレクリエーション活動を進める、技法や理論を振りえる。 [課題（復習）]本時での実技と技法・理論について振り返り、今後の活用方法をまとめる。（1h）
10	モデルプログラムn実施（伝承遊び） ・「歌遊び」「手遊び」「グループあそび」や日本の文化の中でできた昔あそびを知り、遊びを選択して楽しめる場の作り方を学ぶ。 [課題（復習）]練習をして、現場で「私のできます」を習得する。（7h）
11	モデル・プログラムの実施（ネイチャーゲーム） ・室内でできる自然への興味関心を引き出すことを目的としたゲームの中で、虫や植物たちの自然の中で生きる力を感じるプログラムを体験する。 [課題（復習）]「フロー・ラーニング」について、まとめる。（1h）
12	レクリエーション支援の実施6 プログラム立案（実技演習の立案・評価・改善） ・生涯スポーツを通じて学んだコミュニケーション技術や支援技術、アレンジ法を一体的に実施できる実技演習のプログラムを立案する。 [課題（復習）]プログラムで担当となった部分を技法や理論を盛り込んで発表できるようにする。（1h）
13	レクリエーション支援の実施7 科目終了判定（コミュニケーション・ゲームの評価・改善）実技演習Aグループ ・学生を参加者に見立てて、実際のプログラムを展開する。 [課題（復習）]コミュニケーション・ゲームについて振り返りをする。（1h）
14	レクリエーション支援の実施8 科目終了判定（コミュニケーション・ゲームの評価・改善）実技演習Bグループ ・学生を参加者に見立てて、実際のプログラムを展開する。 [課題（復習）]コミュニケーション・ゲームについて振り返りをする。（1h）
15	レクリエーション支援の実施9 科目終了判定（コミュニケーション・ゲームの評価・改善）実技演習Cグループ ・学生を参加者に見立てて、実際のプログラムを展開する。 [課題（復習）]コミュニケーション・ゲームについて振り返りをする。（1h）
時間外での学修	【この科目で求められる望ましい授業外での総学修時間：18時間】 （特非）岐阜県レクリエーション協会（特非）大垣市レクリエーション協会など地域レクリエーション協会主催事業に積極的に参加。市民活動事業の現場でスタッフや参加者として関わり、社会貢献の実践を体験する（事前に参加手続きを各自で行なう）。参加報告提出すること（3h）
受講学生へのメッセージ	スポーツ要素を多く含む激しい動きもあります。活動しやすい服装（体育館シューズ必・スカート不可）で積極的に参加し、現場での実践につながるよう明るい表情やわかりやすい表現方法を学んでいきます。体育館の利用状況や種目道具の使用状況で授業内容の入れ替えがあります。オフィスアワーは、授業後10分間とします。

【3S8F214】和太鼓		音楽総合学科		2年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	藤井 久美子					
資格・制限等	MTコース必修					
資格等	音療選択(音楽)					
実務家教員	高等学校音楽非常勤講師(30年)					
授業方法	ペアを組みお互い向かい合っ一つ太鼓を打ち合い指導教員の打ち方を見ながら打法等を身につける。					
到達目標	知識・理解	和太鼓の歴史や太鼓の種類、打法についての必要な知識を身につけることができる。				
	思考・判断・表現	その曲に適した打法や躍動感のある表現能力を身につけることができる。				
	技能	和太鼓をしっかりと打ち込み、正しいリズム感や拍子感を身につけることができる。				
	関心・意欲・態度	意欲的に練習して、仲間とアンサンブルを楽しむことができる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	まず和太鼓を打つことで、日本の伝統音楽の響きに慣れ豊かなリズム感や拍子感を養い、楽しい遊びや豊かな身体表現ができるようになり、和楽器のアンサンブルを楽しみ即興演奏や即興伴奏ができるまでの音楽的能力を養いたい。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	5	5	50	-	60
	ステージ発表	-	5	10	5	20
	創作(作曲)	-	5	5	-	10
	受講態度	-	-	-	10	10
合計(点)	5	15	65	15	100	
評価の特記事項	受講態度は、学修への取組状況、ステージ発表等から総合的に評価します。フィードバックとして演奏発表後に演奏内容についてコメントします。					
ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	グループ練習やペア練習をすることで、対話のある空間を作り、他者と交わる中で発見したり、考えたり、工夫したり、自分達で音楽を作っていく経験を味わう。					
課題に対するフィードバック	フィードバックとして演奏発表後、演奏内容についてコメントします。授業時間外課題については、次回以降の授業で紹介しコメントします。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	必要な楽譜は配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	日本太鼓の歴史と鼓動・種類・知識 ムチャクチャ乱打、握りが決めて パチに慣れよう [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
2	日本太鼓の打法・太鼓の楽譜に慣れよう 唱歌演奏 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
3	基礎練習 基本リズムに慣れよう [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
4	基礎練習 やさしい・楽しい・美しいわらべ歌で遊ぼう [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
5	基礎練習 やさしい・楽しい・美しいわらべ歌で遊ぼう [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
6	和楽器のアンサンブル練習 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
7	和楽器のアンサンブル練習 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
8	和楽器による即興演奏への導入 和楽器のアンサンブルと即興演奏・和太鼓作曲 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
9	オリジナル曲()練習 セット打ち 唱歌演奏 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
10	オリジナル曲()練習 リズム練習 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
11	オリジナル曲()練習 構え・打ち込み [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
12	オリジナル曲()練習 パチさばき・打ち込み [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
13	オリジナル曲()練習 音の表現・打ち込み [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
14	オリジナル曲()練習 身体表現・打ち込み [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
15	オリジナル曲()まとめ 発表会 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)					
時間外での学修	毎日のストレッチと授業で行ったオリジナル曲の見直し練習。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】					
受講学生へのメッセージ	誰でも叩けば音が出る和太鼓。でも打ち方は千差万別。自分がイメージした音を自由にさせる楽器です。とにかく力を抜いてリラックスして自分の音を追及してみてください。 オフィスアワーは、授業前後の休み時間に教室で実施。					

【3S8F215】和太鼓		音楽総合学科		2年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	藤井 久美子						
資格・制限等	MTコース必修						
資格等	音療選択(音楽)						
実務家教員	高等学校音楽非常勤講師(30年)						
授業方法	ペアを組みお互い向かい合っ一つの太鼓を打ち合い指導教員の打ち方を見ながら打法等を身につける。						
到達目標	知識・理解	和太鼓の歴史や太鼓の種類、打法についての必要な知識を身につけることができる。					
	思考・判断・表現	その曲に適した打法や躍動感のある表現能力を身につけることができる。					
	技能	和太鼓をしっかりと打ち込み、正しいリズム感や拍子感を身につけることができる。					
	関心・意欲・態度	意欲的に練習して、仲間とアンサンブルを楽しむことができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	まず和太鼓を打つことで、日本の伝統音楽の響きに慣れ豊かなリズム感や拍子感を養い、楽しい遊びや豊かな身体表現ができるようになり、和楽器のアンサンブルを楽しみ即興演奏や即興伴奏ができるまでの音楽的能力を養いたい。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		5	5	50	-	60
	ステージ発表		-	5	10	5	20
	創作(作曲)		-	5	5	-	10
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		5	15	65	15	100
評価の特記事項	受講態度は、学修への取組状況、ステージ発表等から総合的に評価します。フィードバックとして演奏発表後に演奏内容についてコメントします。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	グループ練習やペア練習をすることで、対話のある空間を作り、他者と交わる中で発見したり、考えたり、工夫したり、自分達で音楽を作っていく経験を味わう。						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして演奏発表後、演奏内容についてコメントします。授業時間外課題については、次回以降の授業で紹介しコメントします。						
テキスト	ありません。						
参考書・教材	必要な楽譜は配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	基礎練習 基本リズムをこなそう [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
2	和楽器のアンサンブルと即興演奏 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
3	和楽器のアンサンブルと和太鼓譜作曲 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
4	オリジナル曲()練習 ペアのアンサンブル曲『風の舞』 第一部リズム練習 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
5	オリジナル曲()練習 第二部リズム練習 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
6	オリジナル曲()練習 第三部リズム練習 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
7	オリジナル曲()練習 全体通しリズム練習 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
8	オリジナル曲()練習 構え・打ち込み [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
9	オリジナル曲()練習 パチさばき・打ち込み [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
10	オリジナル曲()練習 音の表現・打ち込み [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
11	オリジナル曲()練習 身体表現・打ち込み [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
12	オリジナル曲()練習 三宅打ち リズム練習 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
13	オリジナル曲()練習 構え・打ち込み [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
14	オリジナル曲()練習 パチさばき・打ち込み [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
15	オリジナル曲()まとめ 発表会 [課題(復習)]学んだ内容を復習する(1h)						
時間外での学修	毎日のストレッチと授業で行ったオリジナル曲の見直し練習。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】						
受講学生へのメッセージ	誰でも叩けば音が出る和太鼓。でも打ち方は千差万別。自分がイメージした音を自由に出せる楽器です。とにかく力を抜いてリラックスして自分の音を追及してみてください。 オフィスアワーは、授業前後の休み時間に教室で実施。						

【3T7S108】社会福祉		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	川島 民子						
資格・制限等	MTコース必修						
資格等	音療選択（音楽）、社会福祉主事（音楽）						
実務家教員	特別支援学校教員25年						
授業方法	講義、ビデオ視聴、授業のテーマに沿ったグループディスカッション等で進めていきます。活動後の振り返りやレポートにより、個別に返答、もしくは全体の場でフィードバックを行います。						
到達目標	知識・理解	社会福祉の課題と施策について基本的な知識をもち、理解できる。					
	思考・判断・表現	社会福祉の課題に対する対応について、得られた知識をもとに、思考・判断・表現できる。					
	技能	社会福祉の現場で必要とされる専門的な技能を身につけることができる。					
	関心・意欲・態度	社会福祉の課題や対応について関心をもち積極的に学ぶことができる。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	少子化、貧困が社会福祉の大きな課題です。どのような施策や制度、人材によって支えられているかを学び、高齢者福祉、障がい者福祉についても学んでいきます。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		40	30	-	-	70
	レポート		-	10	5	-	15
	受講態度		-	-	-	15	15
	合計(点)		40	40	5	15	100
評価の特記事項	講義が中心になりますが、筆記試験だけではなく、日頃の振り返りやレポートからも評価します。受講態度は、出席状況とともに学修への取組や提出物の状況などからも評価します。						
ICT活用	社会福祉に関する動画映像の視聴や、調べ学習を通して理解を深めます。						
アクティブ・ラーニングの活用	テーマに関する内容について、調べ学習やグループ協議、発表を行うことによって主体的・対話的に学修に向かえるようにします。						
課題に対するフィードバック	授業後の振り返りから、個別に返答、または全体の場でフィードバックを行います。						
テキスト							
参考書・教材	必要な資料はその都度配付します						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	オリエンテーション 講義で大事にしたいこと、授業の進め方、学修評価等について						
2	社会福祉とわたしたち：わたしたちの生活に社会福祉がどのように関わっているか学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
3	社会福祉の歴史：日本の福祉についてこれまでの歩みについて学ぶ。 [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
4	社会福祉の現代的課題：現代の生活課題について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
5	社会福祉の行政機関：社会福祉の公的機関について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
6	社会福祉施設：社会福祉施設の種類や形態について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
7	社会福祉と社会保障の制度：社会保険、公的扶助、社会手当等について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
8	社会福祉の専門職：社会福祉専門職の専門性について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
9	子ども家庭福祉：子どもの人権や現代課題との関連について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
10	少子化と子育て支援：現代の生活課題に対する施策について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
11	高齢者福祉：高齢者福祉の仕組みについて学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
12	障害者福祉：障害者福祉の仕組みについて学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
13	相談援助：相談援助の意味と方法について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
14	利用者支援：権利擁護や苦情解決について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
15	社会福祉についてのまとめ：社会福祉に関する話題をもとに、保育者としての在り方について考える [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）						
時間外での学修	参考となる本や雑誌などを進んで読むようにしましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15～30時間】						
受講学生へのメッセージ	社会福祉に関する基礎的な知識は保育職を目指すに当たって不可欠です。一緒に学び、考えていきましょう。オフィスアワー：研究室水曜日15：00～16：00						

【3T7S106】特別支援教育		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	川島 民子						
資格・制限等	特になし						
資格等	音療選択（音楽）						
実務家教員	特別支援学校教員25年						
授業方法	講義、ビデオ視聴、授業のテーマに沿ったグループディスカッション等で進めていきます。活動後の振り返りやレポートにより、個別に返答、もしくは全体場でフィードバックを行います。						
到達目標	知識・理解	特別支援教育の理念や障害のある幼児児童生徒の理解を深め、高度な知識を身に付けることができる					
	思考・判断・表現	支援者としての視点から、自分なりの考えや保育観をもって、特別な教育的ニーズを有する子どもたちに向き合い、問題や課題に対して考えることができる					
	技能	幼児児童生徒一人ひとりの見方考え方、学び方の多様性を理解し、支援方法を考えることができる					
	関心・意欲・態度	連携の意義や必要性を知り、様々なケースに対応できる柔軟さとコミュニケーション能力を身に付けることができる					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	特別な教育的ニーズを有する子どもたちに対して、適切な支援が求められています。特別支援教育の意義や障害に関する基礎的な知識を身に付け、教育の現状について学びます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	15	15	-	60
	振り返り、レポート		-	10	5	10	25
	受講態度		-	-	-	15	15
	合計(点)		30	25	20	25	100
評価の特記事項	講義が中心になりますが、筆記試験だけではなく、日頃の振り返りやレポートからも評価します。受講態度は、出席状況とともに学修への取組や提出物の状況などからも評価します。						
ICT活用	特別支援教育に関する動画映像の視聴や、調べ学習を通して理解を深めます。						
アクティブラーニングの活用	テーマに関する内容について、調べ学習やグループ協議、発表を行うことによって主体的・対話的に学修に向かえるようにします。						

課題に対するフィードバック	授業後の振り返りから、個別に返答、または全体場でフィードバックを行います。
テキスト	『子どもと保護者のココロに寄り添う！エピソードで学ぶ！特別支援教育AtoZ』 松村 齋 明治 図書(1,860円) ISBN:4181226107
参考書・教材	特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領。授業時に資料を配布します。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	オリエンテーション 講義で大事にしたいこと、授業の進め方、学修評価等について
2	特別支援教育の現状 特別支援教育の意義、個別の指導計画の作成、学習指導要領の改訂等について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる(1~2h)
3	特別支援学校の教育の実際 特別支援学校の教育課程、指導方法、特別支援学校のセンター的機能の実際等を学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる(1~2h)
4	特別支援学級の教育の実際 特別支援学級の教育課程、指導方法、指導の実際等を学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる(1~2h)
5	通級による指導の実際 通級による指導の位置付け、指導方法、指導の実際等を学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる(1~2h)
6	自立活動について 特別支援学校における教育課程の一つである自立活動について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる(1~2h)
7	個別の指導計画と個別の教育支援計画について 個別の指導計画と個別の教育支援計画の関係性や作成の意義について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる(1~2h)
8	個別の指導計画の作成 個別の指導計画の作成の方法に関する演習をする [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる(1~2h)
9	園・校内の支援体制 特別支援教育コーディネーターや校内委員会等の園や校内の支援体制について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる(1~2h)
10	保護者の理解と支援 保護者の障害受容や保護者支援における課題等について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる(1~2h)
11	関係機関との連携(1) 地域の児童発達支援センター等の役割や連携について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる(1~2h)
12	関係機関との連携(2) 保健センターや医療機関の役割や連携について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる(1~2h)

内容	
実施回	授業内容・目標
13	関係機関との連携（3） 小学校との連携について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）
14	関係機関との連携（4） 地域の福祉関係機関や労働関係機関との連携について学ぶ [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）
15	特別支援教育についてのまとめ：特別支援教育に関する話題をもとに、保育者としての在り方について考える [課題] 配付された資料を復習し、関連する文献に触れる（1～2h）
時間外での学修	特別支援教育に関する当事者の著書も数冊読んで、当事者の思いを理解できる保育者を目指してください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15～30時間】
受講学生へのメッセージ	幼稚園等では特別な教育的ニーズを有する園児児童生徒等の支援は大きな柱になっています。実習等を通して実際の様子を実感してください。オフィスアワー：研究室にて水曜日15：00～16：00

【3T7A420】臨床実習（事前・事後指導を含む）		音楽総合学科		2年後期			
		3単位	選択	実習	135時間		
教員	菅田 文子・日比 あけみ						
資格・制限等	特になし						
資格等	音楽療必修（音楽）、レク（音楽）						
実務家教員	菅田：音楽療法関連施設職員・5年、音楽療法実践30年 日比：医療、福祉施設における音楽療法実践・20年						
授業方法	講義形式、実習グループに分かれた計画の立案、練習、他グループの前での発表練習などを含みます。						
到達目標	知識・理解	対象者のアセスメントを行い目標を設定することができる。					
	思考・判断・表現	自分の行った活動について目的や内容を説明することができる。					
	技能	目標に沿って計画したグループセッションと個人セッションを実施して記録を取ることができる。					
	関心・意欲・態度	施設実習において関連職種やスタッフと十分に連携を取り実践活動が行える。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	音楽療法士資格取得のための臨床実習に向けた事前準備および実習後の資格申請手続きまでをこの時間内に行います。 実習前はセッション記録の取り方の復習、実践計画と準備を行います。実習終了後は実習期間中の振り返りや実習中に起きた問題をクラス内で共有するなど、1年生の授業において実習成果を発表するので、その準備もこの時間で行います。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	課題提出		30	10	-	-	40
	受講態度		-	-	-	50	50
	発表（グループ発表含む）		-	-	10	-	10
	合計(点)		30	10	10	50	100
評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生は期末試験の受験資格がありません。 実習を終了して所定のレポートを提出することが単位の要件となります。						
ICT活用							
アクティブラーニングの活用	必要なビデオを授業前に課題として視聴します。						
課題に対するフィードバック	授業内の課題については次の授業でコメントを返します。						
テキスト							
参考書・教材	授業内でプリントを配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	オリエンテーション、各実習施設の説明、希望施設の調査 [課題（予習、復習）]学んだ内容の復習、実習計画の作成（2H）						
2	実習記録の配布、記入方法の説明、実習生個人目標の設定 [課題（予習、復習）]学んだ内容の復習、実習計画の作成（2H）						
3	音楽療法セッションの準備1 グループセッションのため予備も含めて10曲×3セッションを目標に準備を行う。 [課題（復習）]セッションの準備、曲の練習（3H）						
4	音楽療法セッションの準備2 セッション計画を記入、担当教員と内容、治療目標との検討を個別に行う。 [課題（復習）]セッションの準備、曲の練習（3H）						
5	音楽療法セッションの準備3 譜面、楽器、歌詞幕なども準備を行う。 [課題（復習）]セッションの準備、曲の練習（3H）						
6	音楽療法セッションの準備4 先週に引き続きグループセッション3つ分の準備を行う。 個人セッションの穴埋めについて復習し、確認を行う。 [課題（復習）]セッションの準備、曲の練習（3H）						
7	実習前の心構え：倫理、服装、態度について 実習直前の準備を行う。 [課題（復習）]セッションの準備、曲の練習（3H）						
8	音楽療法コース臨床実習1週目 各施設に分かれて実習を行う。2週間でグループセッションと個人セッションをそれぞれ行う。 [課題（復習）]実習記録の記入（20H）						
9	音楽療法コース臨床実習2週目 各施設に分かれて実習を行う。2週間でグループセッションと個人セッションをそれぞれ行う。 [課題（復習）]実習記録の記入（20H）						
10	実習を終えて：振り返りと施設に向けてお礼状を作成する 実習記録ノートの整理 [課題（復習）]学んだ内容の復習（2H）						
11	個人セッション報告書の作成 担当した個人セッションの報告書を作成し、提出する。 [課題（復習）]学んだ内容の復習（2H）						
12	音楽療法士資格申請準備 これまでに取得した単位を計算して所定の用紙に下書きし、提出する。清書は担当教員が行う。 [課題（復習）]学んだ内容の復習（2H）						
13	1年生に向けた発表準備と計画 実習施設と音楽活動について1年生の授業にて発表するための準備を行う。 [課題（復習）]学んだ内容の復習（2H）						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	実習のまとめ、振り返り 【課題（復習）】学んだ内容の復習（2H）
15	レポート課題の作成、提出 【課題（復習）】学んだ内容の復習（1H）
時間外での学修	実習に向けて時間外も含めて準備を進めてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	各自課題を設定し、苦手なところを克服できるようにがんばりましょう。 オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週火曜日の13：00～14：30です。

【3T7A211】臨床における即興技法		音楽総合学科		2年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	菅田 文子					
資格・制限等	特になし					
資格等	音療選択（音楽）					
実務家教員	音楽療法関連施設職員・5年、音楽療法実践30年					
授業方法	1人1台の電子キーボードを用い、毎週呈示される課題をその場で練習、発表します。シラバスに明示した課題の他、ほぼ毎回さぐり弾き（譜面を見ずに演奏）か、コード付けの課題が出されます。					
到達目標	知識・理解	知っている曲は譜面がなくとも簡単なメロディーとコードをつけて演奏することができる。				
	思考・判断・表現	演歌風、民謡風、軍歌風など、曲調にあったアレンジで伴奏をつけることができる。				
	技能	知らない曲のメロディーに簡単なコードをつけて伴奏することができる。				
	関心・意欲・態度	対象者に合わせたテンポ、リズムパターン、音量に合わせた即興演奏ができる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	音楽療法の実践場面で対象者の心身の状態や行動、音楽の好みなどに合わせ臨機応変に音楽を提供することができるよう、鍵盤楽器演奏の技術向上および基本的な即興技法を身につけることを目的とします。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	10	10	20	-	40
	発表（グループ発表含む）	20	20	10	-	50
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計(点)	30	30	30	10	100
評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生、課題の発表がない学生は期末試験の受験資格がありません。					
ICT活用	課題の提出（動画）、お手本の視聴にポータルなどを活用します。					
アクティブラーニングの活用						
課題に対するフィードバック	授業内で個別にコメントします。					
テキスト						
参考書・教材	授業内で配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	対象者に合わせるための練習1 テンポの変わるメトロノームに合わせて演奏する練習、さぐり弾き課題 [課題(復習)]学んだ内容の復習（歌いながら合図を出す）、さぐり弾き課題（p11）のコード付け（1H）					
2	さぐり弾きと移調 短調のさぐり弾き課題 p21～22の3和音課題を7つの調で演奏する [課題(復習)]学んだ内容の復習、さぐり弾き課題（p13）のコード付け（1H）					
3	さぐり弾きと移調 p24の3和音課題を7つの調で演奏する [課題(復習)]学んだ内容の復習（1H）					
4	ペントニック：自由に即興演奏をするための練習、F#ペントニックを使った作曲 [課題(復習)]学んだ内容の復習（ペントニックで即興演奏する）、さぐり弾き課題（p16）のコード付け（1H）					
5	黒鍵を用いた - - [課題(復習)]学んだ内容の復習（ペントニックの伴奏）、さぐり弾き課題のコード付け（1H）					
6	さまざまなペントニック：ペントニックの曲に和音をつける [課題(復習)]学んだ内容の復習（音階に含まれる音のみで伴奏する）、さぐり弾き課題（p20）のコード付け（1H）					
7	基本拍を促す演奏1：既成曲の基本拍 [課題(復習)]既成曲に基本拍をつけ伴奏する練習、さぐり弾き課題（p34）のコード付け（1H）					
8	基本拍を促す演奏2：太鼓とピアノの即興、基礎 [課題(復習)]太鼓にピアノで即興の伴奏をつける練習、コード付け課題（p37）（1H）					
9	基本拍を促す演奏3：太鼓とピアノの即興、応用 [課題(復習)]伴奏に変化をつける即興の伴奏の練習、コード付け課題（p43）（1H）					
10	基本拍を促す演奏4：太鼓とピアノのテンポ変化 [課題(復習)]テンポに変化をつける即興の伴奏の練習、コード付け課題（p46）（1H）					
11	基本拍を促す演奏5：太鼓、シンバルとピアノの即興課題 [課題(復習)]学んだ内容の復習、さぐり弾き課題のコード付け（1H）					
12	さまざまな伴奏パターンを学ぶ 民謡 [課題(復習)]民謡に特有のパターンで伴奏をつける練習、さぐり弾き課題（p49）のコード付け（1H）					
13	さまざまな伴奏パターンを学ぶ 軍歌 [課題(復習)]軍歌に特有のパターンで伴奏をつける練習、さぐり弾き課題（p52）のコード付け（1H）					
14	さまざまな伴奏パターンを学ぶ 演歌 [課題(復習)]演歌に特有のパターンで伴奏をつける練習、さぐり弾き課題のコード付け（1H）					
15	テスト対策 [課題(復習)]テスト課題の練習、さぐり弾き課題のコード付け（1H）					
時間外での学修	授業で呈示された課題が身につくまで、各自が練習してください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】					

受講学生への
メッセージ

即興演奏はその場で演奏するものですが、蓄積が必要です。授業内で行った課題で不得手なものがあれば克服にむけて自主練習してください。
オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週火曜日の13：00～14：30です。

【3T7A212】臨床における即興技法		音楽総合学科		2年後期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	菅田 文子					
資格・制限等	特になし					
資格等	音療選択（音楽）					
実務家教員	音楽療法関連施設職員・5年、音楽療法実践30年					
授業方法	1人1台の電子キーボードを用い、毎週呈示される課題をその場で練習、発表します。シラバスに明示した課題の他、ほぼ毎回さぐり弾きかコード付けの課題があります。					
到達目標	知識・理解	既成曲を音楽療法の目的に合わせて編曲することができる。				
	思考・判断・表現	音楽療法セッションで用いる体操や動きに即興で伴奏をつけることができる。				
	技能	セッションの目的に沿った簡単な曲を即興で作ることができる。相手に合わせた即興演奏の伴奏ができる。				
	関心・意欲・態度	障がいを持つ人がつくる詞に曲をつけることができる。対象者に合わせた演奏ができる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	音楽療法の実践場面で対象者の心身の状態や行動、音楽の好みなどに合わせ臨機応変に音楽を提供することができるよう、鍵盤楽器演奏の技術向上および基本的な即興技法を身につけることを目的とします。幅広いジャンルの曲に親しみ、旋律や和声の構造を分析します。音楽療法の目的に沿った作曲も学びます。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	20	10	10	-	40
	課題提出	20	10	-	10	40
	受講態度	-	-	-	10	10
	発表（グループ発表含む）	-	-	10	-	10
	合計(点)	40	20	20	20	100
評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生、課題の発表を行わなかった学生は期末試験の受験資格がありません。					
ICT活用	課題の動画提出、お手本の視聴に学生ポータルなどを活用する。					
アクティブ・ラーニングの活用						
課題に対するフィードバック	授業内で個別にコメントします。					
テキスト						
参考書・教材	授業内で配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	目的に合わせて作曲する1：リラックス体操の伴奏 [課題（復習）]コード進行とリズムがあまり動かない伴奏を練習する、さぐり弾き課題（p58）のコード付け（1H）					
2	目的に合わせて作曲する2：タオル体操の伴奏 [課題（復習）]音階と動きがマッチする伴奏を練習する、コード付け課題（p60）（1H）					
3	目的に合わせて作曲する3：嚙下体操の伴奏 [課題（復習）]動きに合わせて伴奏をつける、さぐり弾き課題（p66）のコード付け（1H）					
4	目的に合わせて作曲する4：「待つ」ための曲を作る、ミュージックベルのアレンジ 曲の決定、移調 [課題（復習）]ベル譜面（移調したメロディー）の清書、コード付け課題（p69）（1H）					
5	目的に合わせて作曲する5：動きを促す音楽の作曲、ミュージックベルのアレンジ 和音づけ [課題（復習）]ベル譜面（和音づけ）の清書、学んだ内容の復習、さぐり弾き課題（p71）のコード付け（1H）					
6	目的に合わせて作曲する6：気持ちを表す音楽の作曲、ミュージックベルのアレンジ パート分け[課題（復習）]パート分けしたベル譜面にマーカーで色分けしてくる、さぐり弾き課題（p75）のコード付け（1H）					
7	目的に合わせて作曲する7：言葉や詩に曲をつける、ミュージックベルのアレンジ、発表 [課題（復習）]作ったメロディー譜の清書、残りのメロディーを考える（1H）					
8	目的に合わせて作曲する8：作った曲をCメロ譜にする [課題（復習）]作曲した曲の清書、さぐり弾き課題のコード付け（1H）					
9	1音のためのアレンジ、1音のための作曲 [課題（復習）]作った曲の清書、さぐり弾き課題のコード付け（1H）					
10	モード（旋法）と慣用的な表現1：ドリアンのスケール [課題（復習）]繰り返し練習しモードに慣れる、さぐり弾き課題（p88）のコード付け（1H）					
11	モード（旋法）と慣用的な表現2：リディアン、中近東のスケール [課題（復習）]繰り返し練習しモードに慣れる、さぐり弾き課題(p92)のコード付け（1H）					
12	モード（旋法）と慣用的な表現3：スペイン風音階 [課題（復習）]繰り返し練習しモードに慣れる、さぐり弾き課題（p94）のコード付け（1H）					
13	モード（旋法）と慣用的な表現4：民謡音階の即興 [課題（復習）]学んだ内容の復習、さぐり弾き課題（p97）のコード付け（1H）					
14	臨床における応用 [課題（復習）]学んだ内容の復習、試験の準備（1H）					
15	臨床における応用 [課題（復習）]学んだ内容の復習 [課題（準備）]試験の準備（1H）					
時間外での学修	作曲や編曲の課題が宿題として出ますので、積極的に取り組んでください。 課題が時間内に終了しなかった学生には補講を行います。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】					

受講学生への メッセージ	臨床実習や、音楽療法士として働くにあたって一番役に立ったといわれている授業です。面倒な課題も多いですが将来の自分のために取り組んでください。 オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週火曜日の13：00～14：30です。
-----------------	--

【3T7S114】音楽療法・臨床		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	菅田 文子						
資格・制限等	特になし						
資格等	音療選択（音楽）						
実務家教員	音楽療法関連施設職員・5年、音楽療法実践30年						
授業方法	講義形式ですが演習も含まれます。小グループでの討論、検討結果の発表も行います。						
到達目標	知識・理解	音楽療法の臨床分野（児童・成人・高齢）それぞれについて、主要な目的と活動について理解、説明ができる。					
	思考・判断・表現	音楽の治療的使い方について説明ができる。音楽療法に関連のある心理療法の概略について理解、説明ができる。					
	技能	目標に沿った音楽活動を発表できる。					
	関心・意欲・態度	対象者に即した課題を相手にわかりやすく工夫した形で発表することができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	この授業では臨床実習に向けて、基礎となる力をつけることを目的とします。授業内容は大きくわけて2つに分かれます。ひとつめは音楽療法全般に関する理論と音楽療法を受ける対象となる人の病気、障害、心理特性などについての知識を学ぶことです。ふたつめはそれぞれの対象に向けた実践の内容について学びます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	30	-	-	60
	レポート		10	10	-	-	20
	発表（グループ発表含む）		-	-	10	-	10
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		40	40	10	10	100	
評価の特記事項	授業回数の1/3以上欠席した学生は定期試験の受験資格がありません。課題発表、提出物のない学生は定期試験の受験資格がありません。						
ICT活用	課題や感想をGoogle Formで提出してもらいます。						
アクティブ・ラーニングの活用							
課題に対するフィードバック	よいレポートは授業内で取り上げます。						
テキスト	プリントを授業内で配布します。						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	オリエンテーション 心理学の理論、心理学の歴史概論 [課題（復習）]Googleフォームにて復習テストを受ける。学んだ内容を復習し、心理学理論の歴史について理解する（4H）						
2	理論1：精神分析 無意識、防衛機能について 精神分析理論を用いた音楽療法について 教材視聴 [課題（復習）]Googleフォームにて復習テストを受ける。学んだ内容を復習し、精神分析と音楽療法の関連について理解する（4H）						
3	自己防衛メカニズムについて [課題（復習）]指定する書式に沿ってレポート課題を提出する（4H）						
4	理論2-1：行動療法 学習と強化について [課題（復習）]学んだ内容を復習し、行動療法の理論的背景とアプローチについて理解する（4H）						
5	理論2-2：行動療法を用いた音楽療法 目標設定と般化について [課題（復習）]学んだ内容を復習し、行動療法的音楽療法の目標設定について理解する（4H）						
6	理論3-1：人間主義 クライアント中心療法、カウンセリングについて 受容と共感 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、人間主義的関わりとこれまでの理論の違いを理解する（4H）						
7	理論3-2：人間主義的音楽療法 創造的音楽療法について 教材視聴 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、即興を用いる音楽療法の目的を理解する（4H）						
8	聴覚障害と音楽療法1 聴こえの仕組み、耳の構造、難聴の定義 教材視聴 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、聴こえの仕組みについて理解する（4H）						
9	聴覚障害と音楽療法2 人工内耳と聴覚リハビリテーション、手話とろう文化 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、聴覚障害の治療についての問題を理解する（4H）						
10	重度重複障害者に対する音楽療法1 ゲストスピーカーを招いて学ぶ。対象者理解と適切な目標設定、音楽活動について [課題（復習）]学んだ内容を復習し、対象者の特性と目標、活動について理解する（4H）						
11	不登校とカウンセリング 不登校の歴史、カウンセリングで重視すること 不登校児童と音楽療法 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、対象者の特性と目標、活動について理解する（4H）						
12	意識障害と音楽療法 昏睡患者に対する音楽療法、NICUにおける音楽療法 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、対象者の特性と目標、活動について理解する（4H）						
13	医療現場における音楽療法の役割 疼痛緩和、ストレスの軽減、チーム医療としての音楽療法士の役割について [課題（復習）]学んだ内容を復習し、対象者の特性と目標、活動について理解する（4H）						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	レポート課題について説明、文献の調べ方、書き方について 【課題（復習）】学んだ内容の復習、レポート作成（4H）
15	他職種との連携と音楽療法活動 【課題（復習）】学んだ内容の復習、レポート作成（4H）
時間外での学修	毎回宿題が出ますので準備をしてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	課題のレポート、練習問題の成績比率が成績評価に関係してきます。 オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週火曜日の13：00～14：30です。

【3T7A115】音楽療法・技法		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	菅田 文子						
資格・制限等	特になし						
資格等	音療選択（音楽）						
実務家教員	音楽療法関連施設職員・5年、音楽療法実践30年						
授業方法	講義形式ですが演習も含みます。小グループでの討論、検討結果の発表も行います。						
到達目標	知識・理解	音楽療法の技法について基本的な知識を得ておりそれぞれの理解ができています。					
	思考・判断・表現	音楽療法に関連する分野についての基本的な知識を持ち、どの分野にどの技法が適しているか判断できる。					
	技能	対象者の理解をふまえた音楽療法の計画ができる。					
	関心・意欲・態度	人前で意欲的に発表できる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	音楽療法士として必要な音楽技法や心理的援助方法、集団をまとめる方法についての知識を学びます。臨床の現場で発生する問題や課題について解決方法をクラス内で討議し、問題解決能力の向上をはかります。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	20	-	-	50
	レポート		20	10	10	-	40
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		50	30	10	10	100
評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生は期末試験の受験資格がありません。課題の発表を行わない学生は期末試験の受験資格がありません。						
ICT活用	学生ポータルやGoogle Formで課題を提出してもらいます。						
アクティブ・ラーニングの活用							
課題に対するフィードバック	良いレポートは授業内でとりあげます。						
テキスト	授業中にプリントを配付します。						
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	認知機能を測る標準化されたテストについて：かなひろいテスト、MMSE、長谷川式について [課題（復習）]学んだ内容を復習し、自分でテストを実施する練習をする（4H）						
2	新版長谷川式テストを一人ずつ行い点数計算ができるようになる。それぞれの待ち時間には移調課題を行う。 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、回想法課題の準備を行う（4H）						
3	回想法について：手順と方法について学ぶ。各自持参した回想法に使う道具を発表する。 学習療法について：手順と方法について学ぶ、簡単なクイズの作成、発表を行う。 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、回想法と学習療法について理解する（4H）						
4	Anglia Ruskin University作成のDVD "Music Therapy for Children on the Autistic Spectrum" "Timothy: Music Therapy with a Little Boy who has Asperger Syndrome"を視聴、海外の音楽療法のアプローチと日本のアプローチの違いについて学ぶ。 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、自閉症スペクトラム児童の特徴と音楽療法について理解する（4H）						
5	倫理について：音楽療法士の職業倫理について事例から学ぶ。グループ討論 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、音楽療法士の倫理について理解する（4H）						
6	回想法と音楽療法の組み合わせ：対象者にとって重要な出来事や時期に合致する選曲を行い、どのように声かけを行うか発表する。 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、高齢者が懐かしく感じる曲についてまとめる（4H）						
7	学習療法と音楽療法の組み合わせ：歌唱や楽器演奏を取り入れることで言葉を記憶しやすくしたり、複数の活動を一度に行う方法について発表する。曲名を連想するクイズを作成する。 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、使用する曲を練習する（4H）						
8	矯正施設における音楽療法：音楽を用いたカウンセリングの目的や方法について学ぶ。 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、矯正施設の特性と音楽活動の目的の関連についてまとめる（4H）						
9	NICUにおける音楽療法：実際のセッションの様子をビデオを見て学ぶ。 [課題（復習）]学んだ内容を復習（4H）						
10	介護予防と音楽療法：障害や病気をもつ人だけでなく、高齢者社会が急速に進む日本において介護予防は喫緊の課題である。音楽療法士が勤務することの多い高齢者施設でも地域の人を対象とした介護予防に関する音楽活動に携わる機会がある。実際にゲストスピーカーを招き、介護予防と音楽療法の実際について学ぶ。 [課題（復習）]話を聴いて学んだことをレポートにまとめる（4H）						
11	緩和ケアにおける音楽療法：ホスピス、緩和ケアにおいて音楽療法士が働いている現場はまだ少ないが、対象者本人だけでなく家族も含めた働きかけが重要となる。日本と海外のビデオを見て学ぶ。教材視聴 [課題（復習）]学んだ内容を復習し、自分の死生観について理解し、終末期ケアのニーズとの関連を考える（4H）						
12	地域における音楽療法：従来の、対象者の問題に対する治療目的が明確な伝統的な音楽療法に加えて近年コミュニティ音楽療法という概念が出てきている。地域を対象とした音楽活動について、実際に地域で活動している音楽療法士をゲストに招いて学ぶ。 [課題（復習）]話を聴いて学んだことをレポートにまとめる（4H）						
13	日本で発達した音楽療法1：欧米だけでなく、日本の実情に合わせて発達してきた音楽療法の手法について基本的な概念を学ぶ。ミュージックケア、ミュージックボランティアなど [課題（復習）]学んだ内容を復習しまとめる（4H）						

内容	
実施回	授業内容・目標
14	日本で発達した音楽療法2：音楽運動療法、現在の音楽療法の課題など 【課題（復習）】学んだ内容を復習しまとめる（4H）
15	音楽療法を現場で実践するにあたっての業務、予算、計画申請などについて。これまでの授業の振り返り 【課題（復習）】学んだ内容の復習（4H）
時間外での学修	毎週課題が出されます。宿題として評価の対象になります。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	知識と、自分で考える能力の両方が現場では必要とされます。自分ならどうするのか、常に考えながら授業に臨んでください。オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週火曜日の13：00～14：30です。

【3T7S218】音楽療法実践		音楽総合学科		2年前期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	日比 あけみ					
資格・制限等	特になし					
資格等	音療選択（音楽）					
実務家教員	福祉および医療現場にて音楽療法実践19年					
授業方法	学内での演習および学外での実践。					
到達目標	知識・理解	目標に沿って適切な活動の組み立てを考えることができる。				
	思考・判断・表現	全体の活動の流れを見通しながら、自分の役割に責任を持つことができる。				
	技能	「高齢者から学ぶ」という謙虚な態度で実践に臨むことができる。				
	関心・意欲・態度	活動を振り返ることで、どのような働きかけが望ましいのか考えることができる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	高齢者施設での実践を通して対象者への理解をより深めるとともに、好ましい接し方や適切な働きかけ方を身につけます。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実践発表	20	20	20	-	60
	受講態度	-	-	-	10	10
	レポート	-	-	-	20	20
	期末試験	10	-	-	-	10
	合計(点)	30	20	20	30	100
評価の特記事項	ICT活用					
アクティブ・ラーニングの活用	障がい者や高齢者の日常生活における情報収集					
課題に対するフィードバック	課題やレポートにコメントを返します。					
テキスト	『歌の宝宝箱 手あそび歌付』ドレミ楽譜出版社(2,160円) ISBN:978-4285142761					
参考書・教材	資料を配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション（年間計画・課題の確認） [準備・課題]課題における目標設定（1～3h）					
2	アセスメントを目的とした施設訪問 [準備・課題]施設訪問における目標設定と振り返り（1～3h）					
3	高齢者施設での音楽活動 「高齢者理解」準備 [準備・課題]実践に向けての事前調査・個人練習（1～3h）					
4	高齢者施設での音楽活動 「高齢者理解」リハーサル [準備・課題]活動についての意見交換・見直し（1～3h）					
5	高齢者施設での音楽活動 「高齢者理解」実践 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省（1～3h）					
6	活動の振り返り [準備・課題]実践記録のまとめ（1～3h）					
7	高齢者施設での音楽活動 「目標設定」準備 [準備・課題]実践に向けての事前調査・個人練習（1～3h）					
8	高齢者施設での音楽活動 「目標設定」リハーサル [準備・課題]活動についての意見交換・見直し（1～3h）					
9	高齢者施設での音楽活動 「目標設定」実践 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省（1～3h）					
10	活動の振り返り [準備・課題]実践記録のまとめ（1～3h）					
11	高齢者施設での音楽活動 「働きかけ」準備 [準備・課題]実践に向けての事前調査・個人練習（1～3h）					
12	高齢者施設での音楽活動 「働きかけ」リハーサル [準備・課題]活動についての意見交換・見直し（1～3h）					
13	高齢者施設での音楽活動 「働きかけ」実践 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省（1～3h）					
14	活動の振り返り [準備・課題]実践記録のまとめ（1～3h）					
15	援助的人間関係について [準備・課題]対象者の心情を汲みとる（1～3h）					
時間外での学修	自分の担当になった活動は責任をもって準備してください。 【この科目で求められる望ましい授業外での総学修時間：15～45時間】					
受講学生へのメッセージ	人前に立つには、心身ともに良好であることが大事です。いつも健康管理に気を配って実践現場に臨んでください。 オフィスアワーは授業前後の休み時間に教室で実施。					

【3T7A219】音楽療法実践		音楽総合学科		2年後期		
		1単位	選択	演習	30時間	
教員	日比 あけみ					
資格・制限等	特になし					
資格等	音療選択（音楽）					
実務家教員	福祉および医療現場にて音楽療法実践19年					
授業方法	学内での演習。実践形式で行います。					
到達目標	知識・理解	対象者のニーズに合った目標と活動の組み立てを考えることができる。				
	思考・判断・表現	対象者の好みの歌を知り、弾き歌いができるようにする。				
	技能	対象者の心情を汲みとりながら、活動を進めることができる。				
	関心・意欲・態度	活動を振り返ることで、どのような働きかけ方が望ましいのか考えることができる。				
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	対象者のポジティブな部分を大切に音楽活動を計画します。また、分野別・形態別に学ぶことで多様性のある働きかけ方を身につけます。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実践発表	20	20	20	-	60
	受講態度	-	-	-	10	10
	レポート	-	-	-	20	20
	期末試験	10	-	-	-	10
	合計(点)	30	20	20	30	100
評価の特記事項	ICT活用					
アクティブ・ラーニングの活用	障がい者や高齢者の日常生活における情報収集					
課題に対するフィードバック	課題やレポートにコメントを返します。					
テキスト	『弾き語りキーボード・セッション(1) 音楽療法の必須100曲 高齢者編』あおぞら音楽社(2,484円) ISBN:978-4904437032 『弾き語りキーボード・セッション(2) 音楽療法の必須100曲 子ども編』あおぞら音楽社(2,484円) ISBN:978-4904437049 『弾き語りキーボード・セッション(3) 音楽療法の必須100曲 おとな編』あおぞら音楽社(2,646円) ISBN:978-4904437056					
参考書・教材	資料を配布します。					
実施回	内容 授業内容・目標					
1	オリエンテーション（年間計画の確認） 個人セッション（高齢者）の活動準備 [準備・課題]事前調査、計画(1~3h)					
2	個人セッション（高齢者）の練習 [準備・課題]練習、見直し(1~3h)					
3	個人セッション（高齢者）の発表 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省(1~3h)					
4	活動の振り返り [準備・課題]意見交換、実践記録のまとめ(1~3h)					
5	個人セッション（成人）の活動準備 [準備・課題]事前調査、計画(1~3h)					
6	個人セッション（成人）の練習 [準備・課題]練習、見直し(1~3h)					
7	個人セッション（成人）の発表 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省(1~3h)					
8	活動の振り返り [準備・課題]意見交換、実践記録のまとめ(1~3h)					
9	個人セッション（児童）の活動準備 [準備・課題]事前調査、計画(1~3h)					
10	個人セッション（児童）の練習 [準備・課題]練習、見直し(1~3h)					
11	個人セッション（児童）の発表 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省(1~3h)					
12	活動の振り返り [準備・課題]意見交換、実践記録のまとめ(1~3h)					
13	少人数グループセッションの活動準備および練習 [準備・課題]事前調査、計画、練習、見直し(1~3h)					
14	少人数グループセッションの発表 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省(1~3h)					
15	活動の振り返り [準備・課題]意見交換、実践記録のまとめ(1~3h)					
時間外での学修	様々なボランティア活動に参加し、人と多く関わることで柔軟性を身につけてください。 【この科目で求められる望ましい授業外での総学修時間：15~45時間】					
受講学生へのメッセージ	いろいろな立場になって活動を進めます。お互いに気付いたことを伝え合える関係づくりに努めてください。 オフィスアワーは授業前後の休み時間に教室で実施。					

【3P1S215】卒業研究		音楽総合学科		2年前期		
		2単位	必修	演習	60時間	
教員	横井 香織					
資格・制限等	Pコース必修					
資格等	音療選択（音楽）					
実務家教員	音楽教室講師・10年					
授業方法	演習を中心とした個人レッスンをを行います。音楽的知識や技術・表現力修得の確認のため、学修成果の発表も含めて授業を展開していきます。質問等は授業時やメール等で受け付けます。					
到達目標	知識・理解	作曲家や作品などについての知識を身に付け、音楽的知識を十分に活用し、楽曲理解に繋げることができる。				
	思考・判断・表現	作品に対するイメージや考えのもと、演奏表現をすることができる。				
	技能	卒業年次にふさわしい演奏技術を身に付けることができる。				
	関心・意欲・態度	自己の内面・感性を磨き、積極的な取り組みができる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	各々の希望する楽曲を1～2曲取り組み、演奏テクニックと表現力を高め、高度な演奏を目指します。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	-	35	35	-	70
	レポート	15	-	-	-	15
	受講態度	-	-	-	15	15
	合計(点)	15	35	35	15	100
評価の特記事項	実技試験は任意の曲の演奏を最終試験（前期定期試験）で行います。レポートは取り組んでいる楽曲について研究したことを記述し提出してもらいます。フィードバックとしてレポートにコメントを返し、実技試験実施後に講評を行います。受講態度は学修への取組状況で評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験（実技試験）の受験資格はありません。					
ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	グループ・ディスカッション					
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。					
テキスト						
参考書・教材	個々に合わせて選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス：授業の進め方 レッスン：譜読みの確認 【課題(準備・復習)】 レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（2～3h）					
2～13	レッスン ・正確な譜読み ・テクニックの向上 ・音楽用語の理解 ・曲想 ・バランスづくり ・音色研究 ・豊かな音楽表現 ・響きの追求 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 毎回のレッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする（各2～3h）					
14	学修成果の発表：お互いの演奏について講評し合い、各々の演奏に活かす 【課題(準備・復習)】 発表に向けて弾き込む 講評を参考にして各課題に取り組む（2～3h）					
15	レッスン：試験曲の仕上げ ・テクニックの向上 ・曲想 ・バランスづくり ・音色研究 ・豊かな音楽表現 ・響きの追求 など 課題の確認 【課題(準備・復習)】 レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、総仕上げをする（各2～3h）					
時間外での学修	授業外での毎日の練習はもちろん、演奏会等に出掛けて様々な音楽を聴く、作曲家や作品について調べる、西洋の風景や歴史・文化に触れるなど、音楽的素養を更に身に付け、感性を磨き、自分の技術や音楽性を十分に表現できるよう幅広い学修を行います。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30～45時間】					
受講学生へのメッセージ	心と頭と身体を使い、一音一音に心を込めた演奏を心掛けましょう。 オフィスパワーは研究室B206で月曜日3・4限目です。					

【302S215】卒業研究		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	必修	演習	60時間		
教員	上園 弥生						
資格・制限等	Orコース必修						
資格等	音療選択（音楽）						
実務家教員	音楽講師・34年						
授業方法	個人レッスン						
到達目標	知識・理解	取り組む楽曲において、その曲の構成や、用いられている表現手法を理解できる。					
	思考・判断・表現	取り組む楽曲において、楽譜から読み取れる情報をもとに、適切に編曲・演奏に取り入れて表現することができる。					
	技能	取り組む楽曲に対して、自らのこだわりを持って編曲・演奏することができる。					
	関心・意欲・態度	各曲を編曲・演奏する上で生じる疑問点を、自ら発見し、質問できる。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	卒業演奏に向けた、自編曲の制作と演奏に取り組みます。制作面を中心に進めながら、それに伴う演奏にも取り組みます。制作・演奏ともに、卒業に向けた高いクオリティを追求していきます。						
観点別評価		評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実技試験		20	25	25	-	70
	準備・課題		5	5	5	-	15
	受講態度		-	-	-	15	15
	合計(点)		25	30	30	15	100
評価の特記事項	実技試験は、本授業で取り組んだ曲の演奏発表、準備・課題は、毎週の練習の成果で評価します。						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	特にありません						
課題に対するフィードバック	試験後に、講評をします						
テキスト	授業開始後、必要に応じて案内します。						
参考書・教材	授業開始後、必要に応じて 参考書・楽譜などを案内します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	選曲 今後のレッスン内容の方向性を検討～決定 [課題(準備)] 曲の前期に取り組む範囲の冒頭1/5程度まで制作を進めてくる。また、その箇所を演奏を練習してくる。(2～3h)						
2	編曲と制作(1) 曲の冒頭から、前期に取り組む範囲の1/5程度まで [課題(復習)] 1/5程度までアドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所を演奏を練習。(2～3h)						
3	編曲と制作(2) 前回と同範囲 [課題(準備)] 曲のつづき～次の1/5程度まで制作を進めてくる。また、その箇所を演奏を練習。(2～3h)						
4	編曲と制作(3) 曲の冒頭から、前期に取り組む範囲の2/5程度まで [課題(復習)] 2/5程度までアドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所を演奏を練習。(2～3h)						
5	編曲と制作(4) 前回と同範囲 [課題(準備)] 曲のつづき～次の1/5程度まで制作を進めてくる。また、その箇所を演奏を練習。(2～3h)						
6	編曲と制作(5) 曲の冒頭から、前期に取り組む範囲の3/5程度まで [課題(復習)] 3/5程度までアドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所を演奏を練習。(2～3h)						
7	編曲と制作(6) 前回と同範囲 [課題(準備)] 曲のつづき～次の1/5程度まで制作を進めてくる。また、その箇所を演奏を練習。(2～3h)						
8	編曲と制作(7) 曲の冒頭から、前期に取り組む範囲の4/5程度まで [課題(復習)] 4/5程度までアドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所を演奏を練習。(2～3h)						
9	編曲と制作(8) 前回と同範囲 [課題(準備)] 曲のつづき～次の1/5程度まで制作を進めてくる。また、その箇所を演奏を練習。(2～3h)						
10	編曲と制作(9) 前期に取り組む範囲全体 [課題(復習)] 前期に取り組む範囲全体のアドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所を演奏を練習。(2～3h)						
11	編曲と制作(10) 前回と同範囲 [課題(復習)] 前期の範囲全体を通した演奏を練習。(2～3h)						
12	演奏追究(1) 例：細部に特化したレッスン [課題(復習)] アドバイスされた箇所(例：細部)を練習し、演奏に反映する。(2～3h)						
13	演奏追究(2) 例：構成の軸となる箇所の特化したレッスン [課題(復習)] アドバイスされた箇所(例：構成の軸)を練習し、演奏に反映する。(2～3h)						
14	演奏追究(3) 例：演奏に伴う体全体の動きを意識したレッスン [課題(復習)] アドバイスされた箇所(例：体全体の動き)を練習し、演奏に反映する。(2～3h)						
15	前期の範囲の仕上げ～最終確認 [課題(他)] 試験に向けた演奏仕上げをする。(2～3h)						
時間外での学修	<ul style="list-style-type: none"> ・選曲に時間を要する場合があります。休暇中に予め、広い範囲から複数の曲をピックアップしておいてください。 ・演奏面のレッスンは主に第12週以降で取り組みますが、それ以前の編曲過程でもある程度の演奏ができる必要があります。第11週以前の準備・課題においても、演奏の練習を進めるようにしましょう。 * [課題]は授業の到達目標達成に必要な内容ですので、()内の標準学修時間をめどにして、授業外で確実に学修を進めましょう。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：40時間】 						

受講学生への メッセージ	いよいよ卒業演奏への着手です。これまで学んだことをたくさん活かして、また新たに学ぶことも加えて、自分ならではの編曲に精一杯取り組みましょう。 [オフィスアワー]当授業の教室にて 授業時間の前後5分程度
-----------------	---

【3W5S219】卒業研究		音楽総合学科		2年前期		
		2単位	必修	演習	60時間	
教員	服部 篤典					
資格・制限等	Wコース必修					
資格等	音療選択(音楽)					
実務家教員	オーケストラ25年					
授業方法	個人レッスン 伴奏有り(実技試験)					
到達目標	技能	譜面を正確に演奏した後、楽譜を深く読み込み個性を生かした表現力豊かな演奏ができる				
	関心・意欲・態度	演奏技術向上に向け積極的に取り組むことができる				
	備考	・・・の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	前期実技試験に向け正確な譜読み、演奏技術、個性を生かした表現力の向上を図る個人レッスンを行います 個々で決めた楽曲を深く理解した上で、如何に演奏で表現するかを研究します					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	-	-	70	-	70
	受講態度等	-	-	-	30	30
	合計(点)	-	-	70	30	100
評価の特記事項	ICT活用					
アクティブ・ラーニングの活用	活用なし					
課題に対するフィードバック	レッスン時に指摘された箇所が修正されているかを次回のレッスンでチェックします					
テキスト						
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	前期の目標を定め楽曲を絞る 【課題】予習：前期楽曲候補曲の譜読み(1h)					
2~15	前期に取り組む楽曲を、個々の進捗状況を見極めながらレッスンを進め、問題点を指摘 【課題】復習：レッスンで指摘を受けた箇所を復習(1h~2h) 予習：楽曲継続練習(1h~2h)					
時間外での学修	前期に取り組む楽曲を、個々の進捗状況を見極めながらレッスンを進める 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：29~57時間】					
受講学生へのメッセージ	悔いの残らない演奏を オフィスアワー：水曜日5限、木曜日4限 B104研究室					

【3R6S233】卒業研究		音楽総合学科		2年前期			
		2単位	必修	演習	60時間		
教員	松永 幸宏・鬼頭 加奈						
資格・制限等	Rコース必修						
資格等	音療選択（音楽）						
実務家教員	松永：楽器店修理販売職・19年、鬼頭：楽器店修理販売職・10年						
授業方法	演習形式。						
到達目標	知識・理解	仕組み、構造理解を基本として、今日に至る変遷等について知識と持ち理解が出来る。					
	思考・判断・表現	管楽器等の構造や仕組みを理解して、自らが考えるテーマに沿っての考え方や表現が出来る。					
	技能	プレゼンテーションを十分に理解し、資料も纏め方や、伝達方法がしっかりと出来ている。					
	関心・意欲・態度	楽器全般に関する関心や興味を日頃から持ち続け、自らが率先してリペア技能や知識向上を図ることが出来る。○					
	備考	・○・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	自分で決めたテーマについて調べ、一年かけて製作・資料作りを行います。面談（個人、グループ）でテーマの進み具合を担当教員と話し合います。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	30	30	-	90
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		30	30	30	10	100
評価の特記事項	受講態度は学修取り組み、技術向上への意欲等の状況で評価します。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学習支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	なし						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、授業内に挙手をさせ、一人ひとりの状態を確認しフィードバックする。						
テキスト							
参考書・教材	1年次に購入した「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」（上・下） 管楽器に関する文献、各社カタログ等						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	テーマ提出 興味を持っている分野について考えテーマを考え、複数候補を提出 【課題（復習・他）】課題提出（1h）						
2	テーマの決定、計画案作成 テーマが決定した学生は発表資料作成の計画を立て、情報収集や製作等に必要な材料等を調べる。 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）						
3	テーマの決定、計画案作成 テーマが決定した学生は発表資料作成の計画を立て、情報収集や製作等に必要な材料等を調べる。 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）						
4	発表資料作成の計画案の提出 計画案に沿った作業内容を考える。 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）						
5～15	情報収集や製作に取り掛かる～ 進捗状況を確認しながら作業に取り掛かる。 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）						
時間外での学修	必要工具、作業工程を確認しながら学んだ技術を定着させる 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】						
受講学生へのメッセージ	事前準備をしっかりと行い、計画に沿って作業が進むよう確認してください。 オフィスアワーは、授業後に行います。						

【3T7S221】卒業研究		音楽総合学科		2年前期		
		2単位	必修	演習	60時間	
教員	菅田 文子					
資格・制限等	MTコース必修					
資格等	音療選択（音楽）					
実務家教員	音楽療法関連施設職員・5年、音楽療法実践30年					
授業方法	演習形式。発表を含みます。					
到達目標	知識・理解	論文にふさわしいテーマを決定する。				
	思考・判断・表現	過去の文献を探し、正しく記載する。				
	技能	論文に適した正しい文体でまとめることができる。				
	関心・意欲・態度	継続的にテーマに対する関心を持ち、担当教員と話し合いながら論文作成を進めることができる。				
授業内容	自分で決めたテーマについて調べ、一年かけて論文形式に仕上げます。前半2回は講義形式、それ以降は面談（個人、グループ）でテーマの進み具合を担当教員と話し合います。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	課題提出	20	20	20	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	発表	-	-	-	20	20
	合計(点)	20	20	20	40	100
評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生は期末試験の受験資格がありません。中間発表を行い、途中経過の論文を提出することが単位の要件となります。					
ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	論文検索、資料を探すときにインターネットを活用します。					
課題に対するフィードバック	毎時間、個別に進み具合に応じたコメントをします。					
テキスト						
参考書・教材	各自毎時間、自分のUSBメモリを持参すること。授業内でプリントを配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	論文とはどのようなものか。構成、文体、引用の基礎知識 興味のあるテーマを複数探し提出する。 [課題（復習）]学んだ内容の復習、テーマ候補を複数考える（2H）					
2	興味のあるテーマについて担当教員と個別で面談を行う。 資料の検索について [課題（準備）]論文テーマを絞り、類似するテーマの論文を読む（2H）					
3	テーマに関連する文献の検索（J-Stageなど） Web上の文章の引用について注意点 [課題（準備）]学んだ内容の復習、自分のUSBに文献用ファイルを作成する（2H）					
4	担当教員と話し合いながら文献検索を行う。 [課題（準備）]調べた文献の内容をまとめてファイルに整理する（2H）					
5	担当教員と話し合いながら文献検索を行う、あるいは実験計画を立てる。予備実験が必要な学生は前期のうちに行く。なぜ自分がこのテーマを選んだか書き始める。 [課題（準備）]作成した「なぜ自分がこのテーマを選んだか」を完成させる（2H）					
6	担当教員と話し合いながら文献検索を行う、あるいは実験計画を立てる。予備実験が必要な学生は前期のうちに行く。 [課題（準備）]論文の形式にのっとった文書設定を行う、文献を読み込みまとめる（2H）					
7	担当教員と話し合いながら文献検索を行う、あるいは実験計画を立てる。予備実験が必要な学生は前期のうちに行く。 [課題（復習）]ページ番号をファイルに入れる。文献を読み込みまとめる（2H）					
8	担当教員と話し合いながら文献検索を行う、あるいは実験計画を立てる。予備実験が必要な学生は前期のうちに行く。 [課題（復習）]見出しの形式を整える。文献を読み込みまとめる（2H）					
9	担当教員と話し合いながら文献検索を行う、あるいは実験計画を立てる。予備実験が必要な学生は前期のうちに行く。 [課題（準備）]図書館に行き関連する本を借り、資料としてまとめる（2H）					
10	担当教員と話し合いながら文献検索を行う、あるいは実験計画を立てる。予備実験が必要な学生は前期のうちに行く。 [課題（準備）]Webから得た資料を文献として形式を整えて使用する（2H）					
11	担当教員と話し合いながら文献検索を行う、あるいは実験計画を立てる。予備実験が必要な学生は前期のうちに行く。 [課題（準備）]文献のまとめを論文に正しい形で引用する（2H）					
12	担当教員と話し合いながら文献検索を行う、あるいは実験計画を立てる。予備実験が必要な学生は前期のうちに行く。 [課題（復習）]図、表の正しい使い方、タイトルを入れる（2H）					
13	担当教員と話し合いながら文献検索を行う、あるいは実験計画を立てる。予備実験が必要な学生は前期のうちに行く。 [課題（復習）]論文の全体を考えるために見出しと流れを書き出す（2H）					
14	中間報告の準備を行う。報告は一人10分以内で、研究のテーマ 現在どこまで進めたか 後期はどのように進めるか、を口頭で報告する。ここまで進んだ論文をプリントアウトして提出する。 [課題（準備）]中間報告の準備、読む練習（2H）					

内容	
実施回	授業内容・目標
15	中間報告を行う。先週提出した論文を返却するのでコメントを確認、後期の予定を確認する。 [課題(復習)]返却されたコメントに基づき論文を訂正する(2H)
時間外での学修	各自が授業時間外で文献を探し、まとめるなどの作業が必要です。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	音楽に関わるものでしたらどんなテーマでも論文となります。 自分の興味があるものごとことん追求しましょう。 オフィスアワーは研究室(B403: B号館4階)で毎週火曜日の13:00~14:30です。

【3P1A216】卒業研究		音楽総合学科		2年後期		
		2単位	必修	演習	60時間	
教員	横井 香織					
資格・制限等	Pコース必修					
資格等	音療選択（音楽）					
実務家教員	音楽教室講師・10年					
授業方法	演習を中心とした個人レッスンを行います。音楽的知識や技術・表現力修得の確認のため、学修成果の発表も含めて授業を展開していきます。質問等は授業時やメール等で受け付けます。					
到達目標	知識・理解	作曲家や作品などについての知識を身に付け、音楽的知識を十分に活用し、楽曲理解に繋げることができる。				
	思考・判断・表現	作品に対するイメージや考えのもと、演奏表現をすることができる。				
	技能	卒業演奏にふさわしい演奏技術を身に付けることができる。				
	関心・意欲・態度	自己の内面・感性を磨き、積極的な取り組みができる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	各々の希望する楽曲を1～2曲取り組み、演奏テクニックと表現力を高め、高度な演奏を目指します。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	-	35	35	-	70
	レポート	15	-	-	-	15
	受講態度	-	-	-	15	15
	合計(点)	15	35	35	15	100
評価の特記事項	実技試験は卒業演奏発表会として公共のホールで行います。レポートは取り組んでいる楽曲について研究したことを記述し提出してもらいます。フィードバックとしてレポートにコメントを返し、実技試験実施後に講評を行います。受講態度は学修への取組状況で評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、実技試験の受験資格はありません。					
ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	グループ・ディスカッション					
課題に対するフィードバック	毎週の課題については次回の授業でコメントし、指導に活かします。					
テキスト						
参考書・教材	個々に合わせて選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1～13	レッスン ・正確な譜読み ・テクニックの向上 ・音楽用語の理解 ・曲想 ・バランスづくり ・音色研究 ・豊かな音楽表現 ・響きの追求 など 【課題(準備・復習)】 毎回のレッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、準備・復習をする(各2～3h)					
14	学修成果の発表：お互いの演奏について講評し合い、各々の演奏に活かす 【課題(準備・復習)】 発表に向けて弾き込む 講評を参考にして各課題に取り組む(2～3h)					
15	レッスン：仕上げ ・テクニックの向上 ・曲想 ・バランスづくり ・音楽研究 ・豊かな音楽表現 ・響きの追求 など 【課題(準備・復習)】 レッスンでのアドバイスを踏まえ、各課題に取り組み、総仕上げをする(2～3h)					
時間外での学修	授業外での毎日の練習はもちろん、演奏会等に出掛けて様々な音楽を聴く、作曲家や作品について調べる、西洋の風景や歴史・文化に触れるなど、音楽的素養を更に身に付け、感性を磨き、自分の技術や音楽性を十分に表現できるよう幅広い学修を行いましょう。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：30～45時間】					
受講学生へのメッセージ	2年間の集大成となります。自分の学んだものが存分に発揮できるよう取り組みましょう。オフィスアワーは研究室B206で火曜日3・4限目です。					

【302A216】卒業研究		音楽総合学科		2年後期		
		2単位	必修	演習	60時間	
教員	上園 弥生					
資格・制限等	Orコース必修					
資格等	音療選択（音楽）					
実務家教員	音楽講師・34年					
授業方法	個人レッスン					
到達目標	知識・理解	取り組む楽曲において、その曲の構成や、用いられている表現手法を理解できる。				
	思考・判断・表現	取り組む楽曲において、楽譜から読み取れる情報をもとに、適切に編曲・演奏に取り入れて表現することができる。				
	技能	取り組む楽曲に対して、自らのこだわりを持って編曲・演奏することができる。				
	関心・意欲・態度	各曲を編曲・演奏する上で生じる疑問点を、自ら発見し、質問できる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
授業内容	前期の同授業に引き続き、自編曲の制作と演奏に取り組めます。前半では制作面の仕上げを行い、後半では演奏面により深く取り組みます。制作・演奏ともに、卒業に向けた高いクオリティを追求していきます。					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	20	25	25	-	70
	準備・課題	5	5	5	-	15
	受講態度	-	-	-	15	15
	合計(点)	25	30	30	15	100
評価の特記事項	実技試験は、本授業で取り組んだ曲の演奏発表、準備・課題は、毎週の練習の成果で評価します。					
ICT活用						
アクティブ・ラーニングの活用	特にありません					
課題に対するフィードバック	試験後に、講評を行います					
テキスト	前期で使用したものがあある場合は、それを持参すること。					
参考書・教材	授業開始後、必要に応じて 参考書・楽譜などを案内します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	前期終了後からの制作進捗状況の確認 今後のレッスン内容の方向性を検討～決定 【課題(準備)】前期の制作のつづきから、残りの1/3程度まで制作を進めてくる。また、その箇所の演奏を練習してくる。(2～3h)					
2	編曲と制作(1) 前期のつづき～残りの1/3程度まで 【課題(復習)】残り1/3程度までアドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所の演奏を練習。(2～3h)					
3	編曲と制作(2) 前回と同範囲 【課題(準備)】曲のつづき～次の1/3程度まで制作を進めてくる。また、その箇所の演奏を練習。(2～3h)					
4	編曲と制作(3) 前期のつづき～残りの2/3程度まで 【課題(復習)】残りの2/3程度までアドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所の演奏を練習。(2～3h)					
5	編曲と制作(4) 前回と同範囲 【課題(準備)】曲のつづき～最後まで制作を進めてくる。また、その箇所の演奏を練習。(2～3h)					
6	編曲と制作(5) 前期のつづき～最後まで 【課題(復習)】曲全体のアドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所の演奏を練習。(2～3h)					
7	演奏追究(1) 細部に特化したレッスン 【課題(復習)】ここまで一通り編曲を終えた楽曲の冒頭1/3程度まで、演奏を練習してくる。(2～3h)					
8	演奏追究(2) 前回からのクオリティアップ 【課題(復習)】楽曲の冒頭1/3程度までアドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～3h)					
9	演奏追究(3) 構成の軸となる箇所に特化したレッスン 【課題(準備)】曲のつづき～2/3程度まで、演奏を練習してくる。(2～3h)					
10	演奏追究(4) 前回からのクオリティアップ 【課題(復習)】楽曲の2/3程度までアドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～3h)					
11	演奏追究(5) 全体の流れを意識したレッスン 【課題(準備)】曲のつづき～最後まで、演奏を練習してくる。(2～3h)					
12	演奏追究(6) 前回からのクオリティアップ 【課題(復習)】楽曲全体のアドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～3h)					
13	編曲と制作(6) 編曲の総合的な確認 【課題(他)】卒業演奏に向けて、最終的な制作面の調整をする。(2～3h)					
14	演奏追究(7) 演奏の総合的な確認 【課題(他)】卒業演奏に向けて、最終的な演奏仕上げをする。(2～3h)					
15	リハーサルと最終確認 【課題(他)】卒業演奏本番を意識した演奏準備をする。(2～3h)					
時間外での学修	・後期授業第1週の時点で、前期の最終授業よりも編曲制作の進捗状況が進んでいることを期待します。また、演奏面でも前期以上のクオリティに達していることを前提としますので、休暇中も前期の内容を維持～向上できるように積極的に練習に取り組みましょう。・演奏面のレッスンは主に後半(第7週以降)で取り組みますが、それ以前の編曲過程でもある程度の演奏ができる必要があります。前半の準備・課題においても、演奏の練習を進めるようにしましょう。*【課題】は授業の到達目標達成に必要な内容ですので、()内の標準学修時間をめどにして、授業外で確実に学修を進めましょう。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：40時間】					

受講学生への メッセージ	いよいよ卒業演奏に向けた仕上げの授業です。自分ならではの編曲に、自分ならではの演奏を重ね、最高の演奏が披露できると思います。これまで学んだことをたくさん活かして、精一杯取り組みましょう。 [オフィスアワー]当授業の教室にて 授業時間の前後5分程度
-----------------	--

【3W5A220】卒業研究		音楽総合学科		2年後期		
		2単位	必修	演習	60時間	
教員	服部 篤典					
資格・制限等	Wコース必修					
資格等	音療選択(音楽)					
実務家教員	オーケストラ25年					
授業方法	個人レッスン 伴奏有り(卒業演奏発表)					
到達目標	技能	譜面を正確に演奏した後、楽譜を深く読み込み個性を生かした表現力豊かな演奏ができる				
	関心・意欲・態度	演奏技術向上に向け積極的に取り組むことができる				
授業内容	卒業演奏発表に向け正確な譜読み、演奏技術、個性を生かした表現力の向上を図る個人レッスンを行います 個々で決めた楽曲を深く理解した上で、如何に演奏で表現するかを研究します					
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	実技試験	-	-	70	-	70
	受講態度等	-	-	-	30	30
	合計(点)	-	-	70	30	100
評価の特記事項	ICT活用					
アクティブ・ラーニングの活用	活用なし					
課題に対するフィードバック	レッスン時に指摘された箇所が修正されているかを次のレッスンでチェックします					
テキスト						
参考書・教材						
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	後期の目標を定める 【課題】予習：後期楽曲候補曲の絞り込み(1h)					
2~15	後期に取り組む楽曲を、個々の進捗状況を見極めながらレッスンを進め、問題点を指摘 【課題】復習：レッスンで指摘を受けた箇所を復習(1h~2h) 予習：楽曲継続練習(1h~2h)					
時間外での学修	前期に取り組む楽曲を、個々の進捗状況を見極めながらレッスンを進め、問題点を指摘 【課題】復習：レッスンで指摘を受けた箇所を復習(1h~2h) 予習：楽曲継続練習(1h~2h)					
受講学生へのメッセージ	2年間の集大成です 悔いの残らない演奏を					

【3R6A234】卒業研究		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	必修	演習	60時間		
教員	松永 幸宏・鬼頭 加奈						
資格・制限等	Rコース必修						
資格等	音療選択（音楽）						
実務家教員	松永：楽器店修理販売職・19年、鬼頭：楽器店修理販売職・10年						
授業方法	演習形式。						
到達目標	知識・理解	仕組み、構造理解を基本として、今日に至る変遷等について知識と持ち理解が出来る。					
	思考・判断・表現	管楽器等の構造や仕組みを理解して、自らが考えるテーマに沿っての考え方や表現が出来る。					
	技能	プレゼンテーションを十分に理解し、資料も纏め方や、伝達方法がしっかりと出来ている。					
	関心・意欲・態度	楽器全般に関する関心や興味を日頃から持ち続け、自らが率先してリペア技能や知識向上を図ることが出来る。○					
	備考	・○・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	自分で決めたテーマについて調べ、一年かけて製作・資料作りを行います。面談（個人、グループ）でテーマの進み具合を担当教員と話し合います。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		30	30	30	-	90
	受講態度		-	-	-	10	10
	合計(点)		30	30	30	10	100
評価の特記事項	受講態度は学修取り組み、技術向上への意欲等の状況で評価します。						
ICT活用	学生ポータル等で、ICTを活用した自主学習支援を行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	なし						
課題に対するフィードバック	フィードバックとして、授業内に挙手をさせ、一人ひとりの状態を確認しフィードバックする。						
テキスト							
参考書・教材	1年次に購入した「管打楽器の新しい楽器学と演奏法」（上・下） 管楽器に関する文献、各社カタログ等						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1～4	情報収集や製作に取り掛かる～ 進捗状況を確認しながら作業に取り掛かる。 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）						
5～10	卒業研究発表資料作成～ 製作等仕上げた作品や調べた内容に基づきパワーポイントを使い発表資料を作成する。 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）						
11	卒業研究発表リハーサル、発表資料修正 発表本番を想定してのリハーサル、及び資料修正 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）						
12	卒業研究発表リハーサル、発表資料修正 発表本番を想定してのリハーサル、及び資料修正 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）						
13	卒業研究発表資料最終確認 卒業研究発表資料の最終確認を行い提出 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）						
14	卒業研究発表 与えられた時間内で、研究の成果を発表 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）						
15	自己評価提出 卒業研究発表を終え、各自の自己評価をまとめる 【課題（復習・他）】学んだ内容の復習（1h）						
時間外での学修	必要工具、作業工程を確認しながら学んだ技術を定着させる 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】						
受講学生へのメッセージ	事前準備をしっかりと行い、計画に沿って作業が進むよう確認してください。 オフィスアワーは、授業後に行います。						

【3T7A222】卒業研究		音楽総合学科		2年後期			
		2単位	必修	演習	60時間		
教員	菅田 文子						
資格・制限等	MTコース必修						
資格等	音療選択（音楽）						
実務家教員	音楽療法関連施設職員・5年、音楽療法実践30年						
授業方法	演習形式、最終的に口頭発表を行う。						
到達目標	知識・理解	正しく先行研究論文の引用ができる。					
	思考・判断・表現	考察に自分の考えを正しい方法でまとめることができる。					
	技能	心理学論文の形式で卒業論文を提出する。(30字×40行、10枚以上) 発表用の抄録をまとめることができる。					
	関心・意欲・態度	関心を持ったテーマに継続的に取り組み、指導教員と話し合いながら作成することができる。初めて聞く人を対象としてわかりやすいプレゼンテーションができる。					
授業内容	前期に行った中間報告を踏まえて、さらに実験や考察を重ねて1本の論文を完成させる。						
観点別評価		評価の観点				合計(点)	
	評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度		
	課題提出	20	20	20	-		60
	受講態度	-	-	-	20		20
	発表	-	-	-	20		20
	合 計(点)	20	20	20	40		100
評価の特記事項	3分の1以上欠席した学生は期末試験の受験資格がありません。発表および論文の期日内の提出が単位の要件となります						
ICT活用							
アクティブ・ラーニングの活用	論文や資料の検索にインターネットを活用します。						
課題に対するフィードバック	毎回、個別にコメントします。						
テキスト	各自毎時間、自分のUSBメモリを持参すること						
参考書・教材	授業内でプリントを配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [課題（復習）]コメントに応じて訂正した論文を教員と共有し今後の方針を決定する（2H）						
2	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [課題（復習）]論文の全体像がわかるように目次の作成を始める（2H）						
3	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [課題（復習）]これまで調べた内容を基に考察を書き始める（2H）						
4	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [課題（復習）]考察の方向性について教員の指導を受ける（2H）						
5	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [課題（復習）]全体の論旨の流れが不自然でないか確認する（2H）						
6	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [課題（復習）]結語部分を作成する（2H）						
7	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [課題（復習）]テーマと考察が関連しているか、「はじめに」で述べた部分がすべて検討されているかを確認する（2H）						
8	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [課題（復習）]教員あるいは他の学生に読んでもらいわかりにくい箇所がないか確認する（2H）						
9	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [課題（復習）]英数字を半角にする、通して文献番号をつける（2H）						
10	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [課題（復習）]論文タイトル、各章タイトルの形式を整える（2H）						
11	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [課題（復習）]図と表の形式をチェックし、通し番号をつける（2H）						
12	本文提出第一次締切日（30字×40行、10枚以上。表紙と目次は本文に含まない。文献リストを含む）[課題（復習）]文献リストを完成させる（2H）						
13	抄録締切日 (A4サイズで1~4枚以内、電子データも提出する)[課題（復習）]抄録をまとめる。誤字脱字をチェックし、文献リストをつける（2H）						
14	卒業論文発表会リハーサル。各自抄録を読み（筆者 私、である ですますに口語体に変えて読む）、より効果的なプレゼンテーションの工夫を行う。[課題（復習）]抄録を読む練習を行う（2H）						
15	卒業論文発表会。各自が行った研究について1人10分の発表を行う。卒業論文最終締切。 [課題（復習）]他の学生の発表にコメントする。表紙、目次も含む完成した論文を提出する（2H）						
時間外での学修	各自が授業時間外で文献を探す、まとめるなどの作業が必要です。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】						
受講学生へのメッセージ	短大で卒業論文を課すところは多くありませんが、卒業後に、文書で音楽療法の成果をまとめる機会は意外と多いものです。将来の自分のために頑張りましょう。 オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週火曜日の13：00～14：30です。						